



無停電電源装置

ON LINE UPS

FU-MS

LCDパネル

操作説明書

株式会社 NTT ファシリティーズ
NTT アノードエナジー株式会社

はじめに

このたびは、Uninterruptible Power Supply 無停電電源装置 FU-MS（以下UPSという）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

この操作説明書には、LCDパネルのメニュー、機能と操作方法について記載されています。

LCDパネルの操作をする前に必ずこのLCDパネル操作説明書をお読みください。UPSの設置、操作についてはUPSの取扱説明書をご覧ください。お読みになった後は、UPSの取扱説明書といっしょにいつでもご覧になれる場所に保管してください。

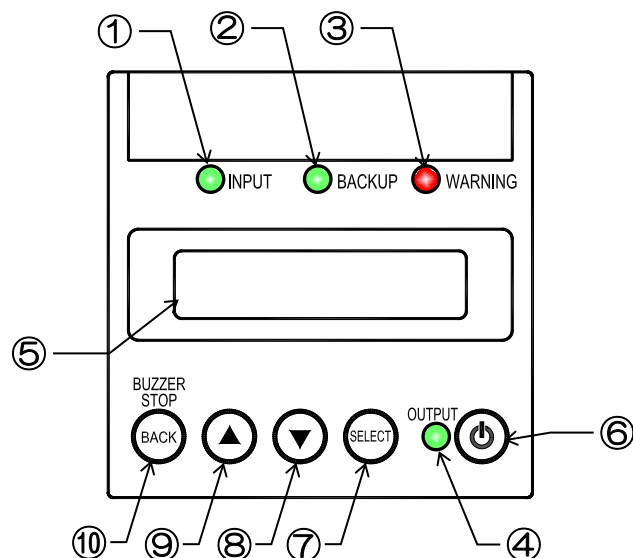
目次

1. LCDパネルの名称と機能	1
1.1 LCDパネルの各部の名称	1
1.2 ホームメニューの機能	2
1.3 LCDパネルの操作方法	3
1.4 初期設定	5
2. UPSの状態を見る	7
2.1 UPSの運転状態を見る	7
2.2 UPSの計測情報を見る	9
3. UPSの設定をする	11
3.1 出力電圧を設定する	13
3.2 周波数同期追従範囲を設定する	14
3.3 出力周波数を設定する	15
3.4 計測情報に表示される電圧を設定する	16
3.5 インタフェースを設定する	17
3.6 通信ポーレートを設定する	18
3.7 LAN インタフェースカード使用時のネットワークを設定する	19
3.8 復電時の動作を設定する	20
3.9 ブザー音が鳴る条件を設定する	21
3.10 UPS本体操作パネル  のOFF 操作を設定する	22
3.11 過負荷時の動作を設定する	23
3.12  OFF 時のUPS給電状態を設定する	24
3.13 入力異常時にバイパス給電を する／しない を設定する	25
3.14 軽故障時に転送信号を送出 する／しない を設定する	26
3.15 試験用の「装置異常」転送信号を送出する	27
3.16 試験用の「バッテリー電圧低下」転送信号を送出する	28
3.17 バッテリー電圧低下警告発生のタイミングを設定する	29
3.18 バッテリーテストの実行時間を設定する	30
3.19 バッテリーテストのスケジュールを設定する	31
3.20 停電時の運転時間を設定する	32
3.21 RING 信号の設定をする	33
3.22 出力電圧の調整値を設定する	34
3.23 EPO 入力論理を設定する	35
3.24 CARD I/F および SIGNAL I/F の停電信号の論理を設定する	36
3.25 CARD I/F および SIGNAL I/F のバッテリー電圧低下信号の論理を設定する	37
3.26 SIGNAL I/F のインバータ出力信号の論理を設定する	38

3.27	SIGNAL I/F のバイパス出力信号の論理を設定する	39
3.28	SIGNAL I/F の装置異常信号の論理を設定する	40
3.29	リモートスイッチの入力方式を設定する	41
3.30	復電の確認時間を設定する	42
3.31	エアフィルタを使用 する／しない を設定する	43
3.32	日付／時刻を設定する	44
3.33	表示言語を設定する	45
3.34	並列接続するUPSユニットの台数を設定する	46
3.35	運転システムを設定する	47
3.36	設定値をリセットする	48
3.37	UPSを再起動する	49
4.	UPSの操作をする	50
4.1	バッテリーテストをする	51
4.2	バッテリーテストの結果を見る	53
4.3	UPSを起動する または 停止する	54
4.4	バイパス運転に切り換える	55
4.5	EPO ラッチ状態を解除する	56
5.	メンテナンスメニュー（技術員用）	57
5.1	バックアップ時間を設定する	58
5.2	バッテリー種別を設定する	59
5.3	エアフィルタ清掃完了の操作をする（エアフィルタ使用時のみ）	60
6.	状態表示説明	61
7.	計測情報表示について	63

1. LCDパネルの名称と機能

1.1 LCDパネルの各部の名称



番号	名称	表示	色	機能	
①	入力 LED	INPUT	緑	点灯	入力電源が正常な場合
				点滅	入力電源が異常な場合
②	バックアップ LED	BACKUP	緑	点灯	バッテリー運転中
③	警告 LED	WARNING	赤	点灯	注意・警告情報または故障発生時、バッテリー運転放電終止
④	出力 LED	OUTPUT	緑	点灯	インバータ運転による給電中
				点滅	バイパス運転による給電中
⑤	LCD 画面	—	—	UPS の状態情報、計測値、保守支援情報、各種設定値、操作などを表示	
⑥	ON/OFF ボタン		—	インバータ運転の起動・停止操作	
⑦	SELECT ボタン		—	LCD 表示項目・内容の選択・決定	
⑧	▼ ボタン		—	LCD 表示項目を 1 つ進める	
⑨	▲ ボタン		—	LCD 表示項目を 1 つ戻す	
⑩	BACK ボタン		—	選択の取り消し、LCD 表示（メニュー）階層を戻す ブザー鳴動中、ブザー音の停止	

LCDパネルについて

● LED の図表示について

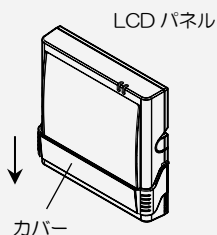
LED は、操作説明書の中で【INPUT (緑)】、【WARNING (赤)】

LED の状態は 点灯：、点滅： のように表示されています。

● LCDパネル操作部のカバーについて

各ボタンを操作するときは、カバーを下にスライドさせます。
操作後は、誤操作防止のため、もとに戻してください。

カバーを
スライドさせます。



1.2 ホームメニューの機能

LCDパネルには、下記の5つのホームメニューがあります。それぞれのメニューの機能により、設定グループ、設定項目などがあります。表示文字の内容、設定方法の詳細は、それぞれの項目をご覧ください。

ホームメニュー	機能	詳細
ジ ョウタイ ヒョウジ 「2.1 UPSの運転状態を見る」参照	状態表示 UPSの状態が表示されます。	状態表示項目： 装置の運転モード、 交流入力、交流出力、バッテリーの状態、 装置内部の異常、負荷率 など
ケイソク ヒョウジ 「2.2 UPSの計測情報を見る」参照	計測表示 UPSの計測値が表示されます。	計測表示項目： 入力（電圧、周波数） 出力（電圧、電流、負荷率、電力、周波数） バッテリー（電圧、充電率、バッテリー残保持時間、停電発生回数、 バッテリー運転積算時間、バッテリー寿命） 充電器（電圧、電流） 温度（周囲温度、バッテリー温度）
セッテイ ヘンコウ 「3. UPSの設定をする」参照	設定変更 UPSの各種設定を変更します。	設定項目： 入出力：電圧、周波数同期追従範囲、出力周波数、電圧電流表示 インタフェース：インタフェース、通信ボーレート ネットワーク※：LAN インタフェースカード使用時の設定 （IPv4、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、 デフォルトゲートウェイ） 動作：復電時の動作、ブザー音、停止操作、 過負荷時の動作、出力停止時の動作、入力異常時の動作、 軽故障時の転送信号、装置異常の擬似転送信号の送出、 バッテリー電圧低下の擬似転送信号の送出、 バッテリー：バッテリー電圧低下警告タイミング バッテリーテスト時間、テスト周期 機能：停電時運転時間、RING 信号、出力電圧調整、 EPO 入力論理、停電信号論理、バッテリー電圧低下論理、 インバータ信号論理、バイパス信号論理、異常信号論理、 リモートスイッチ入力、復電確認時間、 エアフィルタ使用時の設定、 システム：時刻、表示言語、ユニット接続台数、運転システム
UPS ソウサ 「4. UPSの操作をする」参照	UPS操作 UPSの操作をします。	操作項目： バッテリーテスト、テスト結果表示 UPSの起動／停止 バイパス運転切り換え EPO ラッチ状態解除
メンテナンス 「5. メンテナンスメニュー （技術員用）」参照	メンテナンス 技術員用のメニューです。 保守用の情報表示、または設定を します。お客様は操作をしないで ください。	表示項目： 故障履歴表示、操作履歴表示、バッテリー情報、各ユニット運転状態、 各ユニット計測値 設定項目： バッテリーバックアップ時間、バッテリー種類

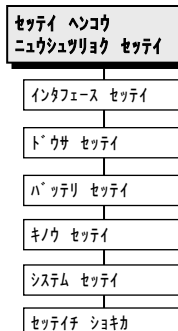
※「ネットワーク設定」メニューについて

「ネットワーク設定」メニューは、UPSにLANインタフェースカードが接続されている場合のみ表示されます。

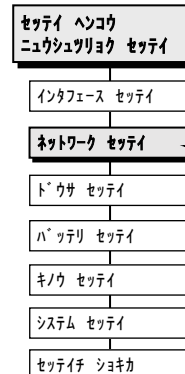
設定前に、ご使用のUPSにLANインタフェースカードが接続されているか、いないか確認してください。

「3. UPSの設定をする」の項目中、「3.7 ネットワークを設定する」以外の項目は、LANインタフェースカードが接続されていない場合を例に説明しています。

LAN インタフェースカード
が接続されていない場合



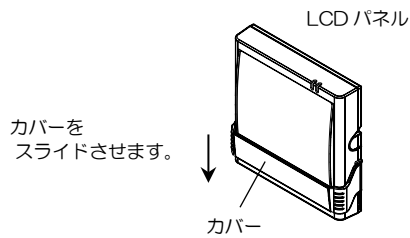
LAN インタフェースカード
が接続されている場合



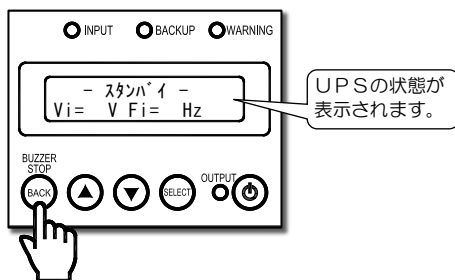
ネットワーク設定
メニューが表示さ
れます。

1.3 LCDパネルの操作方法

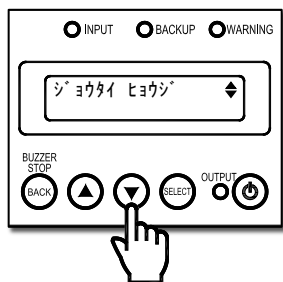
① カバーを下へスライドさせます。



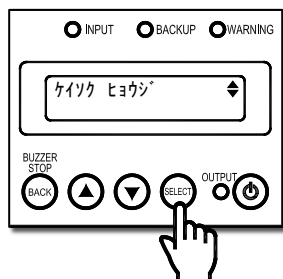
② **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。



③ **DOWN** または **UP** を押して画面を切り換えます。



④ **SELECT** を押して項目を決定します。



⑤ 戻りたい階層まで **BACK** を押して戻ります。操作後は、カバーをもとの位置に戻します。

ご注意

- UPSのブザーが鳴っているときに、**BACK** を押した場合は、ブザー音が停止します。1回押してブザー音が停止しない場合は、ブザー音が停止するまで、複数回押してください。ブザーが鳴っていない状態で **BACK** を押すとLCD画面にメニューが表示されます。
- LCD画面は、10分以上操作をしないとパネルのライトが消灯します。約30秒後にスクリーンセーバーとして、UPS運転モード、入出力電力の計測値情報などがランダムに表示されます。スクリーンセーバー表示後、さらに10分以上操作をしないとパネルの表示が消えます。いずれかのボタンを押すとUPSの状態が表示されます。
- 実際にLCD画面に表示される文字は、操作説明書に記載されている文字列、配置と異なる場合があります。

手順③と手順④を繰り返して表示または設定をします。

メニューはすべて下図のような階層で構成されています。

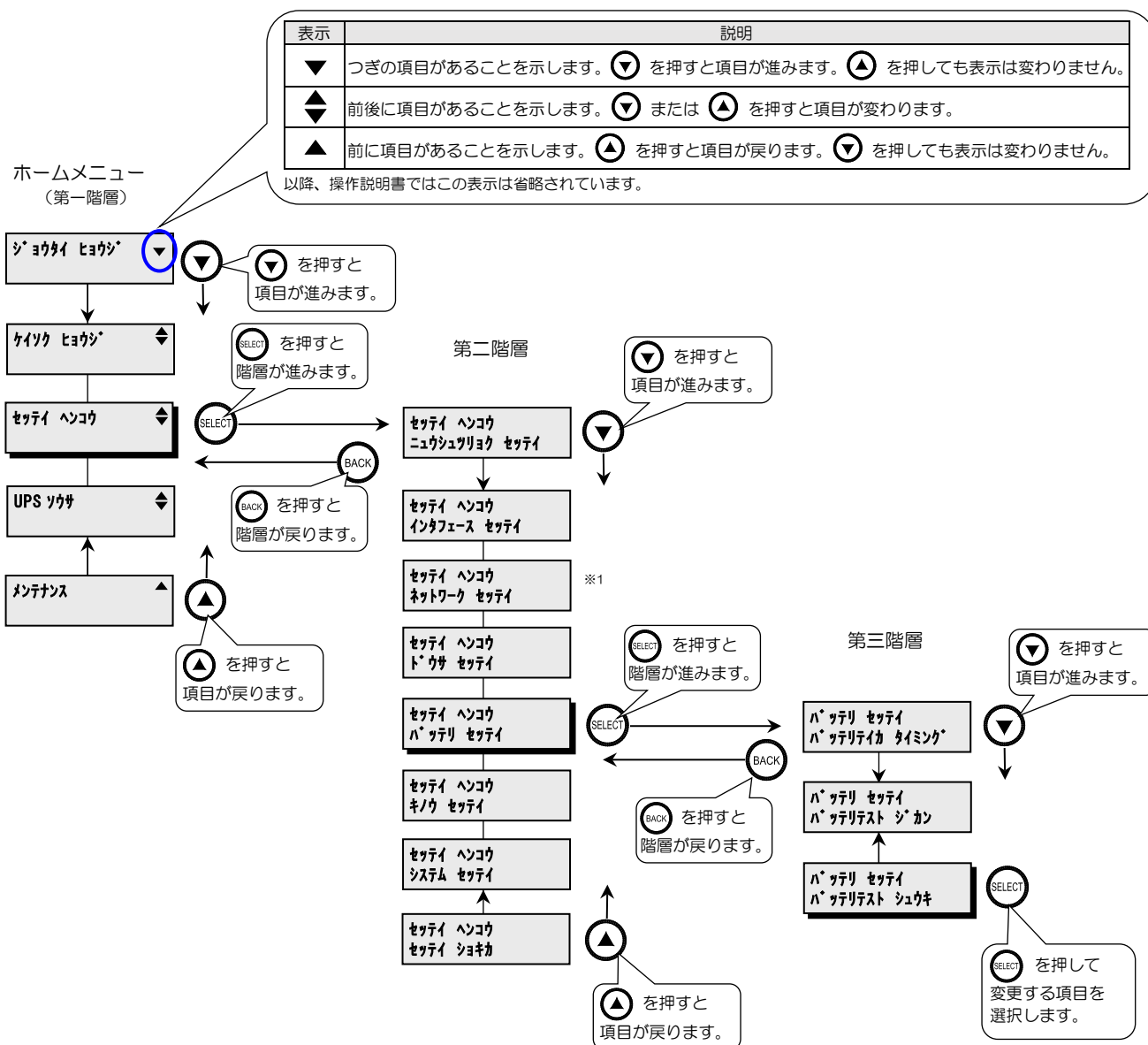
 を押すと階層が進み、 を押すと階層が戻ります。

それぞれの階層に項目があり、 を押すと項目が進み、 を押すと項目が戻ります。

画面に表示されている項目で、を押すと、項目が決定され階層が進みます。

階層、項目の数はメニューにより異なりますが、操作方法は同様です。

例：「セッテイホウ（設定変更）」画面から、バッテリー設定の「バッテリーテスト周期（バッテリーテスト周期）」へ進む場合。



ご注意

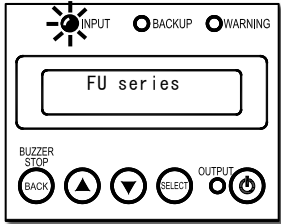
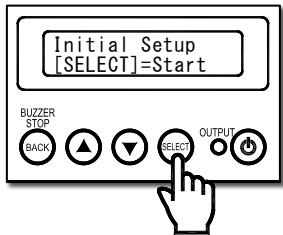
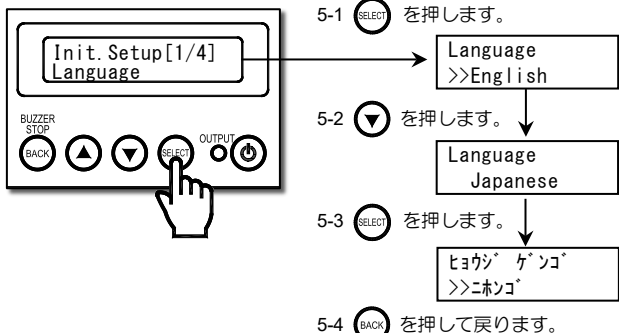
※1. UPSにLANインタフェースカードが接続されている場合のみ表示されます。

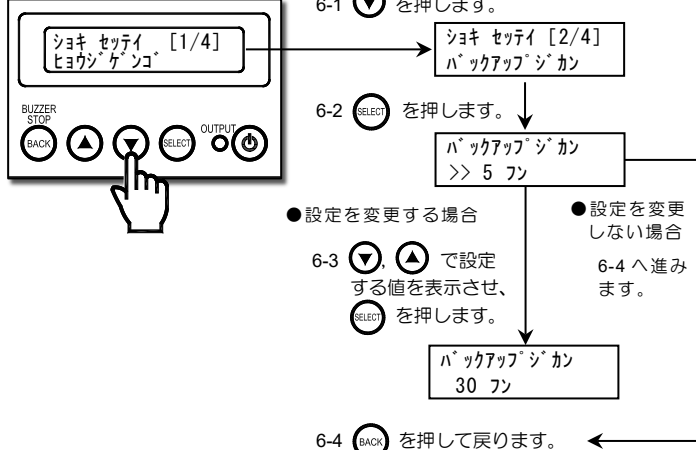
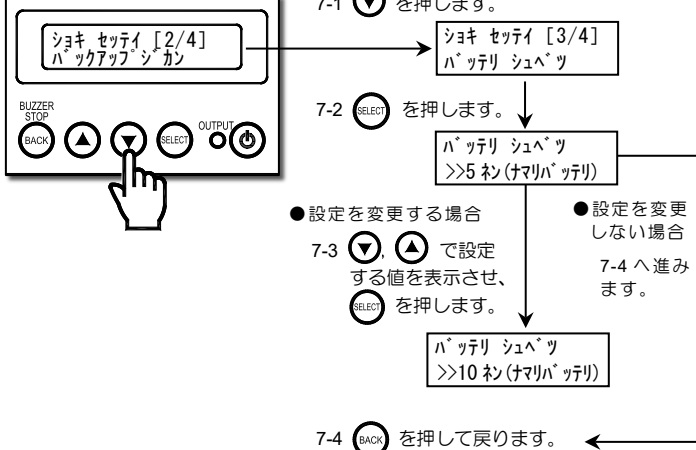
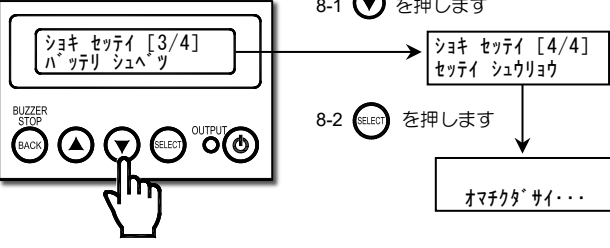
1.4 初期設定

UPSの初起動時、LCDパネルに初期設定画面が表示されます。
表示された画面にしがたい、初期設定をしてください。

ご注意

初起動時のみの設定です。この操作で正しく設定できなかった場合、または設定を変更する場合は、「3.33 表示言語を設定する」、「5.1 バックアップ時間を設定する」、「5.2 バッテリー種別を設定する」をご覧ください。

手順	操 作	ポイント														
1	次の項目について確認します。 1. 技術員によるUPSの設置・配線作業は完了していますか？ 2. UPSの外観に傷や変形はないですか？	● UPSの設置・配線など、UPSの取扱説明書をご覧ください。														
2	入力電源を受電し、 MAIN MCCB を ON にします。	● UPSの取扱説明書をご覧ください。														
3	LCD 画面が下記のようにになっていることを確認します。  【INPUT [●] 】点灯 約5秒後、手順4の画面になります。															
4	LCD 画面が下記のようにになっていることを確認し、 SELECT を押します。  初期設定中にアラームが点灯した場合は、初期設定を完了させてからLCDの表示を確認してください。	● この画面は初起動時のみ表示されます。 この画面が表示されないときは、初期設定済みです。設定を変更する場合、表示言語は「セッティング」、バックアップ時間、バッテリー種別は「メンテナンス」メニューから行ってください。 ● 初起動時に、下表の3つの項目を設定します。 <table><tr><th rowspan="2">設定項目</th><th colspan="2">LCD 画面の表示</th></tr><tr><th>カタカナ</th><th>英語</th></tr><tr><td>表示言語</td><td>ヒョウゲンゴ</td><td>Language</td></tr><tr><td>バックアップ時間</td><td>バックアップジカン</td><td>Backup time</td></tr><tr><td>バッテリー種別</td><td>バッテリーシュベツ</td><td>Batt type</td></tr></table> ● 初起動時は、英語表示になっています。	設定項目	LCD 画面の表示		カタカナ	英語	表示言語	ヒョウゲンゴ	Language	バックアップ時間	バックアップジカン	Backup time	バッテリー種別	バッテリーシュベツ	Batt type
設定項目	LCD 画面の表示															
	カタカナ	英語														
表示言語	ヒョウゲンゴ	Language														
バックアップ時間	バックアップジカン	Backup time														
バッテリー種別	バッテリーシュベツ	Batt type														
5	表示言語を設定します。  5-1 SELECT を押します。 5-2 ▼ を押します。 5-3 SELECT を押します。 5-4 BACK を押して戻ります。	● LCD パネルに表示される言語を日本語（カタカナ）または英語から選択します。 <table><tr><th>設定値</th><th>説明</th></tr><tr><td>English</td><td>英語</td></tr><tr><td>Japanese</td><td>日本語</td></tr></table> ● ここでは、日本語に設定する場合を説明します。以降、本書では、日本語に設定した場合の画面表示で説明しています。 ● 初期設定完了後に設定を変更したい場合は、「3.33 表示言語を設定する」をご覧ください。	設定値	説明	English	英語	Japanese	日本語								
設定値	説明															
English	英語															
Japanese	日本語															

手順	操 作	ポイント																								
6	バックアップ時間を設定します。  6-1 (下向き矢印) を押します。 6-2 (SELECT) を押します。 ●設定を変更する場合 6-3 (下向き矢印) で設定する値を表示させ、(SELECT) を押します。 ●設定を変更しない場合 6-4 (BACK) を押して戻ります。	● 設定するバックアップ時間は、UPSに添付されている「初期設定説明書」で確認してください。 <table border="1"><thead><tr><th>設定値</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>5 分</td><td>5 分</td></tr><tr><td>10 分</td><td>10 分</td></tr><tr><td>15 分</td><td>15 分</td></tr><tr><td>25 分</td><td>25 分</td></tr><tr><td>30 分</td><td>30 分</td></tr><tr><td>35 分</td><td>35 分</td></tr><tr><td>45 分</td><td>45 分</td></tr><tr><td>60 分</td><td>60 分</td></tr><tr><td>120 分</td><td>120 分</td></tr><tr><td>180 分</td><td>180 分</td></tr><tr><td>360 分</td><td>360 分</td></tr></tbody></table> ● 必ずUPSの仕様に合わせて設定してください。 30分バックアップのUPSの場合に「60分」を選択しても実際のバックアップ時間は60分にはなりません。正しく設定しないと、バッテリー情報が正確に表示されません。また、バッテリーが正しく充電されなくなります。 ● 初期設定完了後に設定を変更したい場合は、「5.1 バックアップ時間を設定する」をご覧ください。	設定値	説明	5 分	5 分	10 分	10 分	15 分	15 分	25 分	25 分	30 分	30 分	35 分	35 分	45 分	45 分	60 分	60 分	120 分	120 分	180 分	180 分	360 分	360 分
設定値	説明																									
5 分	5 分																									
10 分	10 分																									
15 分	15 分																									
25 分	25 分																									
30 分	30 分																									
35 分	35 分																									
45 分	45 分																									
60 分	60 分																									
120 分	120 分																									
180 分	180 分																									
360 分	360 分																									
7	バッテリーの種別を設定します。  7-1 (下向き矢印) を押します。 7-2 (SELECT) を押します。 ●設定を変更する場合 7-3 (下向き矢印) で設定する値を表示させ、(SELECT) を押します。 ●設定を変更しない場合 7-4 (BACK) を押して戻ります。	● 設定するバッテリー種別は、UPSに添付されている「初期設定説明書」で確認してください。 <table border="1"><thead><tr><th>設定値</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>5 年 (ナリバッテリー)</td><td>5 年 (鉛バッテリー)</td></tr><tr><td>10 年 (ナリバッテリー)</td><td>10 年 (鉛バッテリー)</td></tr><tr><td>13 年 (ナリバッテリー)</td><td>13 年 (鉛バッテリー)</td></tr><tr><td>リチウムイオンバッテリー</td><td>リチウムイオンバッテリー</td></tr></tbody></table> ● 必ずUPSの仕様に合わせて設定してください。 「5 年 (鉛バッテリー)」タイプのバッテリーが搭載されているときに、「10 年 (鉛バッテリー)」に設定しても、実際のバッテリー寿命は10年にはなりません。正しく設定しないと、バッテリー情報が正確に表示されません。 ● 初期設定完了後に設定を変更したい場合は、「5.2 バッテリー種別を設定する」をご覧ください。	設定値	説明	5 年 (ナリバッテリー)	5 年 (鉛バッテリー)	10 年 (ナリバッテリー)	10 年 (鉛バッテリー)	13 年 (ナリバッテリー)	13 年 (鉛バッテリー)	リチウムイオンバッテリー	リチウムイオンバッテリー														
設定値	説明																									
5 年 (ナリバッテリー)	5 年 (鉛バッテリー)																									
10 年 (ナリバッテリー)	10 年 (鉛バッテリー)																									
13 年 (ナリバッテリー)	13 年 (鉛バッテリー)																									
リチウムイオンバッテリー	リチウムイオンバッテリー																									
8	設定を確認します。  8-1 (下向き矢印) を押します 8-2 (SELECT) を押します オマケクダサイ・・・ 以上で初期設定は終了です。																									
9	初期設定後、UPSを再起動します。	● 操作方法は、UPSの取扱説明書をご覧ください。																								

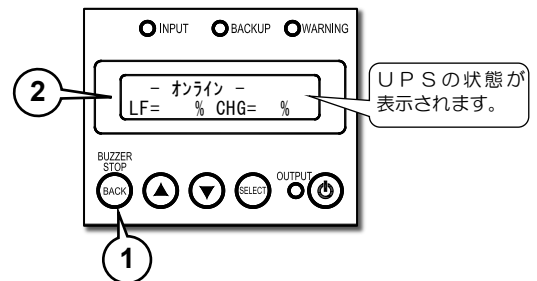
2. UPSの状態を見る

2.1 UPSの運転状態を見る

現在のUPSの運転状態を見ることができます。

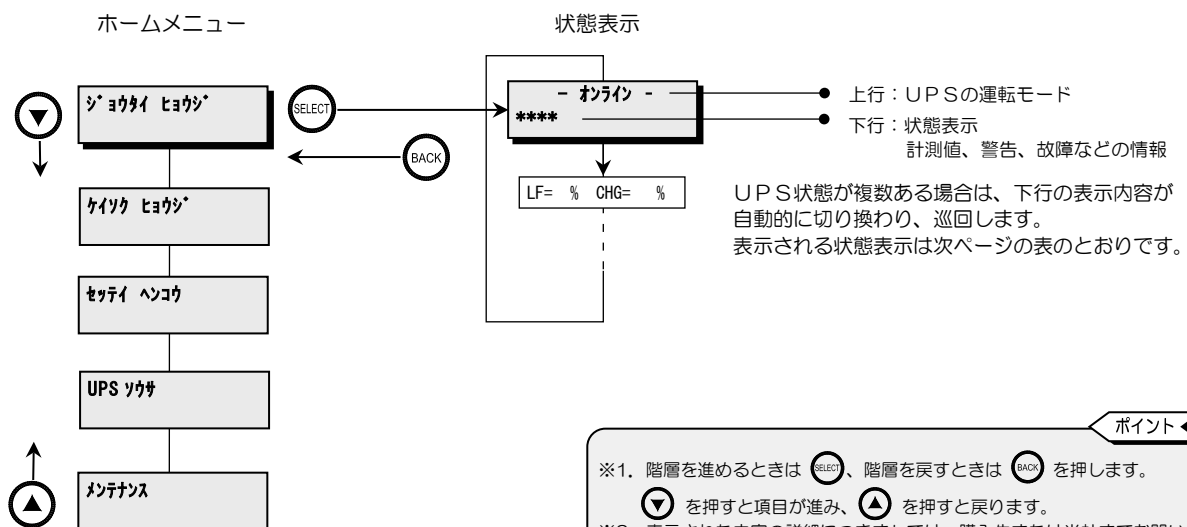
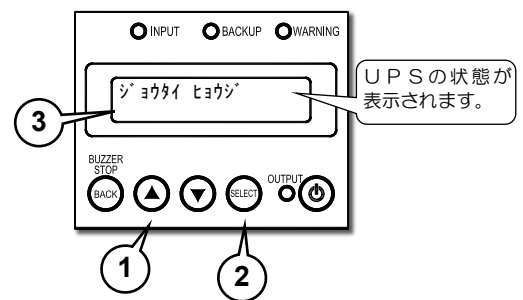
LCD画面が消灯している場合

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② 表示されたLCD画面でUPSの状態を確認することができます。



いずれかのホームメニューが表示されている場合

- ① **▲** を押して画面を切り換え、**シヨウタイ ヒョウジ** を表示させます。
- ② **SELECT** を押します。
- ③ 表示されたLCD画面でUPSの状態を確認することができます。



ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
- ▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
- ※2. 表示された内容の詳細につきましては、購入先または当社までお問い合わせください。また、装置異常、故障などが表示されたときは、購入先または当社までご連絡ください。

UPSの状態表示の一覧は下表のとおりです。

UPSの状態により、画面上行にいずれかのUPS運転モード、下行にいずれかの状態が表示されます。

表示された状態の詳細、対応方法は「6. 状態表示説明」をご覧ください。

UPS運転モード（上行）		状態表示（下行）	
表示	内容	表示	内容
スタンバイ	待機中	LF= % CHG= %	負荷率、充電率（オンライン表示）
オンライン	オンライン運転中	LF= % Tm= m	負荷率、推定放電時間（バッテリー運転表示）
バイパス	バイパス運転中	PDU ファン イジヨウ	集電ユニットファン異常（重故障）
バッテリーメンテナンス	バッテリー運転中	PDU ブレーカ OFF	集電ユニット出力ブレーカ断（重故障）
バッテリーテスト	バッテリーテスト中	Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数（待機中表示）
システム故障	システム故障中	Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数（バイパス運転表示）
		イジヨウシヨウウチスト	装置異常の疑似転送信号送出中
		インバータ カテンアツ	インバータ過電圧（重故障）
		インバータカロ イジヨウ	インバータ電圧検出回路異常（重故障）
		インバータカテンアツ テイカ	インバータ電圧低下（重故障）
		エアフィルタ テンケン ジキ	エアフィルタ点検時期 ^{※3}
		カカ ジョウタイ	過負荷
		カカ ジョウタイ(オント)	過負荷(温度制限)
		キョウセイ バイパス SW オン	バイパススイッチ ON
		キョウセイ = h m	スケジュール起動遅延中 ^{※1}
		コントローラ イジヨウ	コントローラ（入力電圧計測）異常（重故障） ^{※4}
		コンバータ イジヨウ	コンバータ異常（重故障）
		サイキョウ シテカサイ	再起動要
		シュハスウ イジヨウ	入力周波数異常
		ジョウキョウウンテン NG	冗長運転不可（軽故障）
		セツテイ イジヨウ	設定異常
		セイキョウケンゲン イジヨウ	制御電源（12V）異常（重故障）
		ソウニツトスウ イジヨウ	総ユニット数エラー（重故障）
		チャージャ イジヨウ	充電器異常（重故障）
		チャージャ テイシ(オント)	動作温度範囲外による充電器停止（軽故障）
		チャージャ テイシ(ヘンコウ)	バッテリー種別変更による充電器停止
		コウリョウケンアツ イジヨウ	コンバータ直流電圧異常（重故障）
		テイシチュウ(EPO オン)	EPO による停止中
		テイシチュウ(EPO ラッチ)	EPO ラッチ による停止中
		テイシチュウ(Vin イジヨウ)	バイパス出力断（入力電圧異常）
		テイシチュウ(リモートオフ)	Remote OFF による停止中
		テイシマツ = h m	スケジュール停止遅延中 ^{※1}
		テストチュウ m s	バッテリーテスト残り時間 ^{※1}
		ナイブ ツウシン イジヨウ	UPS内部の通信異常（軽故障）
		ナイブ オント イジヨウ	フィン温度異常（重故障）
		ニョウリョク イジヨウ	入力異常
		ニョウリョク カテンアツ	入力過電圧
		ニョウリョク テンアツ テイカ	入力電圧低下
		バッテリー イジヨウ	バッテリー回路異常（重故障）
		バッテリー ジュウケン マチ	充電率起動待ち中 バッテリー充電率不足による起動待ち中
		バッテリー ジュミョウ	バッテリー寿命
		バッテリー ジュミョウ ヨコ	バッテリー寿命予告（6 か月前）
		バッテリー ホウデンシユウシ	バッテリー放電終止
		バッテリー LV ショウウチスト	バッテリー LV の疑似転送信号送出中
		バッテリーキョウカロ イジヨウ	バッテリー起動スイッチの短絡故障（軽故障） ^{※2}
		バッテリーテスト(リモート)	遠隔操作によるバッテリーテスト実行中
		バッテリーケンアツ イジヨウ	バッテリー電圧異常
		バッテリーケンアツ テイカ	バッテリー電圧低下
		ヒドナキ ウンテン	非同期運転
		フクデン カニンチュウ	復電時確認時限中
		ホウキョウケンゲン イジヨウ	補助電源異常（軽故障）
		メイン ブレーカ OFF	メインブレーカの OFF またはトリップ
		ユニットツウシン イジヨウ	ユニット間通信異常

※1. 時間により表示が異なります。

※2. UPSの品名により、表示されない機種があります。

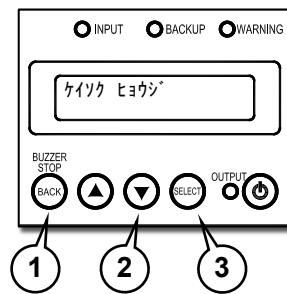
※3. 「3.31 エアフィルタを使用 する／しない を設定する」で設定値が「シヨ スル」に設定されている場合に表示されます。また、「3.14 軽故障時に転送信号を送出 する／しない を設定する」で設定値が「シヨ スル」に設定されている場合は、「装置異常」信号が送出されます。

※4. 入力電圧の計測に異常があると「コントローラ イジヨウ」が表示されます。対応方法は「6 状態表示説明」をご覧ください。

2.2 UPSの計測情報を見る

UPSの各種の計測値を見ることができます。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**ケイソク ヒョウジ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ 同様にそれぞれの階層で下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「計測項目」→「計測値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で計測項目を切り換え、見たい計測値を表示させます。

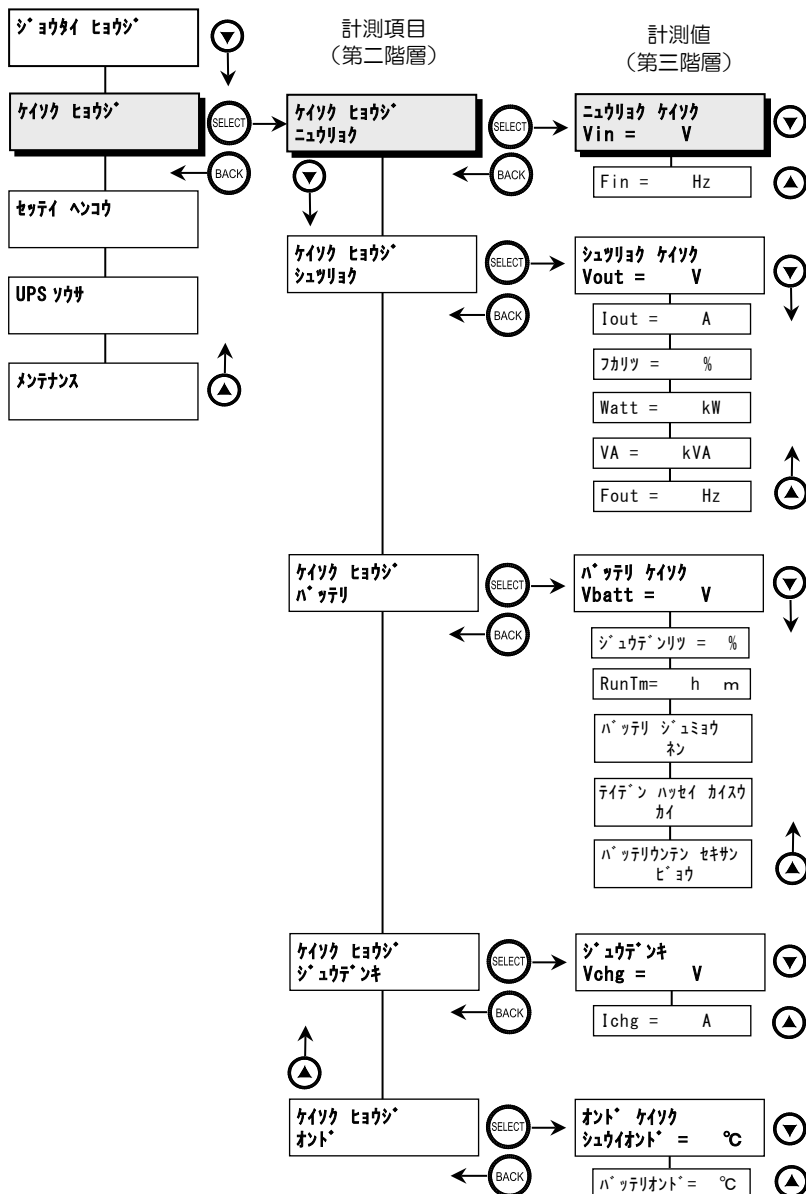


ポイント

- ※1. **▼** を押すと表示が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 階層を戻すときは、**BACK** を押します。
- ※3. 表示された内容の詳細につきましては、購入先または当社までお問い合わせください。また、装置異常、故障などが表示されたときは、購入先または当社までご連絡ください。

例：UPSの入力電圧値を見る

ホームメニュー
(第一階層)



計測項目	計測値	
	計測値表示	内容
ニュウリョク 入力	Vin = V	入力電圧
	Fin = Hz	入力周波数
シュツリョク 出力	Vout = V	出力電圧
	Iout = A	出力電流
	Facut = %	負荷率
	Watt = kW	出力電力(W)
	VA = kVA	皮相電力(VA)
	Fout = Hz	出力周波数
ハッテリ バッテリ	Vbatt = V	バッテリー電圧
	Shuchunritsu = %	バッテリー充電率
	RunTm = h m ※1	バッテリー残保持時間
	ハッテリジユミョウネン ※2	バッテリー寿命
	Taiden Hassai Kaisu Kai	停電発生回数
	ハッテリウンテン セキサンビョウ	バッテリー運転積算時間
シュウテンキ 充電器	Vchg = V	充電器電圧
	Ichg = A	充電器電流
オント 温度	Shuwaionto = °C	周囲温度
	ハッテリオント = °C	バッテリー温度

※1. 残保持時間により表示形式が異なります。
 ※2. バッテリー寿命により表示形式が異なります。

このページは空白です。

3. UPSの設定をする

設定メニューには、設定項目別に7つの設定グループがあります。工場出荷時は、初期設定欄に「※」印がある設定値に設定されています。ご使用の環境、用途に合わせて設定してください。設定方法、設定値の詳細は、3.1～3.36の各項目をご覧ください。設定を変更した場合は、現在の設定欄にチェックをしておくことをお勧めします。

設定項目一覧表

ホームメニュー：セッティング（設定変更）

1/2

設定グループ	設定項目			設定値		初期 設定	現在の 設定	参照 項目	参照 ページ	
	表示	内容		表示	内容					
ニューシュリョク セッテイ 入出力設定	シュツリョク デン'アツ	出力電圧 ★ *1	UPSの出力電圧を設定。 出力電圧と入力電圧は同一。	200V	出力電圧 200V	※		3.1	13	
				220V	出力電圧 220V					
				230V	出力電圧 230V					
				240V	出力電圧 240V					
				208V	出力電圧 208V					
	シュウハス' ド'ウキハシ	周波数同期追従範囲 ★ *1	出力周波数の入力周波数に 追従する範囲(%)を設定。	1%	±1%			3.2	14	
				3%	±3%	※				
				5%	±5%					
	シュツリョク シュウハス'	出力周波数 ★ *1	出力周波数を設定。	ジ'ド'ウセンタク 1	自動選択1 (非同期運転なし)			3.3	15	
				ジ'ド'ウセンタク 2	自動選択2 (非同期運転あり)	※				
				50Hz コ'フイ	50Hz 固定					
				60Hz コ'フイ	60Hz 固定					
	デン'ンアツ'ンリョウ ヒョウジ'	電圧電流表示	計測表示などで表示される 入出力電圧、電流を設定。	200V/200V (S)	200V/200V(S)	*2		3.4	16	
				200V/100V	200V/100V					
				100V/200V	100V/200V					
				100V/100V	100V/100V					
200V/200V				200V/200V						
インタフェース セッテイ インタフェース設定	インタフェース	インタフェース	外部インタフェース部のコネ クタ使用時のインタフェース を設定。	スタン'ド フ'ロン	スタンドアロン	※		3.5	17	
	ツウシン ポーレート	通信ポーレート	パーソナルコンピュータ、LAN インタフェースカード、ワーク ステーション接続時の通信ポー レートを設定。	ワークステーション	ワークステーション	※		3.6	18	
				9600	9600bps					
				4800	4800bps					
ネットワーク セッテイ ネットワーク設定 *5	IPv4	IPv4 の使用	IPv4 を 使用する／しないを設定。	ジ'ョク シ'タイ	使用しない	※		3.7	19	
	DHCP	DHCP 機能	DHCP 機能を 使用する／しないを設定。	ジ'ョク ス'ル	使用する					
				ジ'ョク シ'タイ	使用しない	※				
	IP ア'ド'レス	IP アドレス	IP アドレスを設定	ジ'ョク ス'ル	使用する					
				192.168.1.34	192.168.1.34					
	サブ'ネッ'ト マスク	サブネットマスク	サブネットマスクを設定	LAN I/F カ'ードに依存	LAN I/F カ'ードに依存					
デ'フォ'ルト ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定	LAN I/F カ'ードに依存	LAN I/F カ'ードに依存						
ト'ウサ セッテイ 動作設定	フ'カ'デン'ジ'ング ド'ウサ	復電時の動作	停電発生時、バッテリー放電終 止によるUPS停止後、商用 電源が復電した場合のUP Sの動作を設定。	ジ'ド'ウフ'ッキ	自動復帰	※		3.8	20	
				ジ'ョウ'ジ'ン' キ'ド'ウ	常時起動					
				テイ'シ	停止					
				ジュ'ウ'チ'ン' シ'リツ>30%	充電率30%以上で起動					
				ジュ'ウ'チ'ン' シ'リツ>50%	充電率50%以上で起動					
	ブ'ザー - メイ'ト'ウ	ブザー音	ブザー音が鳴る条件を設定。	ジュ'ウ'チ'ン' シ'リツ>80%	充電率80%以上で起動			3.9	21	
				ス'ベ' テイ'メイ'ト'ウ	すべて	※				
				グ'ル-プ' #0	グループ 0					
				グ'ル-プ' #1	グループ 1					
	OFF ヲ'サ	OFF 操作	UPSを停止する場合の本体 操作パネル⑤の OFF 操作を 設定。	グ'ル-プ' #2	グループ 2			3.10	22	
				メイ'ト'ウ'ナシ	停止					
				1 ビ'ョウ	1秒間押下でOFF	※				
		カ'フ'カ'ン' ド'ウサ	過負荷時の動作	過負荷によるバイパス給電へ の切換後の動作を設定。	3 ビ'ョウ	3秒間押下でOFF			3.11	23
					ト'ク'ジュ'ツ'サ	特殊操作でOFF				
					BYP ジ'ド'ウ フ'ッキ	バイパスから自動復帰	※			
		OFF ジ'ン' キュウ'デン'シ'ン	OFF 時給電状態 ★ *1	UPS停止時の給電状態を 設定。	バイ'パス ケイ'ツ'ク	過負荷時バイパス給電			3.12	24
シュツ'リョク テイ'シ					出力停止	※				
バイ'パス キュウ'デン'シ'ン					バイパス給電					
Vin テイ'カ'ン' BYP OUT		入力異常時のバイパス 給電	入力異常時にバイパス給電を する／しないを設定。	キュウ'デン'シ'ン ス'ル	バイパス給電する	※		3.13	25	
ケイ'コ'ショウ'ジ'ン' シ'ョウ'ウ	軽故障時の転送信号	軽故障発生時に転送信号を 送出する／しないを設定。	キュウ'デン'シ'ン シ'タイ	バイパス給電しない			3.14	26		
			ツウ'ジュ'ツ' ス'ル	送出する	※					
イ'ジ'ン'ヨウ'シン'コ'ウ' ウ'テ'ス'ト	装置異常の疑似転送信号 送出	試験用の装置異常の転送信 号を送出。	ツウ'ジュ'ツ' シ'タイ	送出しない			3.15	27		
			ツウ'ジュ'ツ' ス'ル	送出する						
			ツウ'ジュ'ツ' シ'タイ	送出しない	※					
			ツウ'ジュ'ツ' ス'ル	送出する						
バ'ッ'テ'リ LV シ'ン'ゴ' ウ'テ'ス'ト	バッテリー LV の疑似転送信 号送出	試験用のバッテリー電圧低下 の転送信号を送出。	ツウ'ジュ'ツ' シ'タイ	送出しない	※		3.16	28		
			バ'ッ'テ'リ'デン'アツ'ツ	バッテリー電圧レベル検出	※					
			コ'リ 2 フ'ン	バッテリー残保持時間 2 分					3.17	29
			コ'リ 3 フ'ン	バッテリー残保持時間 3 分						
バ'ッ'テ'リ'テ'ス'ト ジ'カン	バッテリーテスト時間	バッテリーテストの実行時間を設定。	コ'リ 5 フ'ン	バッテリー残保持時間 5 分			3.18	30		
			コ'リ 10 フ'ン	バッテリー残保持時間 10 分						
			*** フ'ン'カ'	***分間実行(任意値入力)	2 分					
バ'ッ'テ'リ'テ'ス'ト シ'ュ'キ	バッテリーテスト周期 *4	自動的に実施されるバッテリー テストの期間(日数)を設定。	180 ニ'チ'ゴ'ト	180日で自動テスト			3.19	31		
			90 ニ'チ'ゴ'ト	90日で自動テスト						
			30 ニ'チ'ゴ'ト	30日で自動テスト						
			ジ'ド'ウ'ウ'テ'ス'ト シ'タイ	自動テストしない	※					

設定グループ	設定項目			設定値		初期 設定	現在の 設定	参照 項目	参照 ページ
	表示	内容		表示	内容				
キノウ セッテイ 機能設定	テイデンジ カンゼンジカン	停電時運転時間	停電発生時、UPSがバックアップを開始してから出力を停止するまでの時間を設定。	ホウデンシヨウ マデ 10 ビョウゴ テイシ 30 ビョウゴ テイシ 1 フンゴ テイシ 3 フンゴ テイシ 5 フンゴ テイシ 10 フンゴ テイシ	放電終了まで 10秒後に出力停止 30秒後に出力停止 1分後に出力停止 3分後に出力停止 5分後に出力停止 10分後に出力停止	※		3.20	32
	RING トウサ	RING動作	UPS起動時にRING信号を出力する/しないを設定。	シュツヨク スル シュツヨク シナイ	出力する 出力しない	※		3.21	33
	シュツヨクテン アツチャウセイ	出力電圧調整	3.1項で設定した定格電圧に対する調整値を設定。 1段階で約1Vの調整。	-5 -4 -3 -2 -1 0 *3 +1 +2 +3 +4 +5	5段階マイナス 4段階マイナス 3段階マイナス 2段階マイナス 1段階マイナス 調整しない 1段階プラス 2段階プラス 3段階プラス 4段階プラス 3段階プラス	*2		3.22	34
	EPO ニュウリョク ロンリ	EPO入力論理	EPOの入力論理を設定。	セイ ロンリ フ ロンリ	正論理 負論理	※		3.23	35
	テイデンシヨウ ロンリ	停電信号論理	CARD I/FおよびSIGNAL I/Fの停電信号の論理を設定。	セイ ロンリ フ ロンリ	正論理 負論理	※		3.24	36
	バッテリ LV シヨウ ロンリ	バッテリーLV信号論理	CARD I/FおよびSIGNAL I/Fのバッテリー電圧低下信号の論理を設定。	セイ ロンリ フ ロンリ	正論理 負論理	※		3.25	37
	インバータ シヨウ ロンリ	インバータ信号論理	SIGNAL I/Fのインバータ出力信号の論理を設定。	セイ ロンリ フ ロンリ	正論理 負論理	※		3.26	38
	バイパス シヨウ ロンリ	バイパス信号論理	SIGNAL I/Fのバイパス出力信号の論理を設定。	セイ ロンリ フ ロンリ	正論理 負論理	※		3.27	39
	イジ ヨウシヨウ ロンリ	装置異常信号論理	SIGNAL I/Fの装置異常信号の論理を設定。	セイ ロンリ フ ロンリ	正論理 負論理	※		3.28	40
	リモートスイッチ ニュウリョク	リモートスイッチ入力	リモートスイッチの入力方式を設定	ON/OFF ON /ミ (セイ) ON /ミ (フ)	リモートON/OFF 両方使用 リモートONのみ使用 (正論理) リモートONのみ使用 (負論理)	※		3.29	41
	フクテンジ カンゼンジカン	復電時確認時間	復電時、商用電源が復旧したとUPSが認識するまでの時間を設定。	ゾク 10 ビョウカン 30 ビョウカン 60 ビョウカン	0秒 10秒 30秒 60秒	※		3.30	42
	エアフィルタ	エアフィルタ使用の有無	エアフィルタを使用する/しないを設定。	ヨク スル ヨク シナイ	使用する 使用しない	※		3.31	43
システム セッテイ システム設定	ヒツケ / ジョク	月日/時刻	UPSの時刻を設定。	ヒツケ YY/MM/DD ジョク HH:MM:SS	月日 年/月/日 時刻 時/分/秒			3.32	44
	ヒョウジ ゲンゴ	表示言語	LCDパネルに表示される言語を設定。	エイゴ ニホンゴ	英語 日本語	※		3.33	45
	ChA セツゾク タイイサ	ChAシステム並列接続台数設定	UPSシステムを構成するUPSユニットの接続台数を設定。	1 2 3 4 5 6 7 8	ユニット1台 ユニット2台接続 ユニット3台接続 ユニット4台接続 ユニット5台接続 ユニット6台接続 ユニット7台接続 ユニット8台接続	*2		3.34	46
	ChB セツゾク タイイサ	ChBシステム並列接続台数設定	設定変更しないでください。	1 8	設定変更しないでください。	※			
	ヘイレツ ジョウチョウ	UPSの運転システム	冗長運転/単機・並列運転の設定。	N+1 ジョウチョウ タンキ/ヘイレツ	冗長運転 単機、並列運転	※		3.35	47
	セッテイ ショキカ 設定値 初期化	セッテイ ショキカ	工場出荷時の状態にリセット。	—	—	—		3.36	48

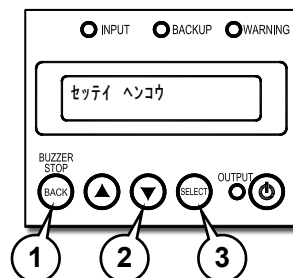
ご注意

1. 設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にUPSを再起動しないと設定値が有効になりません。
設定変更をした場合は「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。
UPSの運転操作の詳細はUPS取扱説明書をご覧ください。UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。
- *2. UPS品名により初期設定は異なります。工場出荷時に設定されています。
- *3. 「セッテイ ショキカ」で設定値をリセットした場合は、初期設定ではなく、「*3」の設定値になります。
- *4. UPS管理ソフトまたはLANインタフェースカードを使用している場合、UPSでは設定できません。UPS管理ソフトまたはLANインタフェースカードで設定してください。
- *5. UPSにLANインタフェースカードが接続されている場合のみ表示されます。

3.1 出力電圧を設定する

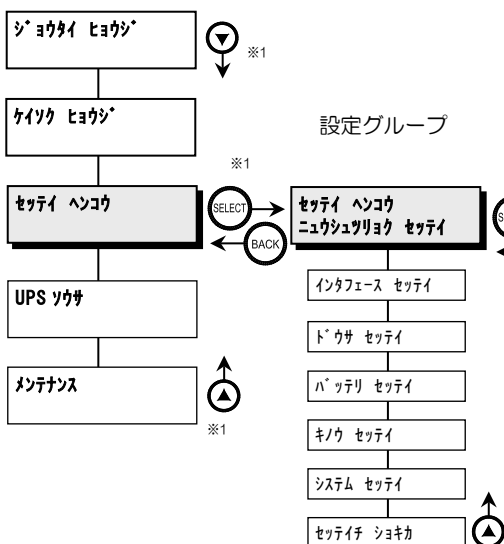
UPSの出力電圧を設定します。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：出力電圧を「240V」に設定変更する場合

ホームメニュー



ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更が確定した設定値は「@>」記号で表示されます。
UPSの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ご注意

- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「**サビトウ シンカク**」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定	
200V	
220V	UPSの出力電圧を設定します。
230V	入力電圧と出力電圧は同一です。
240V	入力電圧を確認し、同じ電圧を選択してください。
208V	

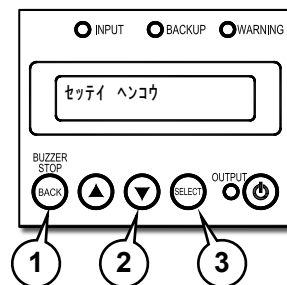
S1W2 タイプ、S2W2 タイプをご使用の場合は設定値を変更しないでください。

誤って設定を変更してしまった場合は、上記の手順で「200V」に設定し、UPSを再起動してください。

3.2 周波数同期追従範囲を設定する

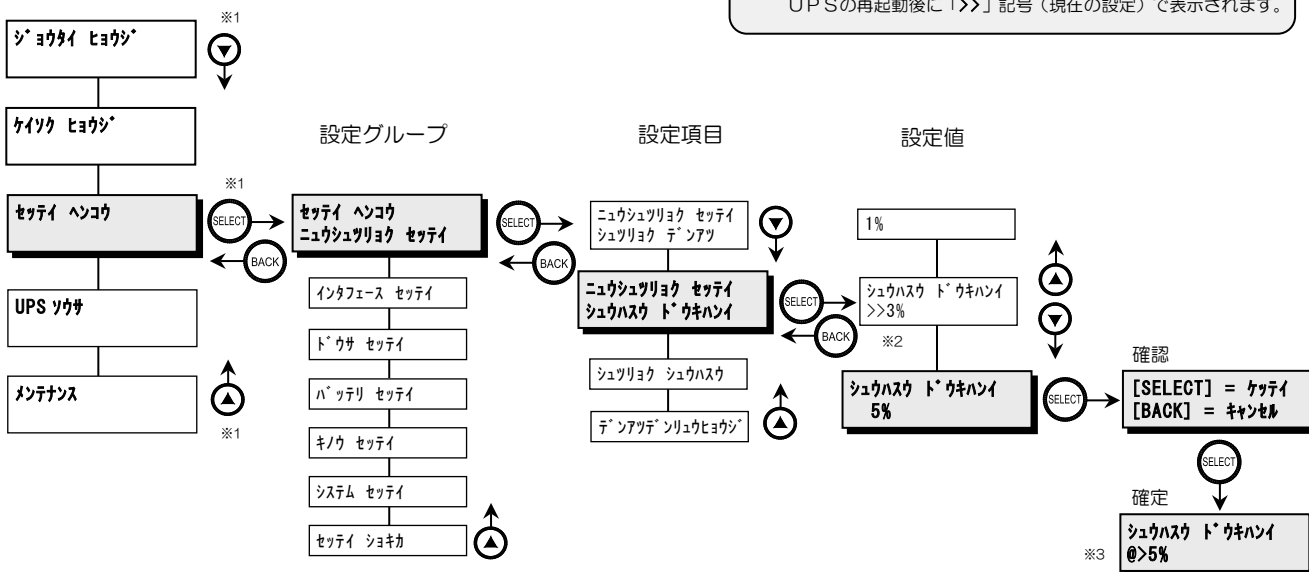
出力周波数が入力周波数に同期する追従範囲を設定します。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：周波数同期追従範囲を「5%」に設定変更する場合

ホームメニュー



ご注意

- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「**サイトウ シテガサイ**」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
1%	入力周波数の $\pm 1\%$
3%	入力周波数の $\pm 3\%$
5%	入力周波数の $\pm 5\%$

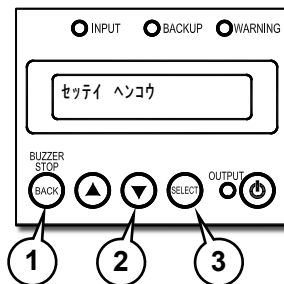
初期設定

- 数値が小さいほど出力周波数の精度がよくなりますが、入力周波数が不安定な場合は非同期運転に切り換わりやすくなります。エンジン発電機の出力に接続する場合などは「5%」を選択してください。非同期運転時にバイパス運転に切り換わる場合は、瞬断切換となります。
- 「3.3 出力周波数を設定する」で「50Hz」、「60Hz」または「**ツド ケツク**」のいずれかに設定した場合も、インバータは入力周波数が設定した値（ $\pm 1\%$ 、 $\pm 3\%$ 、 $\pm 5\%$ ）の範囲内ないと起動しません。

3.3 出力周波数を設定する

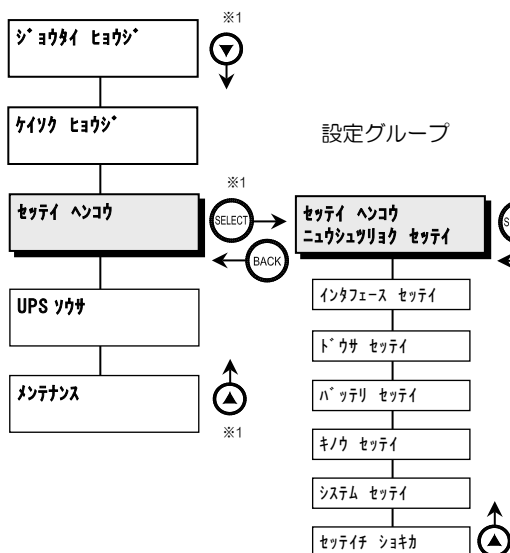
出力周波数は出荷時に「自動選択 2」に設定されています。特殊な電源環境で使用する場合以外は、設定を変更しないでください。誤って設定を変更してしまった場合は下記の手順で「自動選択 2」に設定してください。

- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：出力周波数を「自動選択 2」に設定変更する場合

ホームメニュー

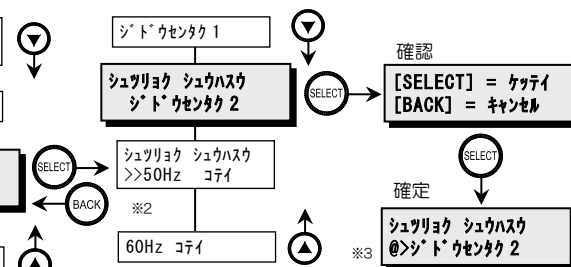


設定グループ

設定項目

設定値

- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更が確定した設定値は「@>」記号で表示されます。UPSの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
ジ'ド'センタク 1	自動選択 1 非同期運転：なし
ジ'ド'センタク 2	自動選択 2 非同期運転：あり
50Hz	出力周波数を 50Hz に固定
60Hz	出力周波数を 60Hz に固定

- 上記のいずれの設定値に設定した場合も、「3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で、周波数同期範囲を $\pm 1\%$ 、 $\pm 3\%$ 、 $\pm 5\%$ から選択することができます。インバータは入力周波数が周波数同期追従範囲で設定した値の範囲内にないと起動しません。
- 「50Hz」または「60Hz」に設定した場合、「4.1 バッテリテストをする」の操作はできません。また、「3.19 バッテリテストのスケジュールを設定する」で定期的に自動でバッテリテストが実施されるように設定しても、実施されません。
- 「50Hz」または「60Hz」に設定した場合は、バイパス回路に切り換わらないため、過負荷などの保護動作時は出力が停止します。

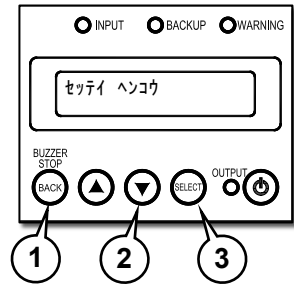
ご注意

- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「サ'イ'ド'ウ'シ'タ'ク'サ'イ」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。

3.4 計測情報に表示される電圧を設定する

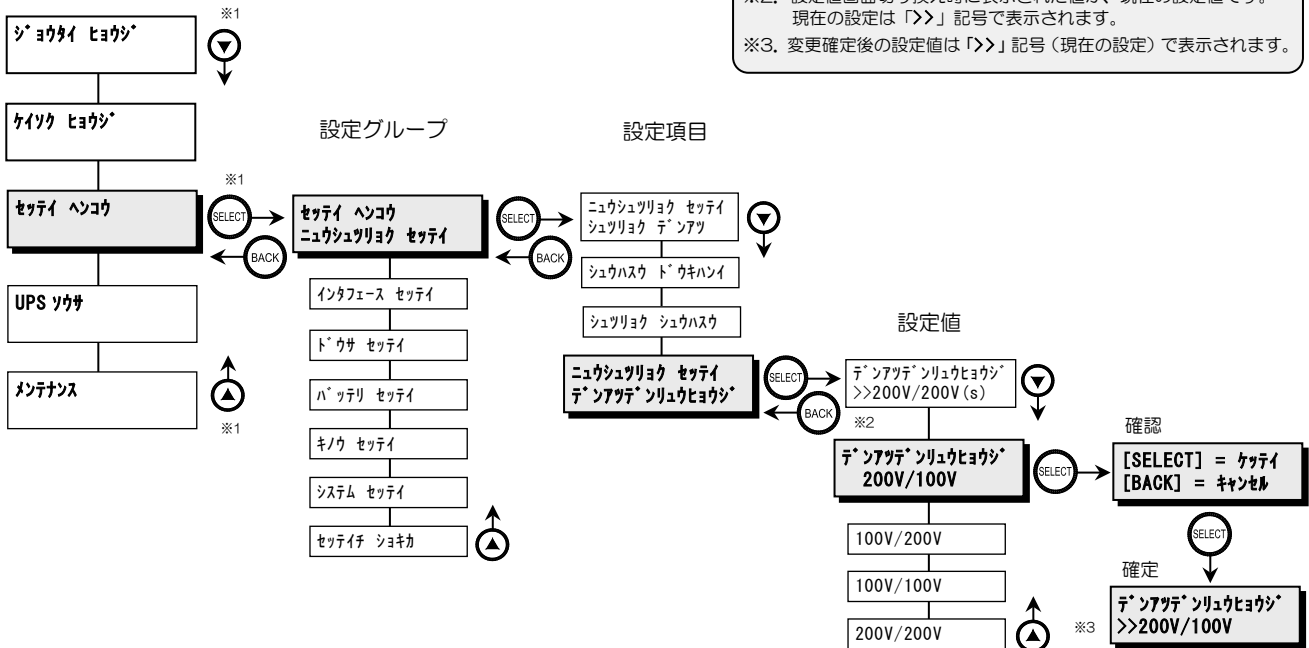
計測情報で表示される入出力電圧の値を設定します。
集電ユニットの仕様や設定に合わせて設定値を変更してください。

- ① **BACK** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：表示電圧を「200V/100V」に設定する場合

ホームメニュー



設定項目、設定値の詳細説明

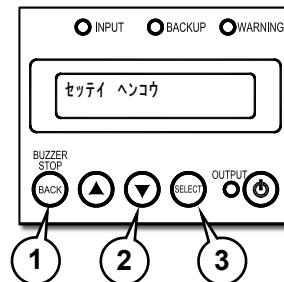
設定値	詳細	
200V/200V(S)	定格入力電圧 200V 系、出力電圧 200V 系の場合	S2S2 タイプの場合の初期設定。 電圧が 200V, 220V, 230V, 240V, 208V のいずれに設定されている場合も、この設定値になります。 S2S2 タイプの場合は、設定を変更しないでください。
200V/100V	定格入力電圧 200V、出力電圧 100V の場合	S1W2 タイプ, S2W2 タイプの場合、初期設定はUPSの品名により異なります。 集電ユニットの端子台の設定を変更した場合は、仕様に合わせて設定値を変更してください。 端子台の設定と設定値についての詳細は、UPSの取扱説明書をご覧ください。
100V/200V	定格入力電圧 100V、出力電圧 200V の場合	
100V/100V	定格入力電圧 100V、出力電圧 100V の場合	
200V/200V	定格入力電圧 200V、出力電圧 200V の場合	

UPS計測情報表示などでLCD画面に表示される電圧、電流値の設定です。電圧値の設定を変更すると電流も変更されます。
設定値とUPSの定格電圧が異なると、計測情報が正しく表示されません。

3.5 インタフェースを設定する

UPS背面のPC I/F、CARD I/F、REMOTE/EPO 端子を使用する場合のインタフェースを設定します。
詳細は、UPS取扱説明書「5. UPSを使う・・・応用編」をご覧ください。

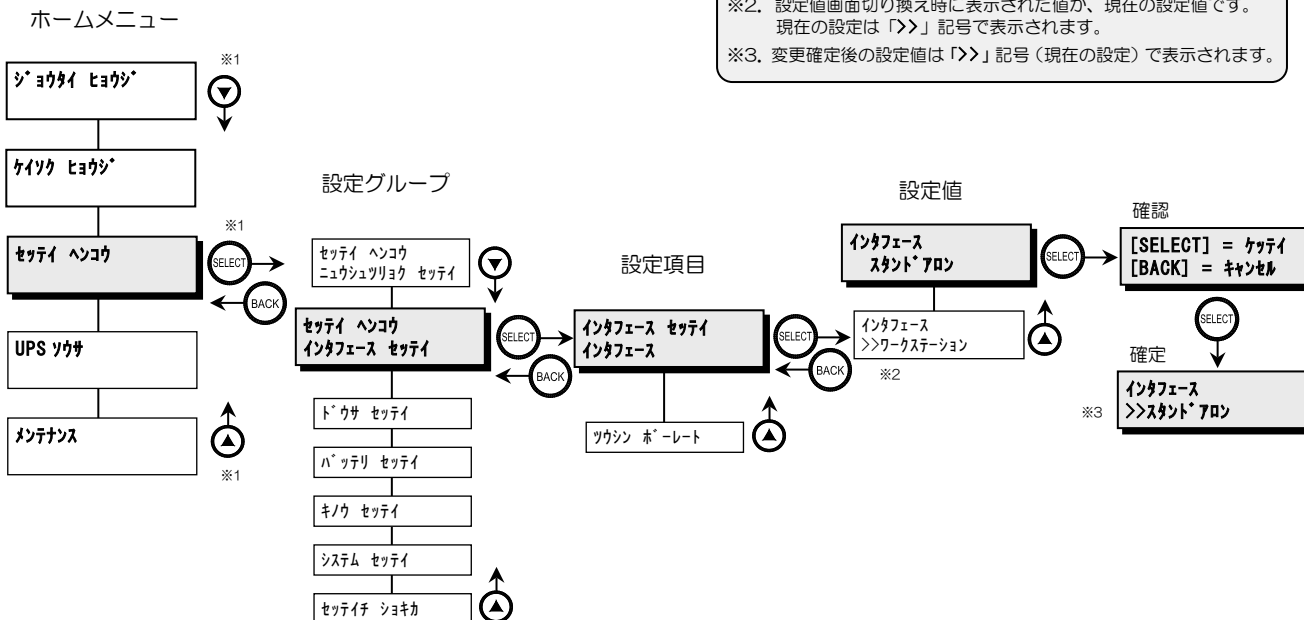
- ① **BACK** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：インタフェースを「スタンドアロン」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

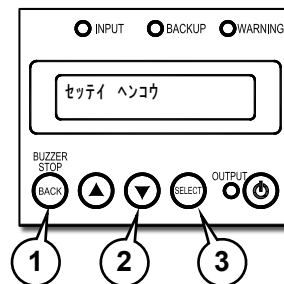
設定値	詳細
スタンドアロン	下記を使用する場合に選択。 ・リモートスイッチによるUPSのリモート ON/OFF 機能
初期設定 ワークステーション	下記を使用する場合に選択。 ・UPS管理ソフト ・LANインタフェースカード ・リモートスイッチによるコンピュータのワンタッチシャットダウン機能

接点インタフェースは、「スタンドアロン」または「ワークステーション」のどちらに設定されていても使用できます。

3.6 通信ボーレートを設定する

ワークステーション、パーソナルコンピュータ、LANインタフェースカードなどを接続する場合の通信ボーレートを設定します。

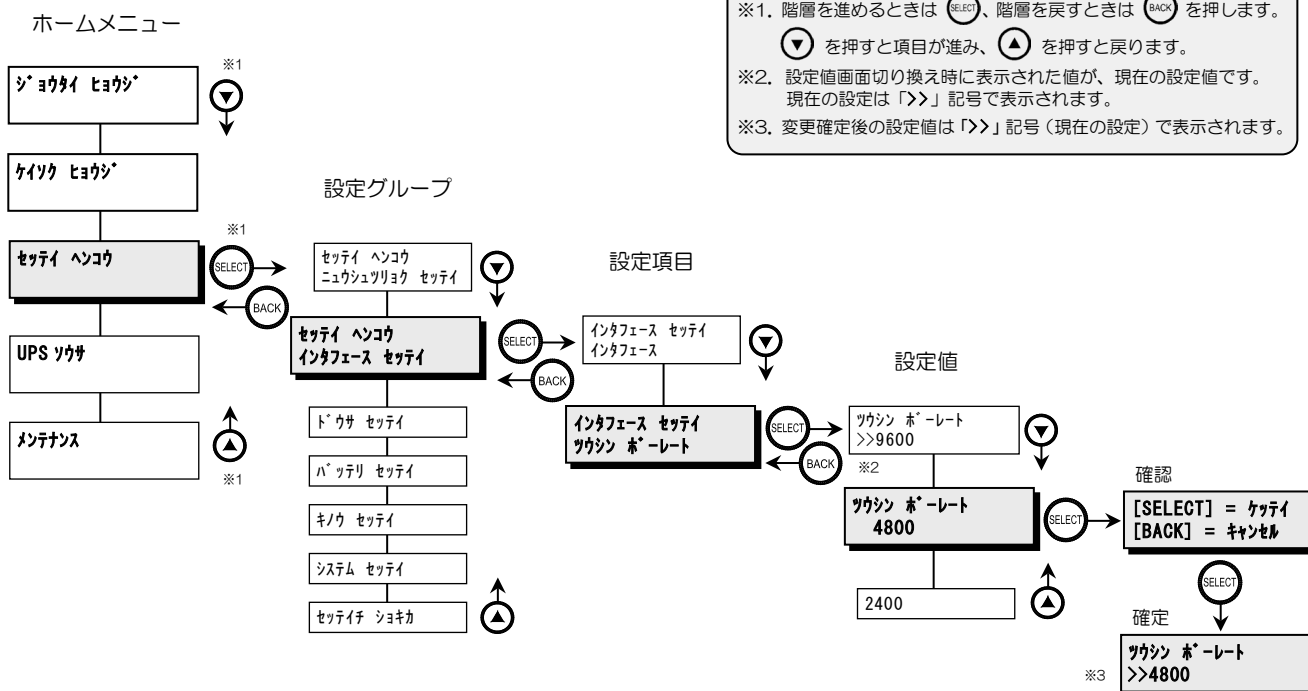
- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：通信ボーレートを「4800」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	9600	通信ボーレート 9600 bps
	4800	通信ボーレート 4800 bps
	2400	通信ボーレート 2400 bps

LAN インタフェースカードを使用する場合は「9600bps」に設定してください。

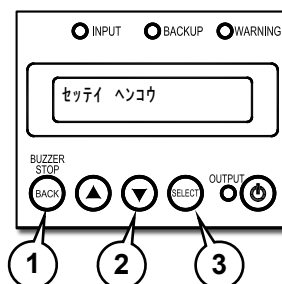
3.7 LANインタフェースカード使用時のネットワークを設定する

LANインタフェースカードを使用する場合のネットワークを設定します。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確認します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確認します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。

ご注意

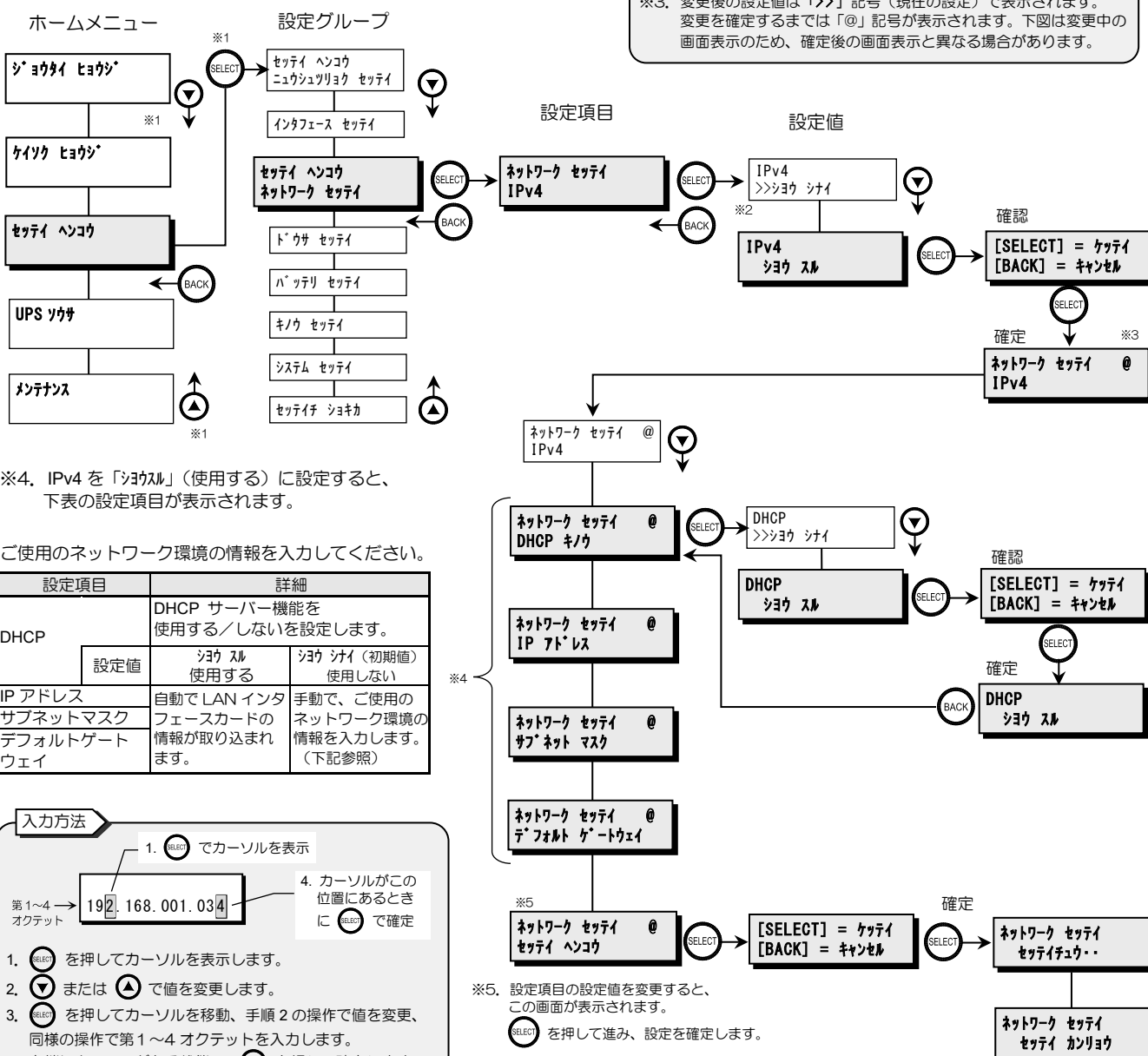
この項目はUPSにLANインタフェースカードが接続されている場合のみ、表示されます。



ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更後の設定値は「>>>」記号（現在の設定）で表示されます。
変更を確認するまでは「@」記号が表示されます。下図は変更中の画面表示のため、確定後の画面表示と異なる場合があります。

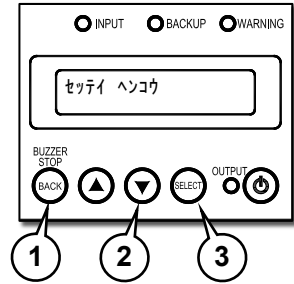
例：ネットワークの設定をする場合



3.8 復電時の動作を設定する

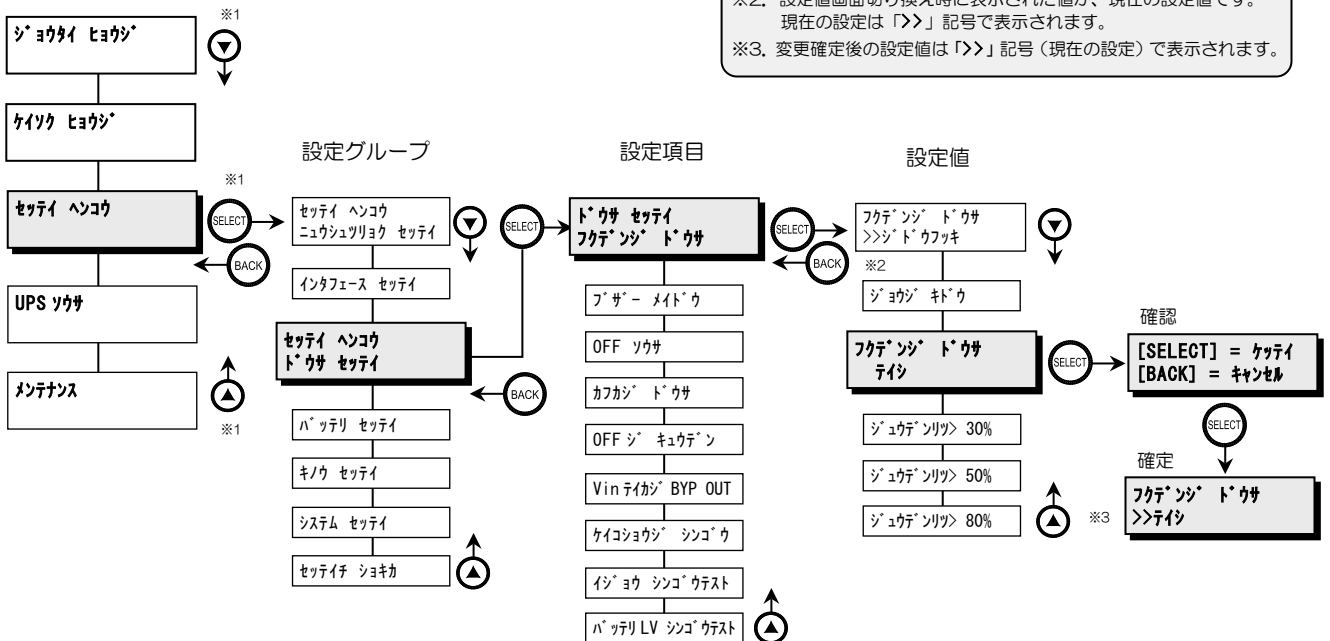
停電発生時、バッテリー放電終止によりUPSが停止した後、商用電源が復帰した場合のUPSの動作を設定します。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：復電時の動作を「停止」に設定する場合

ホームメニュー



- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層に戻るときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

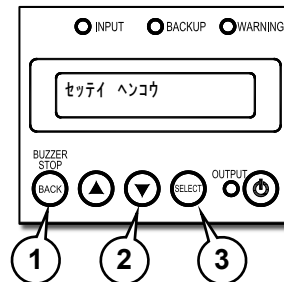
設定値	詳細
初期設定	
ジトウフキ	自動復帰 商用電源が復帰した場合、UPSは自動的に起動します。
ジョウジ キドウ	常時起動 停電後の復電、初起動時の入力電源受電などの条件にかかわらず、入力電源を受電するとUPSは自動的に起動します。
ティシ	停止 商用電源が復帰しても、UPSは停止したままです。 ただし、「3.12」で「バイパス給電」が選択されている場合は、バイパス給電となります。
ジュウテンリツ 30%	充電率 30%以上 商用電源が復帰した場合、バッテリーが 30%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。
ジュウテンリツ 50%	充電率 50%以上 商用電源が復帰した場合、バッテリーが 50%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。
ジュウテンリツ 80%	充電率 80%以上 商用電源が復帰した場合、バッテリーが 80%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。

UPS管理ソフトを使用している場合は、UPS管理ソフトの設定値が有効になります。上記の操作で設定しても設定値は有効になりません。上記の操作をした場合は、UPS管理ソフトの設定値が表示されます。この場合は、LCD画面表示右側の「▼▲」が表示されず、**▼** または **▲** を押しても設定値は変わりません。**SELECT** または **BACK** を押して戻ってください。

3.9 ブザー音が鳴る条件を設定する

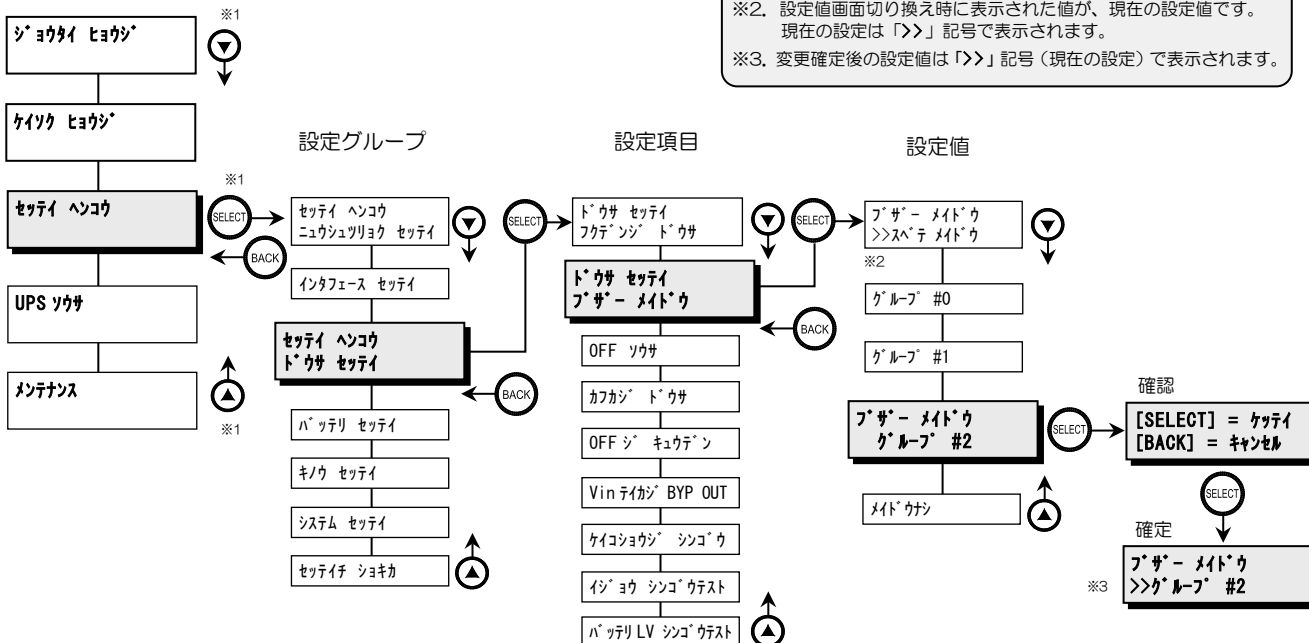
ブザー音が鳴る条件を設定します。

- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：ブザーが鳴る条件を「グループ #2」に設定する場合

ホームメニュー



設定項目、設定値の詳細説明

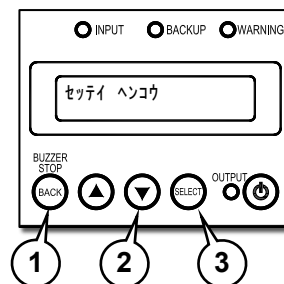
設定項目	設定値	ブザー音が鳴る条件
初期設定	すべての条件で鳴動	- キークリック音 - 放電終止発生中 - UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時 - 自動、手動、UPS管理ソフトによるバッテリーテスト中 - 自動、手動によるバッテリーテスト結果異常時 - 重故障発生時 - 軽故障発生時 - バッテリー電圧低下時 - 過負荷時（バイパス運転中） - バッテリー運転中 - バッテリー電圧異常時
グループ #0	グループ 0	- キークリック音 - 放電終止発生中 - UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時 - 手動によるバッテリーテスト中 - 自動、手動によるバッテリーテスト結果異常時 - 重故障発生時 - 軽故障発生時 - バッテリー電圧低下時 - 過負荷時（バイパス運転中） - バッテリー運転中 - バッテリー電圧異常時
グループ #1	グループ 1	- キークリック音 - 放電終止発生中 - UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時 - 重故障発生時 - 軽故障発生時 - バッテリー電圧低下時
グループ #2	グループ 2	- キークリック音 - UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時 - 重故障発生時
メイトウ ナ	鳴動なし	キークリック音

3.10 UPS本体操作パネル ㊦ のOFF 操作を設定する

UPSの本体操作パネルの ㊦ ボタンを押してUPSをOFFにする場合の操作方法を設定します。この設定は、不用意な接触、または誤操作によりUPSを停止してしまうことを防止するための機能です。

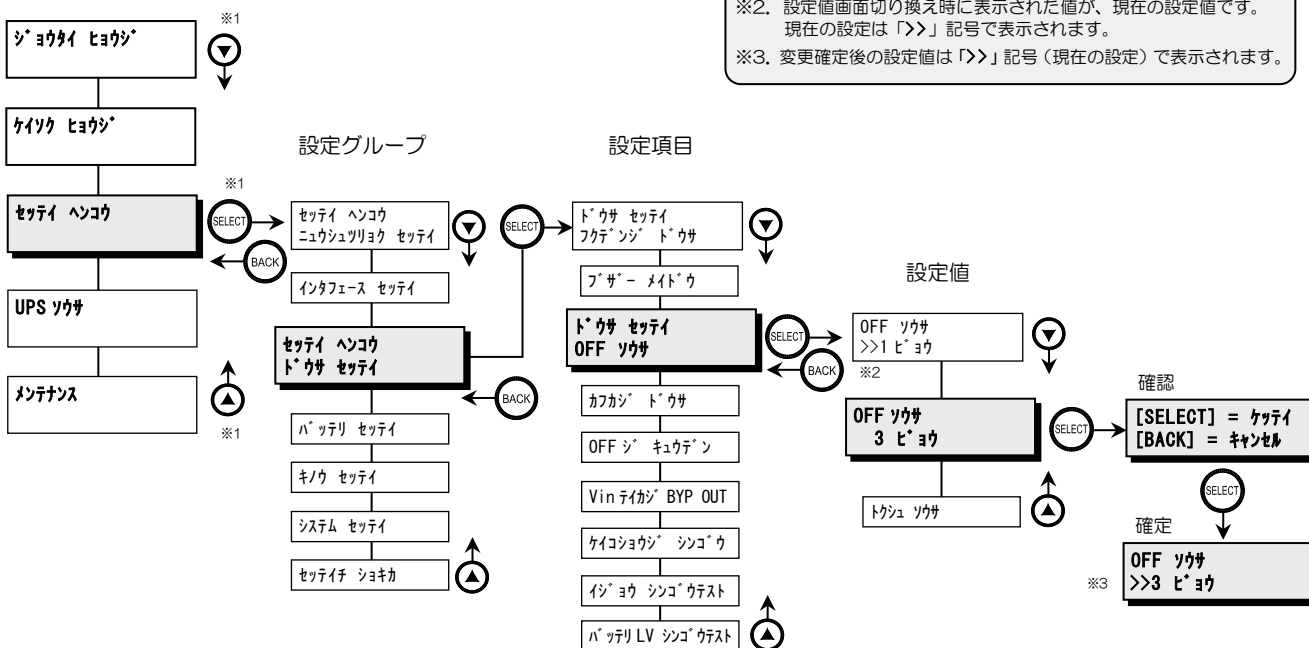
本体操作パネルの ㊦ ボタンの「OFF 操作」にのみ有効で「ON 操作」は変更されません。

- ① ㊦ (BACK) を押してLCD画面を表示させます。
- ② ㊦ (▼) を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ ㊦ (SELECT) を押して確定します。
- ④ ㊦ (▼) または ㊦ (▲) で表示を切り換え、設定する項目を ㊦ (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ ㊦ (▼) または ㊦ (▲) で設定値を切り換え、設定する値を ㊦ (SELECT) で選択し、確認画面で再度 ㊦ (SELECT) を押して確定します。
- ⑥ ㊦ (BACK) を押して戻ります。



例：「3 秒」に設定する場合

ホームメニュー



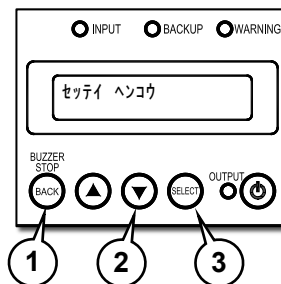
設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定	
1 ビョウ	1 秒 ㊦ ボタンを1秒間押してOFF。
3 ビョウ	3 秒 ㊦ ボタンを3秒間押してOFF。
トクシュソウサ	特殊操作 ㊦ ボタンを3秒間押しブザーが鳴ったら放します。 ブザーが鳴っている間に、㊦ ボタンを3秒間押します。 以上の手順でOFF。

3.11 過負荷時の動作を設定する

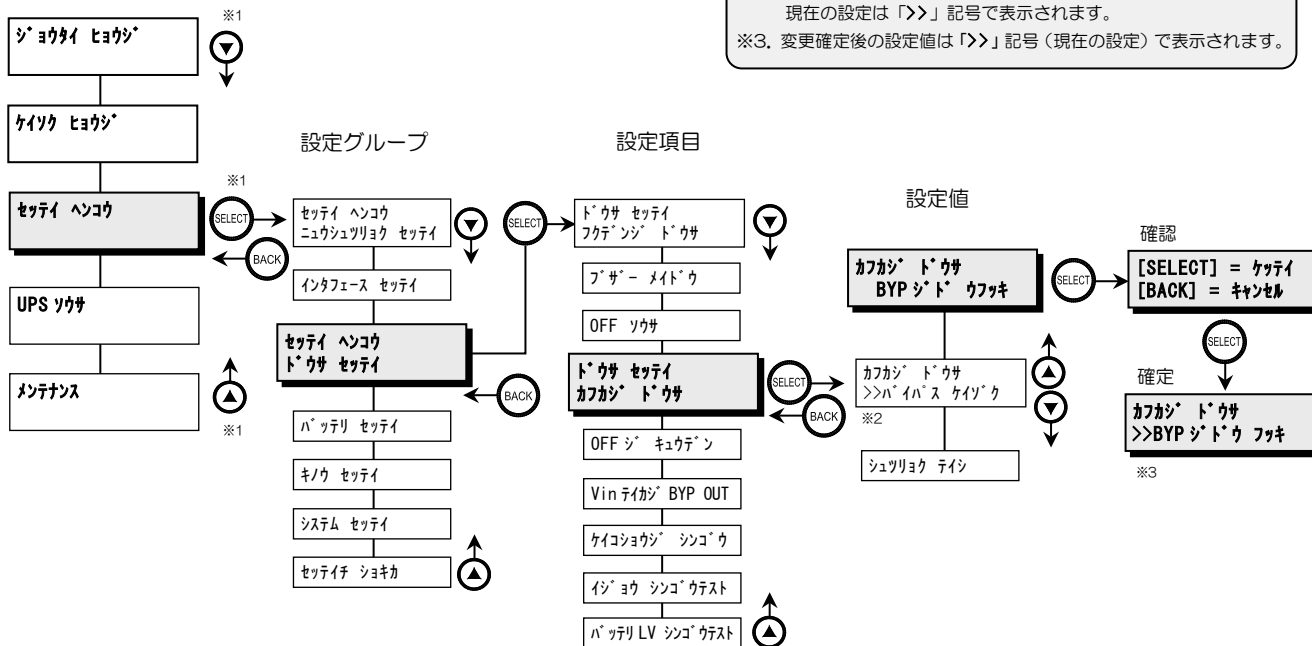
過負荷によりバイパス給電へ切り換わった後にUPS給電に戻るための条件を設定します。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：「バイパスから自動復帰」に設定する場合

ホームメニュー



- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
BYP ジドウ フッキ	バイパスから自動復帰	過負荷によりバイパス給電に切り換わった後、一定時間で自動的にUPS給電へ切り換わります。過負荷状態が継続している場合は、再度バイパス給電へ切り換わり、この動作が繰り返されます。
初期設定 バイパス ケイジク	バイパス給電継続	過負荷状態が継続している場合は、バイパス給電が継続されます。過負荷状態が解消されるとUPS給電に切り換わります。バイパス給電に切り換わったときの商用電源の電圧値により、UPS給電とバイパス給電の切り換えが繰り返されることがあります。
シュツリョク テイシ	出力停止	この設定値には設定しないでください。

- 「BYP ジドウ フッキ」または「バイパス ケイジク」のどちらを設定した場合も、UPSが非同期運転中（入力周波数が「3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で設定した値（±1%, ±3%, ±5%）の範囲外の場合）はバイパス給電からUPS給電に切り換わりません。
- 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値を「ジドウセツカ 2」に設定した場合の非同期運転中、バイパス給電への切り換えは、瞬間切り換えとなります。
- 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値を「50Hz」または「60Hz」に設定した場合は、バイパス給電に切り換わらないため、過負荷時は出力が停止します。

3.12 ⑤ OFF 時*のUPS給電状態を設定する

⑤ ボタンのOFF 操作によりUPSを停止した場合のUPSの給電状態を設定します。

* ⑤ OFF 時とは・・・

この場合のOFF 時とはUPSが下記の状態を指します。

- LCD パネルの ⑤ ボタンを押し「INV 時」の操作をしてUPSを停止。
- LCD 画面に「スバイ」または「バ イ ス」が表示、【INPUT ⑤】が点灯。
- UPSの MAIN MCCB は「ON」。

① BACK を押してLCD 画面を表示させます。

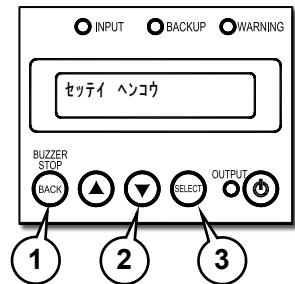
② ④ を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ④ または ④ で表示を切り換え、設定する項目を ⑤ で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

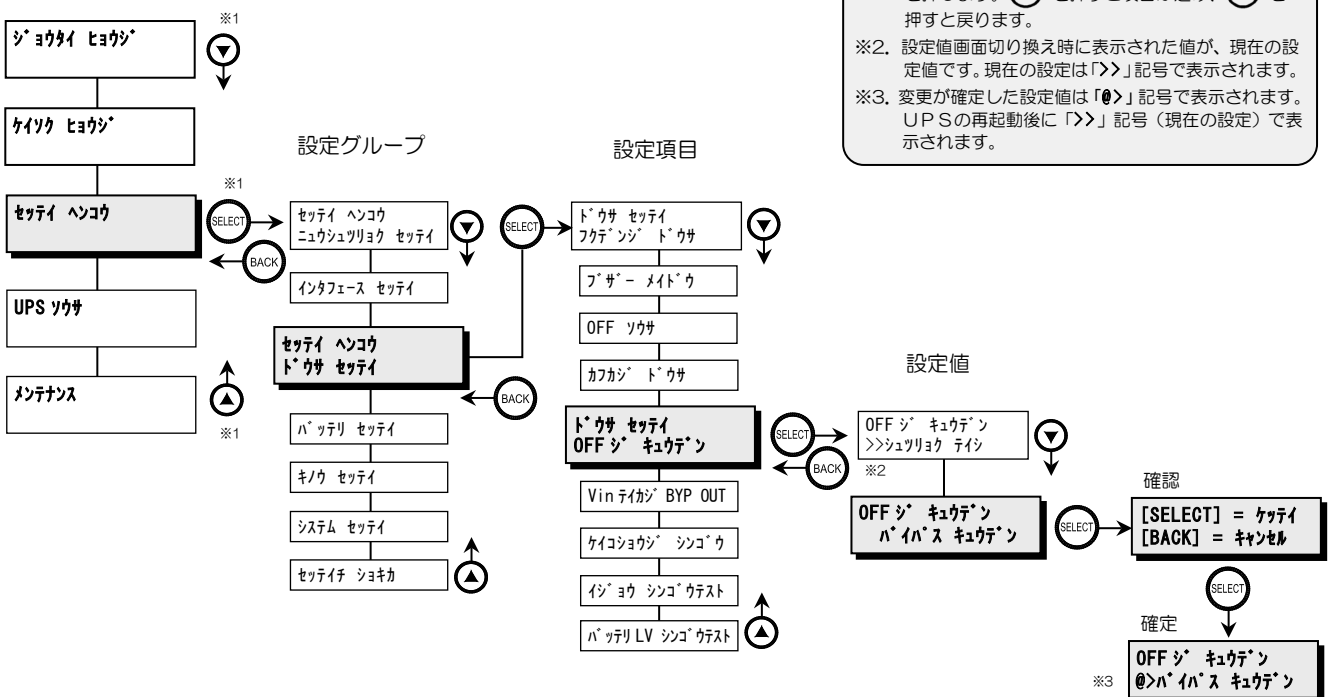
⑤ ④ または ④ で設定値を切り換え、設定する値を ⑤ で選択し、確認画面で再度 ⑤ を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。



例：OFF 時の給電状態を「バイパス給電」に設定する場合

ホームメニュー



ご注意

- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「サビドウ シタガシ」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	シャットダウン	出力停止
	バイパス ⑤	バイパス給電
		バイパス給電へ切り換わり給電が継続します。

3.13 入力異常時にバイパス給電をする／しないを設定する

入力異常*¹が発生している場合に、UPSが下記の状態*²になったとき、UPSがバイパス給電をするか、しないかを設定します。

★ご注意

★1. 入力異常とは、つぎの2つの状態です。

- ・入力電圧低下
- ・入力周波数異常

★2. 下記の状態とは、つぎの3つの状態です。

- ・過負荷
- ・UPS故障
- ・バッテリー放電終止

① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。

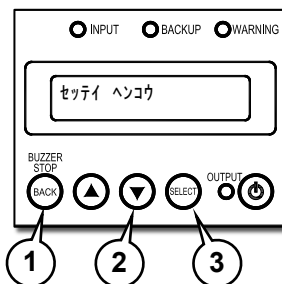
② **DOWN** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。

③ **SELECT** を押して確定します。

④ **DOWN** または **UP** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ **DOWN** または **UP** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。

⑥ **BACK** を押して戻ります。

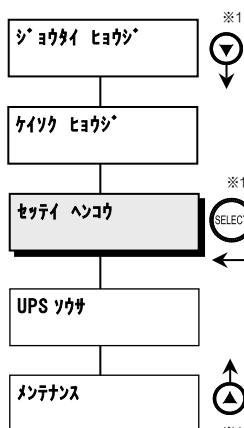


例：入力異常時「バイパス給電しない」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。**DOWN** を押すと項目が進み、**UP** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー



設定グループ

セッテイ ヘンコウ

ニューシュリヨク セッテイ

インタフェース セッテイ

セッテイ ヘンコウ

トウサ セッテイ

バッテリー セッテイ

キノウ セッテイ

システム セッテイ

セッテイ ショキカ

設定項目

トウサ セッテイ

フクテンジ トウサ

フサー メイトウ

OFF ソウサ

カフカシ トウサ

OFF ジュ キュウテン

トウサ セッテイ

Vin テイカシ BYP OUT

ケイコショウ シンコウ

イシヨウ シンコウ ウテスト

バッテリー LV シンコウ ウテスト

設定値

Vin テイカシ BYP OUT

>> キュウテン スル

Vin テイカシ BYP OUT

キュウテン シナイ

確認

[SELECT] = ケッテイ

[BACK] = キャンセル

確定

Vin テイカシ BYP OUT

>> キュウテン シナイ

※3

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定	
キュウテン スル	給電する
キュウテン シナイ	給電しない

入力過電圧はこの場合の入力異常に含まれません。

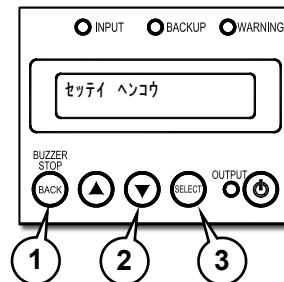
入力過電圧の場合は、「給電する／給電しない」のどちらに設定されていても、バイパス給電に切り換わりません。

「給電する」に設定されている場合でも、入力電圧がUPSの起動電圧（100V）を下回った場合は、給電が停止します。

3.14 軽故障時に転送信号を送出 する／しない を設定する

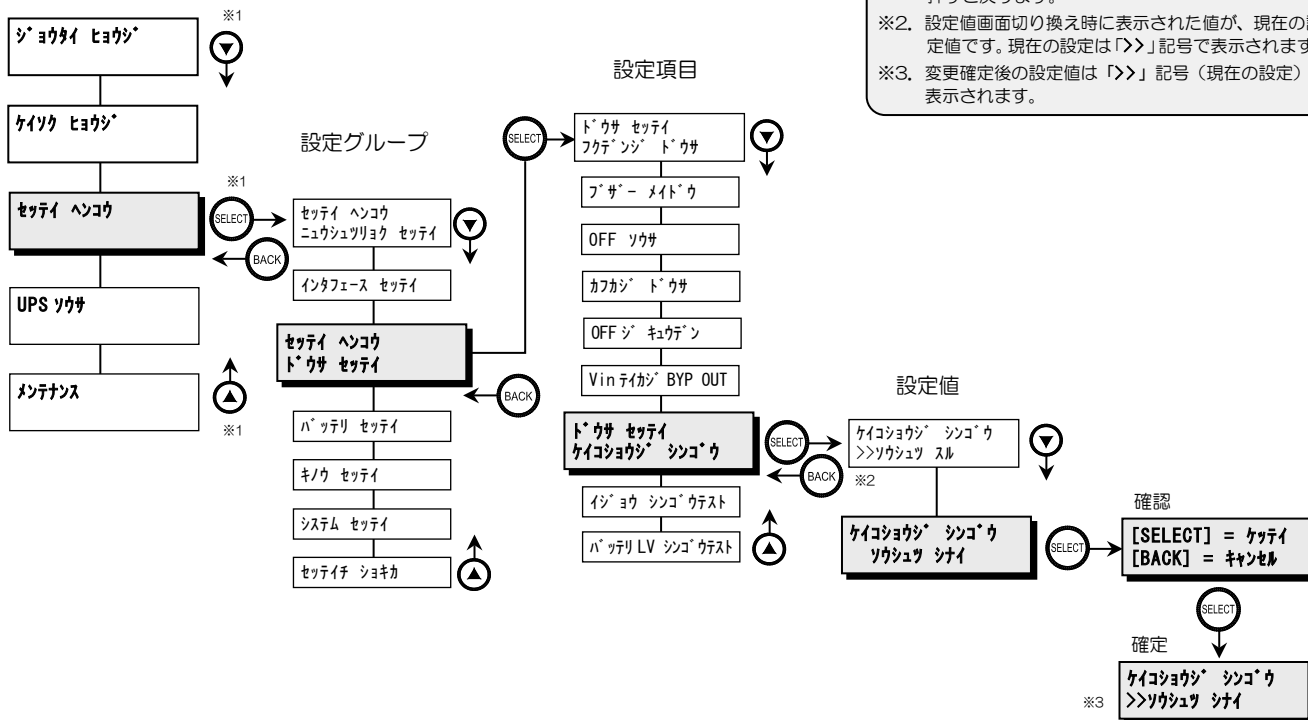
軽故障が発生したとき、「SIGNAL I/F」コネクタから「装置異常」転送信号を送出するか、しないかを設定します。

- ① **BACK** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：軽故障時、装置異常転送信号を「送出不い」に設定する場合

ホームメニュー



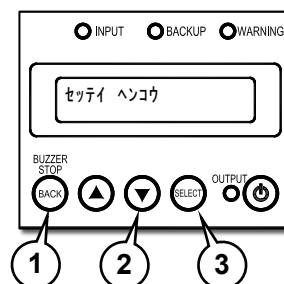
設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	ソクシュ スル	「SIGNAL I/F」コネクタから送出される転送信号の「装置異常」に軽故障が含まれ、軽故障発生時に転送信号が送出されます。 重故障／軽故障の判別はできません。
	ソクシュ シナイ	軽故障発生時、「SIGNAL I/F」コネクタの「装置異常」信号は送出されません。

3.15 試験用の「装置異常」転送信号を送出する

設備試験などのため擬似的に「SIGNAL I/F」コネクタから「装置異常」転送信号を送出します。作業終了後は必ず設定をもとに戻してください。

- ① **BACK** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。

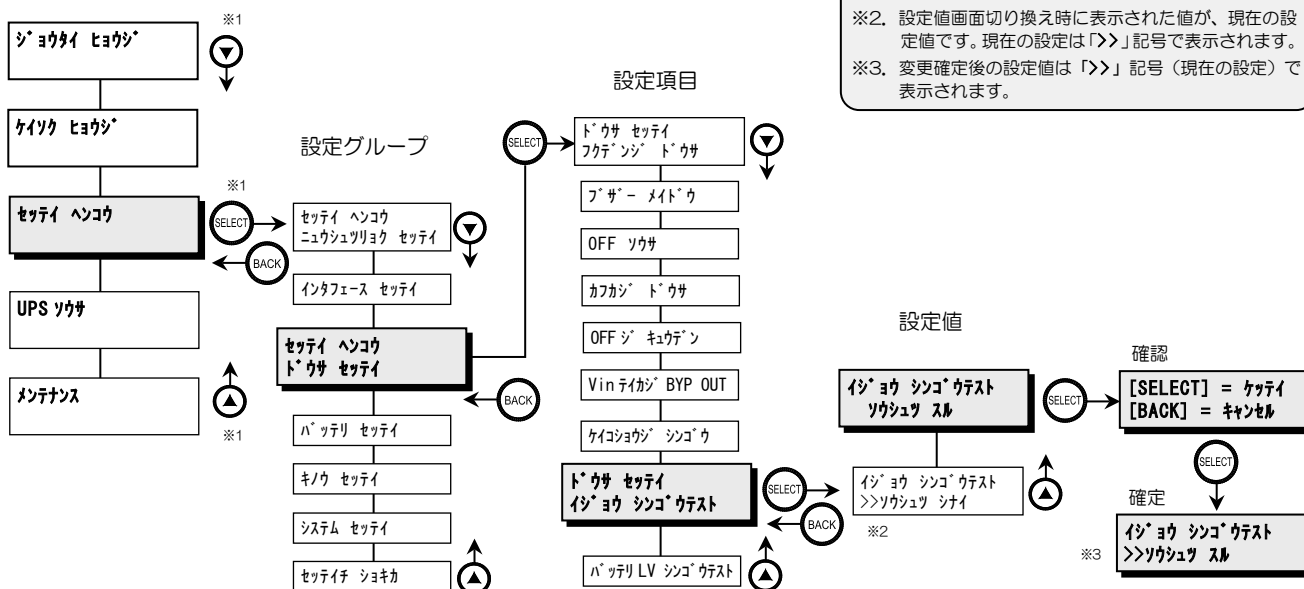


例：試験用の「装置異常」転送信号を「送る」場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層に戻すときは **BACK** を押します。**▼** を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー



設定項目、設定値の詳細説明

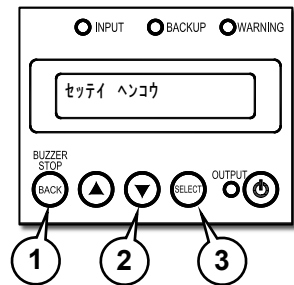
設定値	詳細
ソケット スル	外部インターフェース部の「SIGNAL I/F」コネクタから擬似的に「装置異常」信号が送出されます。UPS管理ソフトまたはLAN インターフェースカードを使用している場合は、「重故障」が通知されます。 設備の試験時などに設定してください。この設定値に設定されている間は、信号送出が継続しています。試験などの作業が終了した後は、必ず「ソケット シイ」に設定してください。 「3.28 SIGNAL I/F の装置異常信号の論理を設定する」で出力される信号の論理を設定することができます。
初期設定 ソケット シイ	信号は送出されません。 試験などを実施するとき以外は、この設定値に設定しておいてください。

「ソケット スル」に設定しても、UPSを停止後、入力電源を遮断した場合は、再起動時に、初期設定「ソケット シイ」に戻ります。

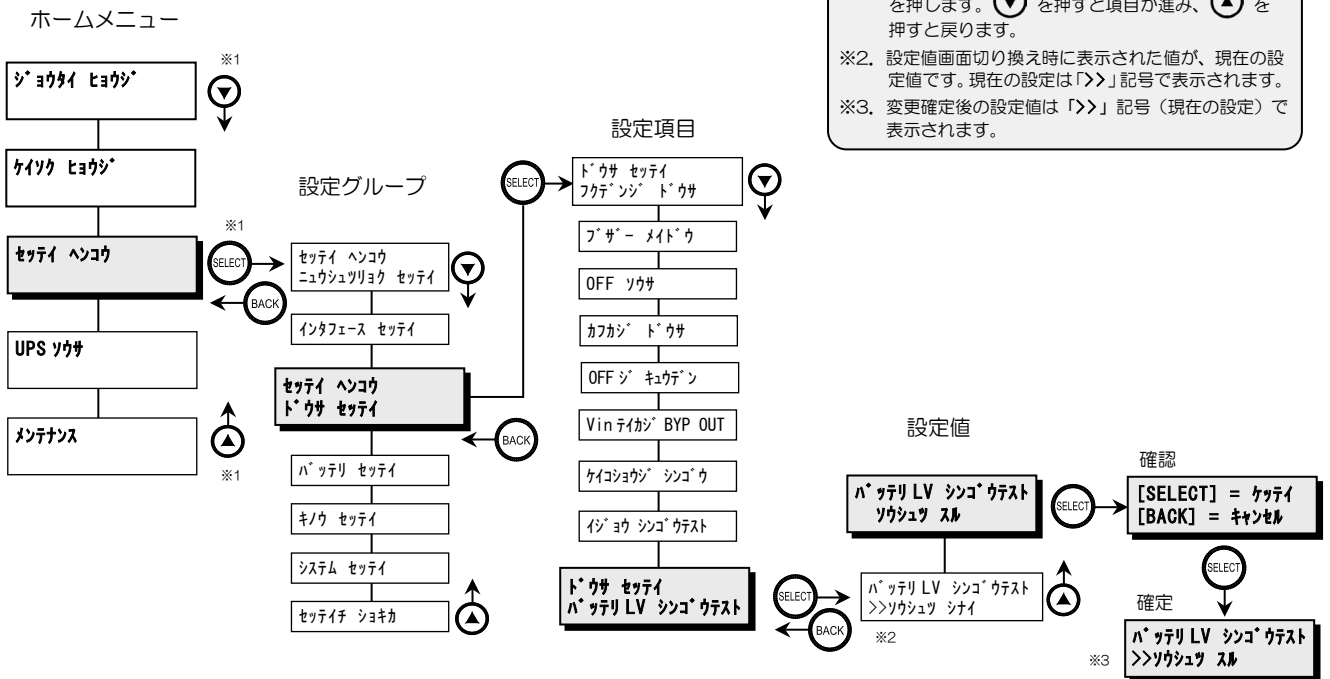
3.16 試験用の「バッテリー電圧低下」転送信号を送出する

設備試験などのため擬似的に「CARD I/F」コネクタおよび「SIGNAL I/F」コネクタから「バッテリー電圧低下」転送信号を送出します。作業終了後は必ず設定をもとに戻してください。

- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：試験用の「バッテリー電圧低下」転送信号を「送出する」場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
初期設定	ソウシュ スル	信号を送出する 外部インタフェース部の「CARD I/F」および「SIGNAL I/F」コネクタから擬似的に「バッテリー電圧低下」信号が送出されます。UPS管理ソフトまたは LAN インタフェースカードを使用している場合は、「バッテリー電圧低下」が通知されます。設備の試験時などに設定してください。この設定値に設定されている間は、信号送出が継続しています。試験などの作業が終了した後は、必ず「ソウシュ シナイ」に設定してください。「3.25 CARD I/F および SIGNAL I/F のバッテリー電圧低下信号の論理を設定する」で、出力される信号の論理を設定することができます。
	ソウシュ シナイ	信号を送出しません。 試験などを実施するとき以外は、この設定値に設定しておいてください。

「ソウシュ スル」に設定しても、UPSを停止後、入力電源を遮断した場合は、再起動時に、初期設定「ソウシュ シナイ」に戻ります。

3.17 バッテリ電圧低下警告発生のタイミングを設定する

バッテリー電圧低下警告が発生するタイミングを設定します。

UPS管理ソフトをご使用の場合、この項目はUPSで設定することができません。UPS管理ソフトで設定してください。詳細は、UPS管理ソフトのユーザガイドをご覧ください。

① **BACK** を押してLCD 画面を表示させます。

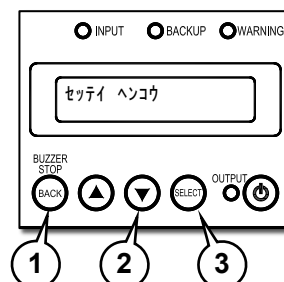
② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。

③ **SELECT** を押して確定します。

④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。

⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：警告発生のタイミングを「残り 5 分」に設定する場合

ポイント

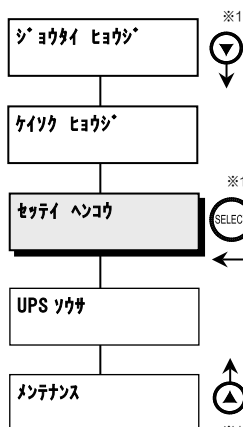
※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。

▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

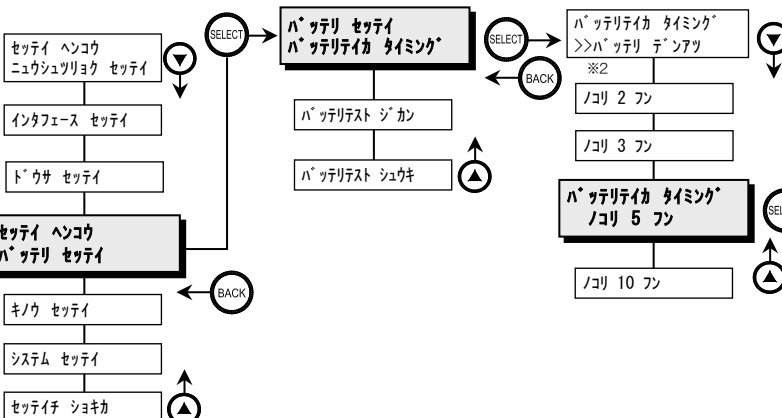
ホームメニュー



設定グループ

設定項目

設定値



確認

[SELECT] = ケッテイ
[BACK] = キャンセル

確定

ハッテリタイカ タイミンク
>>/コリ 5 フン

設定項目、設定値の詳細説明

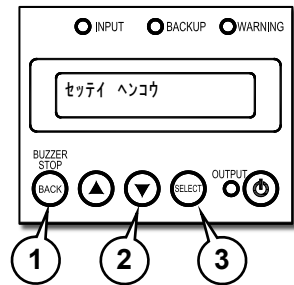
設定値	詳細	
初期設定	ハッテリテンアツ	バッテリー電圧低下レベルを検出した時点で警告：LCD画面「ハッテリテンアツ ティカ」表示、ブザー音「ビビビビ・・」が発生します。
/コリ 2 フン	バッテリー残保持時間が2分で警告が発生します。	設定した電圧低下レベルを検出した時点で、警告：LCD画面「ハッテリテンアツ ティカ」表示、ブザー音「ビビビビ・・」が発生します。値(分)または(%)は目安です。「7. 計測情報表示について」をご覧ください。
/コリ 3 フン	バッテリー残保持時間が3分で警告が発生します。	
/コリ 5 フン	バッテリー残保持時間が5分で警告が発生します。	
/コリ 10 フン	バッテリー残保持時間が10分で警告が発生します。	

- 「3.9 ブザー音が鳴る条件を設定する」で設定値「ティカ」または「グループ #2」に設定している場合は、ブザーは鳴りません。
- UPS管理ソフトを使用している場合は、UPS管理ソフトの設定値が有効になります。上記の操作で設定しても設定値は有効になりません。上記の操作をした場合は、UPS管理ソフトの設定値が表示されます。この場合は、LCD画面表示右側の「▼▲」が表示されず、**▼** または **▲** を押しても設定値は変わりません。**BACK** または **SELECT** を押して戻ってください。

3.18 バッテリテストの実行時間を設定する

定期的、または手動で実施するバッテリテストの実行時間を設定します。

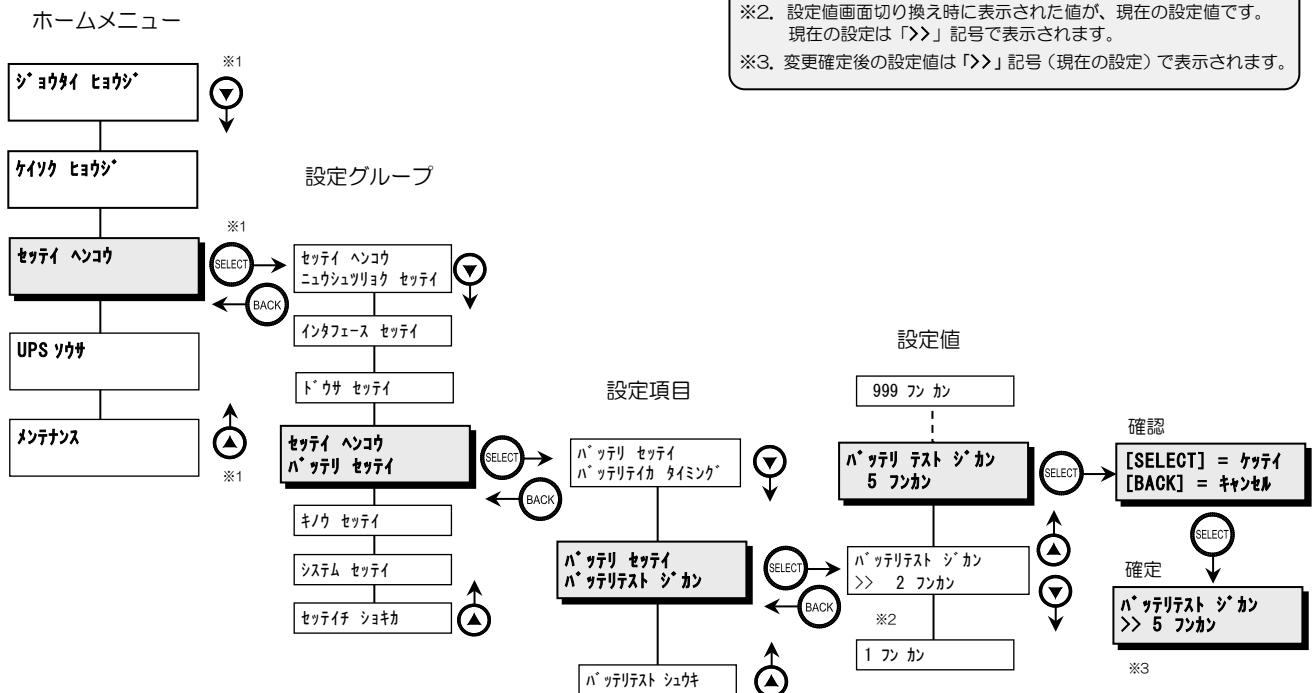
- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確認します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確認します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：バッテリテスト時間を「5 分」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
1 ~ 999 フンカン	初期設定：2 分間 1 分単位で任意の値を設定します。 UPS に接続している負荷容量とバッテリー容量に応じてバッテリーテスト実行時間を設定してください。 設定した時間、バッテリーテストが実行されます。

3.19 バッテリテストのスケジュールを設定する

自動的に実施されるバッテリーテストの周期（日数）を設定します。設定した日数が経過すると自動的にバッテリーテストが実施されます。UPS管理ソフトをご使用の場合、この項目はUPSで設定することができません。UPS管理ソフトで設定してください。詳細は、UPS管理ソフトのユーザガイドをご覧ください。

① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。

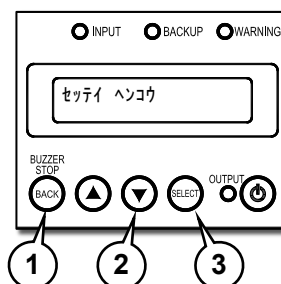
② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。

③ **SELECT** を押して確定します。

④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。

⑥ **BACK** を押して戻ります。

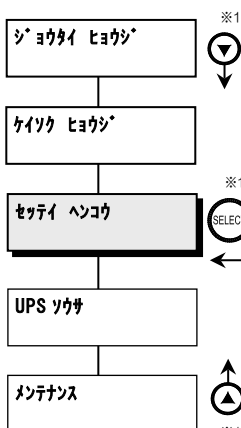


例：バッテリーテストスケジュールを「90日」に設定する場合

ポイント

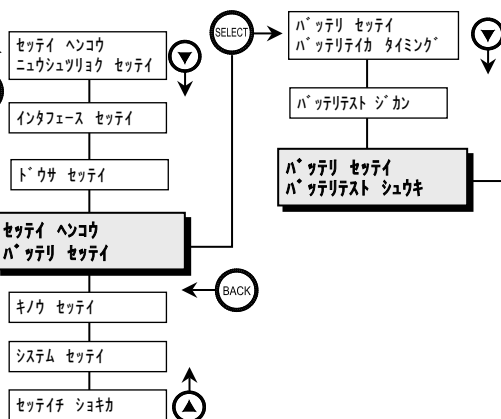
- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー

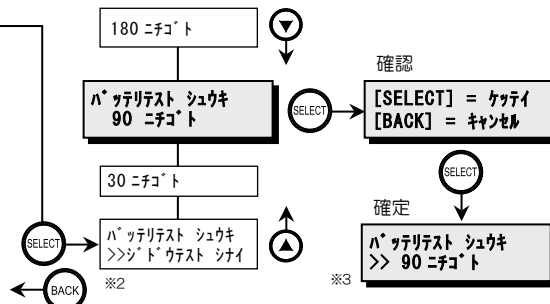


設定グループ

設定項目



設定値



設定項目、設定値の詳細説明

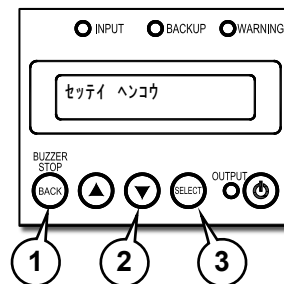
設定値		詳細
180 ニチゴト	180 日ごと	180 日ごとに自動でバッテリーテストが実施されます。
90 ニチゴト	90 日ごと	90 日ごとに自動でバッテリーテストが実施されます。
30 ニチゴト	30 日ごと	30 日ごとに自動でバッテリーテストが実施されます。
初期設定	ジョウダウテスト シナイ	自動テストしない バッテリーテストは自動的に実施されません。

- この機能を使用する場合は「3.3 出力周波数を設定する」で設定値を「ジョウダウテスト 1」または「ジョウダウテスト 2」に設定してください。「50Hz」または「60Hz」に設定されていると、バッテリーテストは実施されません。
- UPS管理ソフトを使用している場合は、UPS管理ソフトで設定したスケジュールでバッテリーテストが実施されます。上記の操作でUPS管理ソフトと異なる設定値に設定した場合、いったん設定値は変更されますが、再度、設定値を表示させたときはUPS管理ソフトの設定値が表示されます。

3.20 停電時の運転時間を設定する

停電発生時に、UPSがバックアップを開始してから出力供給を停止するまでの時間を設定します。

- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。

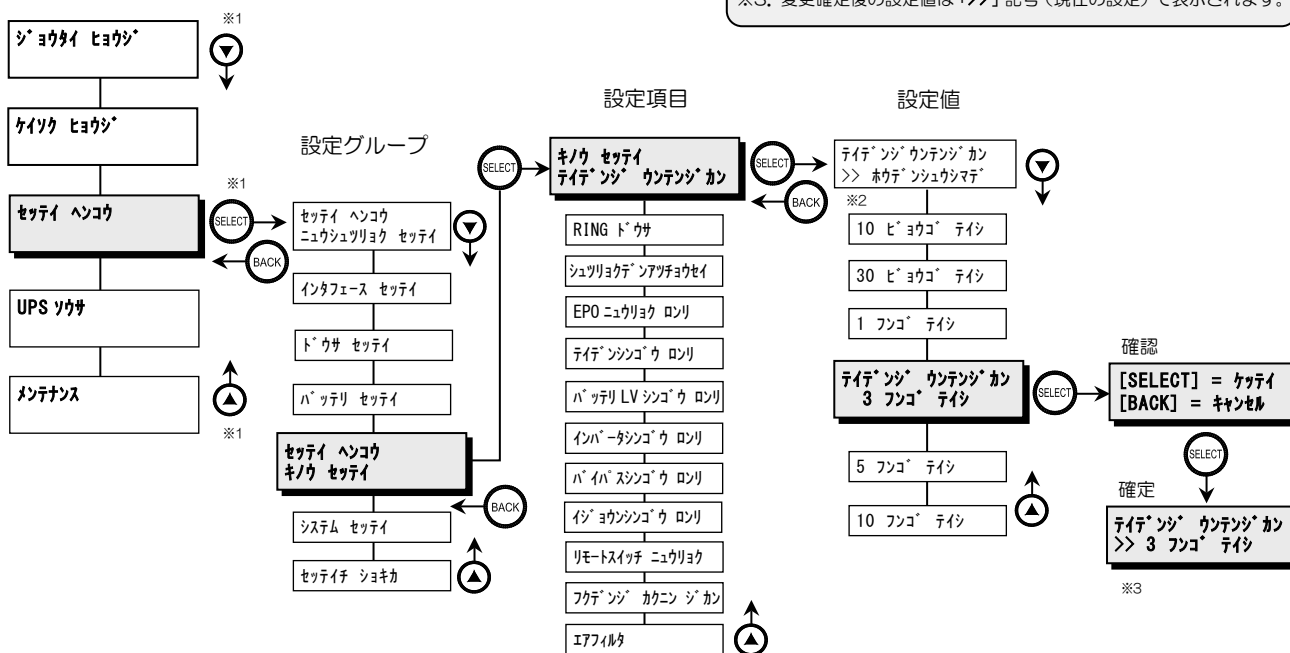


例：停電時の運転時間を「3 分後に停止」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	ホド'ンシユウ マデ	放電終了まで バッテリー放電終了まで出力供給が継続されます。 バッテリー容量を最大限に使用する場合に選択します。
	10 ビ'ヨウ' テイ	10秒後 停止 10 秒間バックアップした後、出力供給が停止します。
	30 ビ'ヨウ' テイ	30秒後 停止 30 秒間バックアップした後、出力供給が停止します。
	1 フンゴ' テイ	1 分後 停止 1 分間バックアップした後、出力供給が停止します。
	3 フンゴ' テイ	3 分後 停止 3 分間バックアップした後、出力供給が停止します。
	5 フンゴ' テイ	5 分後 停止 5 分間バックアップした後、出力供給が停止します。
	10 フンゴ' テイ	10分後 停止 10 分間バックアップした後、出力供給が停止します。

- ・ 設定した時間が経過した時点で出力供給が停止します。設定した時間内に商用電源が復電した場合は、通常運転に戻ります。この機能を使用する場合は、「3.5 インタフェースを設定する」で設定値を「スタンバイ」に設定してください。「ワークステーション」に設定されていると有効になりません。工場出荷時は「ワークステーション」に設定されています。
- ・ 設定値を「** ビ'ヨウ' テイ」または「** フンゴ' テイ」に設定しても、バッテリーの構成、負荷率、バッテリーの充電が不十分、バッテリーの劣化、周囲温度などの条件により、指定した時間の出力供給ができないこともあります。

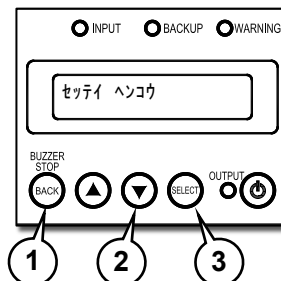
3.21 RING 信号※の設定をする

UPS 起動時に RING 信号を出力するか、しないかを設定します。

※ RING 信号とは・・・

UPS の起動時に、接続されているコンピュータを自動的に起動させる信号です。
Wake Up on Ring機能に対応したコンピュータとUPSがオプションの通信ケーブルで接続されている場合に有効になります。

- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。

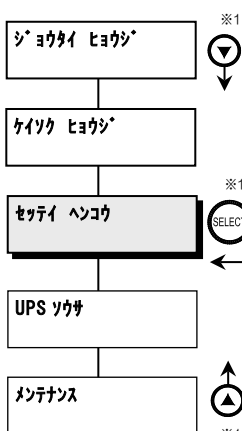


例：RING 信号を「出力する」に設定する場合

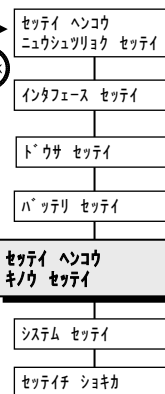
ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

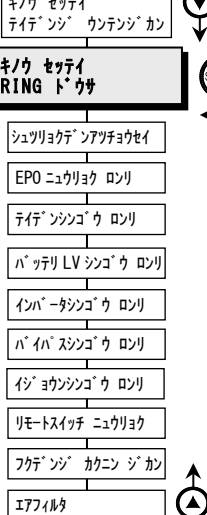
ホームメニュー



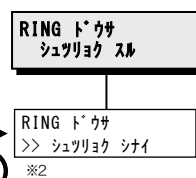
設定グループ



設定項目



設定値



確認

[SELECT] = ケッテイ
[BACK] = キャンセル

確定

RING トウサ
>> シュツリョク スル

※3

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
	シュツリョク スル	出力する
初期設定	シュツリョク シナイ	出力しない

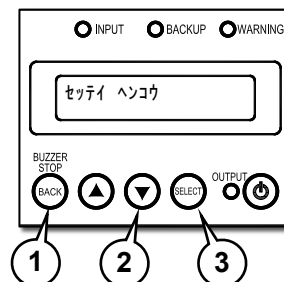
「シュツリョク スル」に設定すると、電源が供給されただけでは起動しないコンピュータをUPSの起動時に、自動的に起動させることができます。

Wake Up on Ring 機能に対応したコンピュータのみに有効です。

3.22 出力電圧の調整値を設定する

「3.1 出力電圧を設定する」で設定した出力電圧に対する調整値を設定します。
マイナス側に 5 段階、プラス側に 5 段階（約 -5V～+5V）の範囲で調整できます。

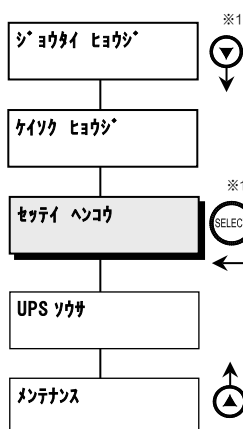
- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



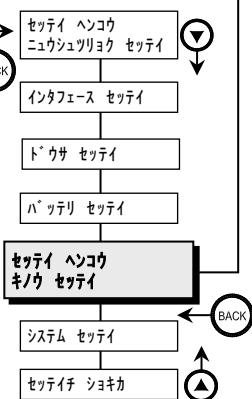
例：調整値を「+3」に設定する場合

- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

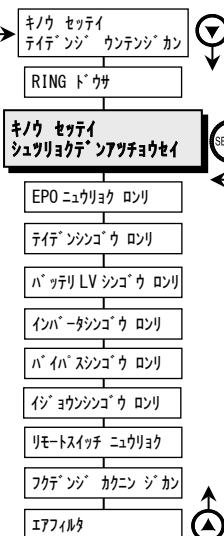
ホームメニュー



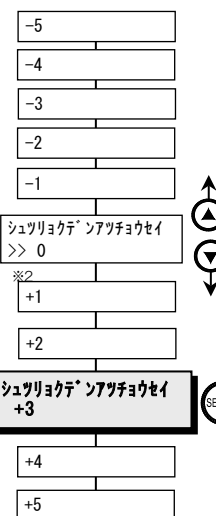
設定グループ



設定項目



設定値



確認

[SELECT] = セッテイ
[BACK] = キャンセル

確定

シュツリョクデ' シュツリョクデ
>> +3

※3

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細	初期設定 ^{※4}		
		S2S2 タイプ	S1W2 タイプ	S2W2 タイプ
-5	マイナス側に 5 段階(約 5V)低く設定されます。			
-4	マイナス側に 4 段階(約 4V)低く設定されます。			
-3	マイナス側に 3 段階(約 3V)低く設定されます。			
-2	マイナス側に 2 段階(約 2V)低く設定されます。			
-1	マイナス側に 1 段階(約 1V)低く設定されます。			
0	設定電圧のまま出力されます。	○		
+1	プラス側に 1 段階(約 1V)高く設定されます。			
+2	プラス側に 2 段階(約 2V)高く設定されます。		○	○
+3	プラス側に 3 段階(約 3V)高く設定されます。			
+4	プラス側に 4 段階(約 4V)高く設定されます。			
+5	プラス側に 5 段階(約 5V)高く設定されます。			

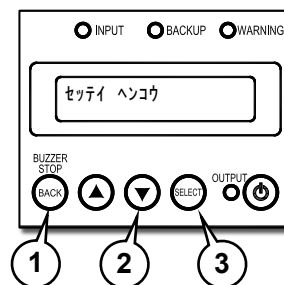
※4. 初期設定は、UPS のタイプにより異なります。工場出荷時に設定されています。
調整値 1 段階は約 1V です。上表は、200V 出力に対する調整値です。100V の場合は設定値の半分の値になります。
接続している負荷の状態や設置環境に応じて設定してください。なお、この調整値は、出力電圧のみに適用されます。
交流入力電圧範囲は変わりません。「3.36 設定値をリセットする」の操作をした場合、設定値は「0」になります。

3.23 EPO 入力論理を設定する

UPS 背面の EPO 端子※の入力論理を設定します。
詳細はUPS取扱説明書「5.6 UPS 緊急停止用のスイッチを接続する」をご覧ください。

※. EPOは、Emergency Power Off（緊急出力停止）の略です。

- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。

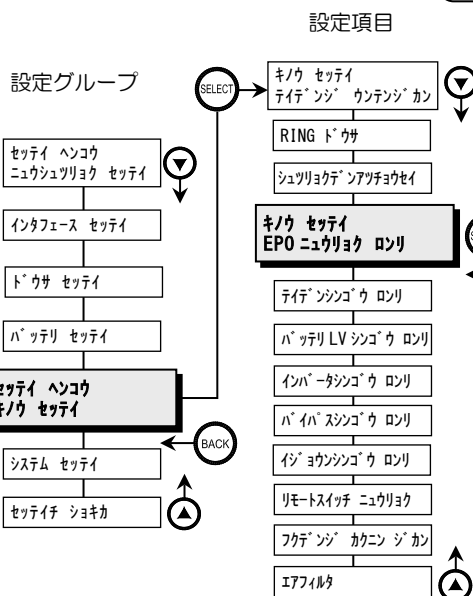
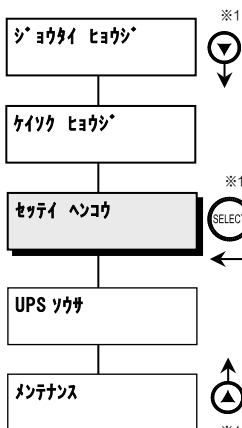


例：EPO 端子の論理を「負論理」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
 ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
 現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー



設定値

確認

確定

※3

設定項目、設定値の詳細説明

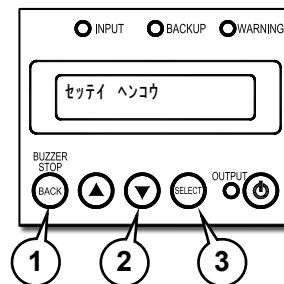
設定値	詳細
初期設定 セイ ロンリ	正 論理 EPO 端子に接続したUPS緊急停止用スイッチが「ON」のときに、UPSの出力が停止します。
フ ロンリ	負 論理 EPO 端子に接続したUPS緊急停止用スイッチが「OFF」のときに、UPSの出力が停止します。

詳細は、UPSの取扱説明書「5.6 UPS 緊急停止用のスイッチを接続する」をご覧ください。

3.24 CARD I/F および SIGNAL I/F の停電信号の論理を設定する

UPS背面の「CARD I/F」コネクタおよび「SIGNAL I/F」コネクタから出力される停電信号の論理を設定します。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：停電信号の論理を「負論理」に設定する場合

ポイント

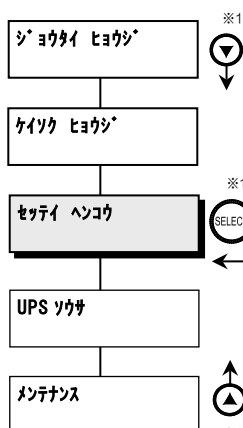
※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。

▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。

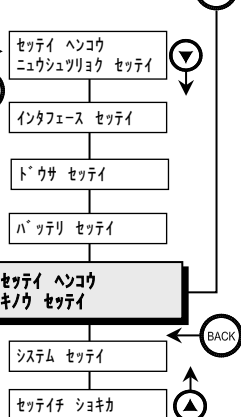
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

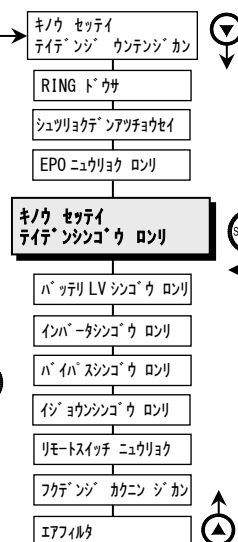
ホームメニュー



設定グループ



設定項目



設定値



確認

[SELECT] = セッテイ
[BACK] = キャンセル

確定

タイテンシン' コウ' ロリ
>> フ' ロリ

※3

設定項目、設定値の詳細説明

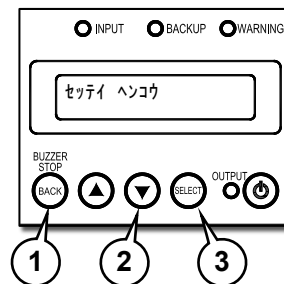
	設定値	詳細
初期設定	セイ ロリ	正 論理 停電が発生した時に、信号が出力されます。
	フ ロリ	負 論理 停電が発生していない時に、信号が出力されます。

詳細は、UPSの取扱説明書「5.4 UPSの外部転送信号を使う」または「5.7 CARD I/F RS-232C コネクタにコンピュータを接続して運用する」をご覧ください。

3.25 CARD I/F および SIGNAL I/F のバッテリー電圧低下信号の論理を設定する

UPS背面の「CARD I/F」コネクタおよび「SIGNAL I/F」コネクタから出力されるバッテリー電圧低下信号の論理を設定します。

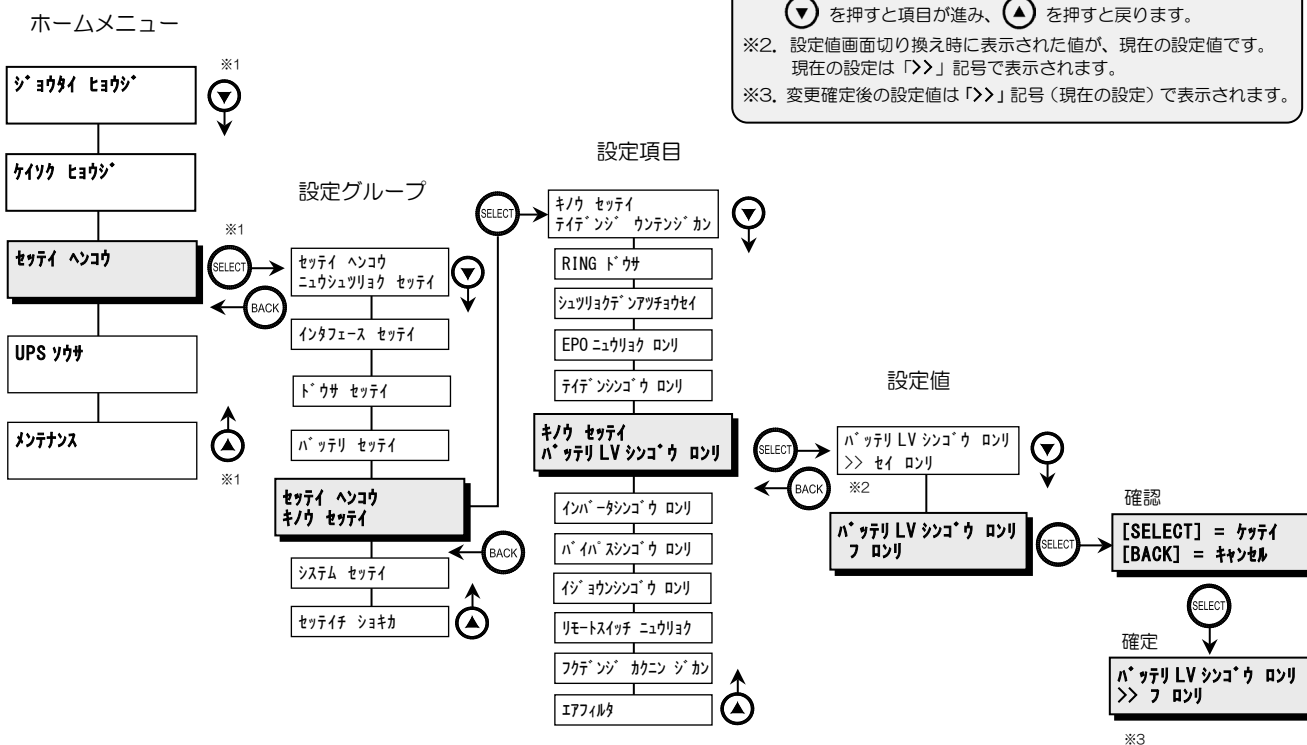
- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：バッテリー電圧低下信号の論理を「負論理」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
- ※2. **▼** を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

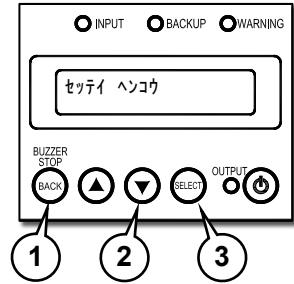
設定値	詳細
初期設定	
セイ ロンリ	正 論理 バッテリー電圧低下が発生した時に、信号が出力されます。
フ ロンリ	負 論理 バッテリー電圧低下が発生していない時に、信号が出力されます。

詳細は、UPSの取扱説明書「5.4 UPSの外部転送信号を使う」または「5.7 CARD I/F RS-232C コネクタにコンピュータを接続して運用する」をご覧ください。

3.26 SIGNAL I/F のインバータ出力信号の論理を設定する

UPS背面の「SIGNAL I/F」コネクタから出力されるインバータ出力信号の論理を設定します。

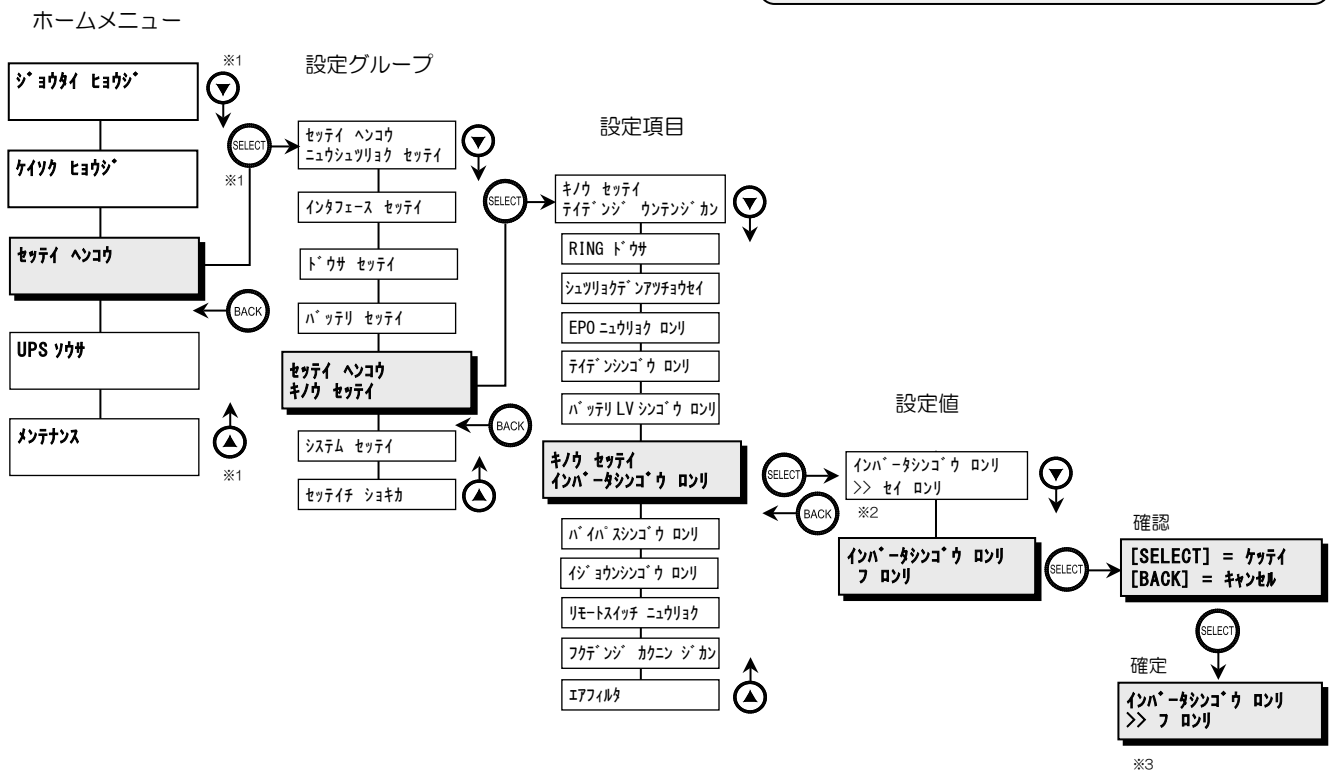
- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

例：インバータ出力信号の論理を「負論理」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

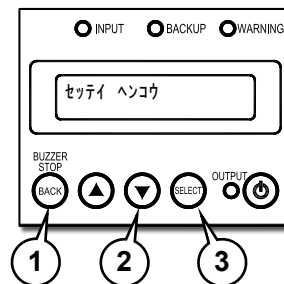
	設定値	詳細
初期設定	セイ ロンリ	正 論理
	フ ロンリ	負 論理

詳細は、UPSの取扱説明書「5.4 UPSの外部転送信号を使う」をご覧ください。

3.27 SIGNAL I/F のバイパス出力信号の論理を設定する

UPS 背面の「SIGNAL I/F」コネクタから出力されるバイパス出力信号の論理を設定します。

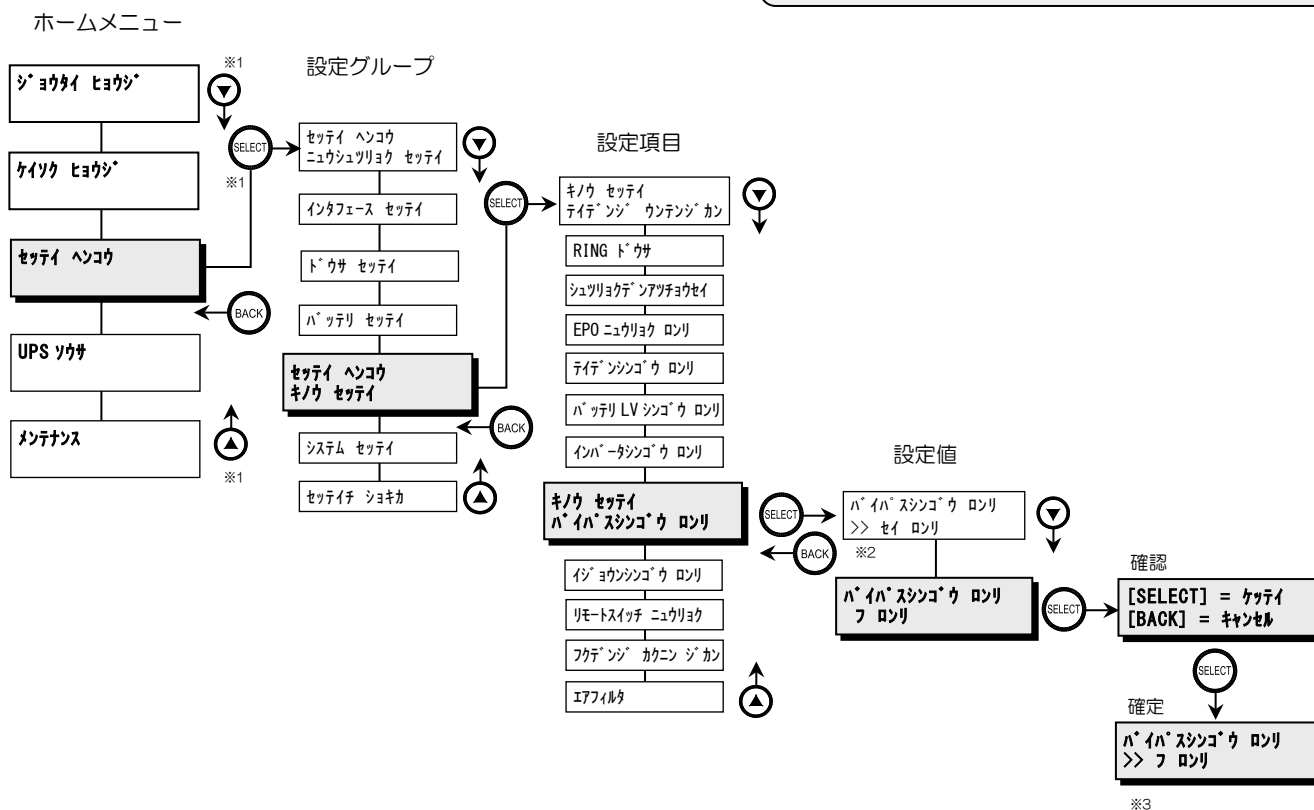
- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

例：バイパス出力信号の論理を「負論理」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

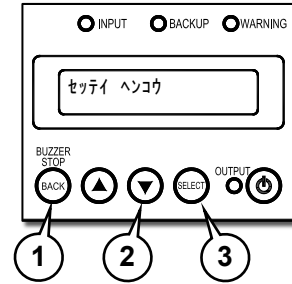
	設定値	詳細
初期設定	セイ ロンリ	正 論理
	フ ロンリ	負 論理

詳細は、UPS の取扱説明書「5.4 UPS の外部転送信号を使う」をご覧ください。

3.28 SIGNAL I/F の装置異常信号の論理を設定する

UPS 背面の「SIGNAL I/F」コネクタから出力される装置異常信号の論理を設定します。

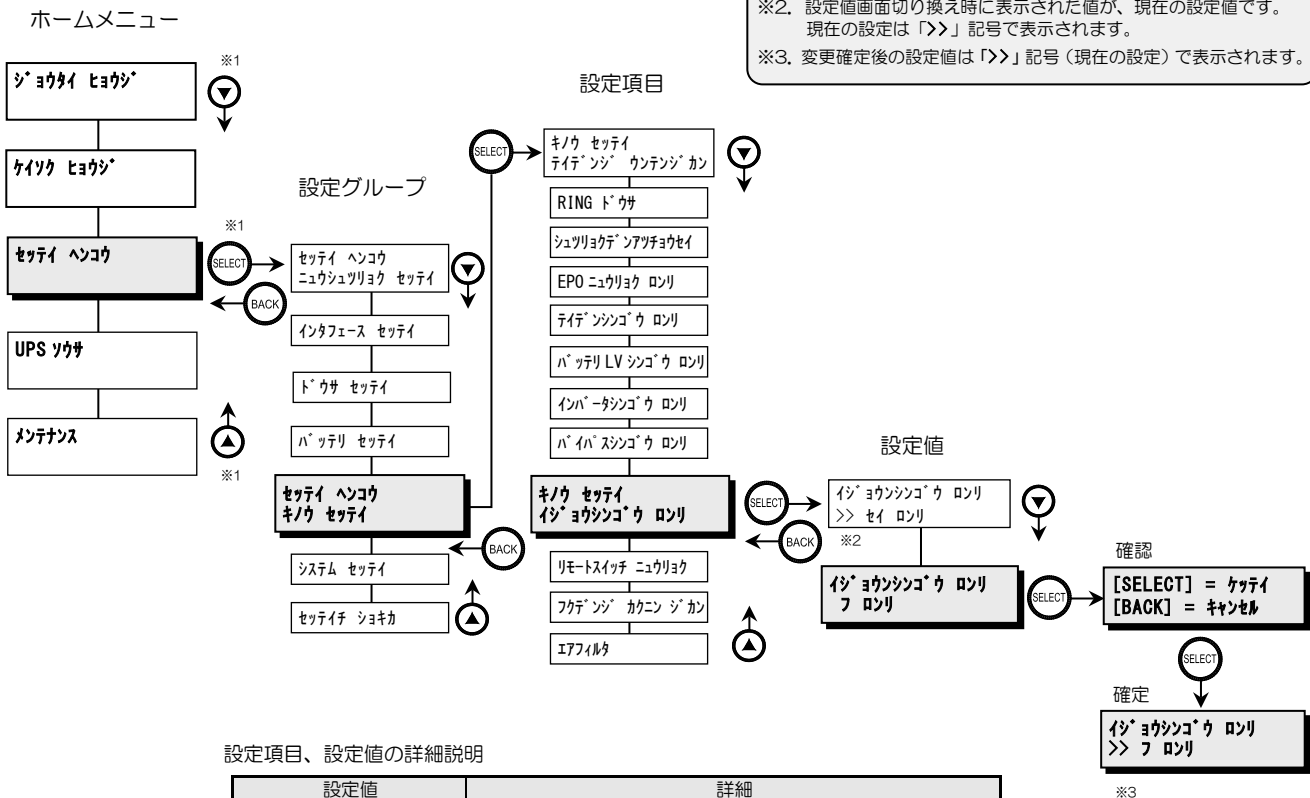
- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：装置異常信号の論理を「負論理」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

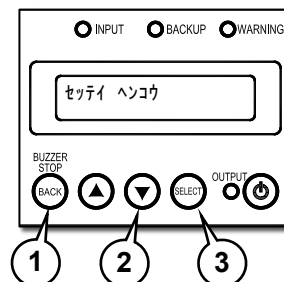
	設定値	詳細
初期設定	セイ ロリ	正 論理 装置異常が発生した時に、信号が出力されます。
	フ ロリ	負 論理 装置異常が発生していない時に、信号が出力されます。

詳細は、UPS の取扱説明書「5.4 UPS の外部転送信号を使う」をご覧ください。

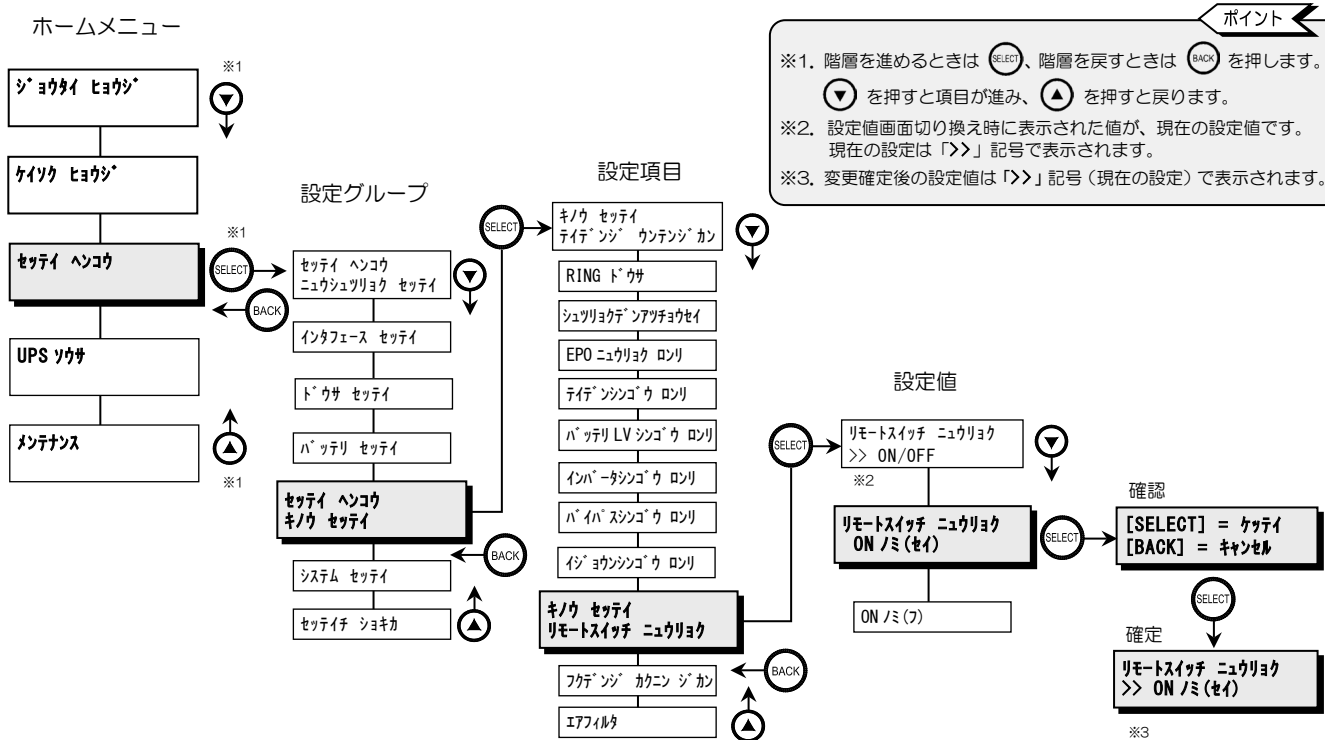
3.29 リモートスイッチの入力方式を設定する

UPSのリモート端子に接続するリモートスイッチの入力方式を設定をします。
詳細はUPS取扱説明書「5.5 リモートスイッチでUPSのON/OFF 操作をする」をご覧ください。

- ① **BACK** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：リモートスイッチ入力方式を「ONのみ（正論理）」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

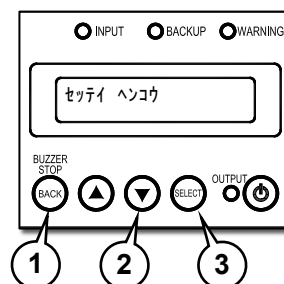
	設定値	詳細
初期設定	ON/OFF	ON/OFF 使用 ON/OFF を別スイッチで操作。 両方が入力された場合 OFF が優先。
	ON /ミ(セイ)	ON のみ（正論理） ON 端子に ON 信号が入力された場合 UPS が起動、OFF 信号が入力された場合に停止します。
	ON /ミ(フ)	ON のみ（負論理） ON 端子に OFF 信号が入力された場合 UPS が起動、ON 信号が入力された場合に停止します。

詳細は、UPS の取扱説明書「5.5 リモートスイッチでUPSのON/OFF 操作をする」をご覧ください。

3.30 復電時の確認時間を設定する

停電発生時、UPSがバッテリー放電終止により停止した後、商用電源が復帰したとき、UPSが復電したと認識するまでの時間を設定します。

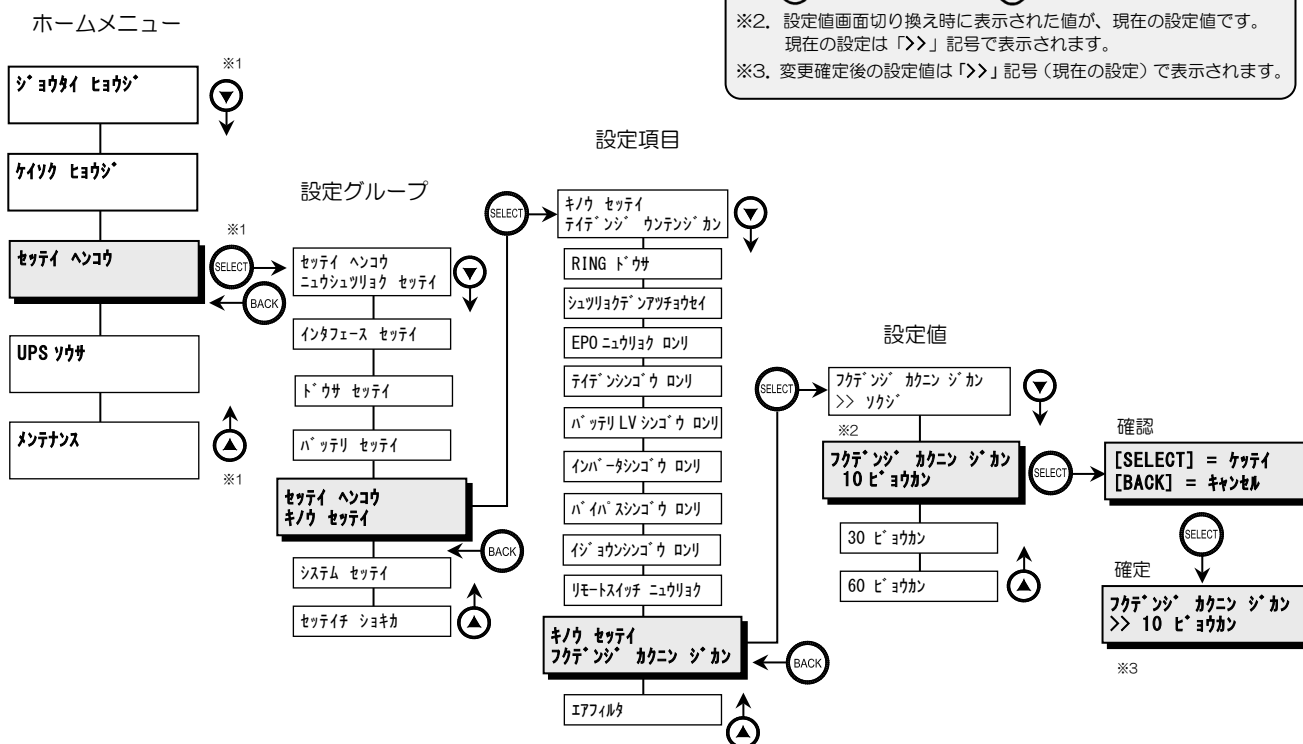
- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：復電時確認時間を「10 秒」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ソクシ	即時 (0 秒)	停電時、UPSが放電終止により停止した後、 停電が復旧したとき、設定した時間が経過した時点で UPSは停電が回復したと認識します。
	10 ビョウカン	10 秒間	
	30 ビョウカン	30 秒間	
	60 ビョウカン	60 秒間	

3.31 エアフィルタを使用 する／しない を設定する

UPSの正面パネルにエアフィルタ（オプション）を取り付けるか、取り付けないかを設定します。

エアフィルタを取り付ける場合は、設定値を変更してください。

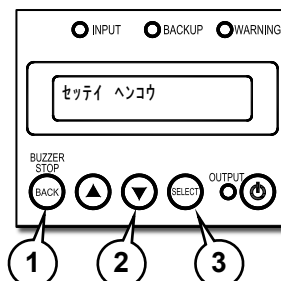
なお、この設定値を変更してもエアフィルタは自動的にセットされません。

エアフィルタの取扱説明書をご覧ください、エアフィルタを取り付けてください。

ご注意

エアフィルタにはオプション品を使用し、指定以外のものは使用しないでください。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：エアフィルタを「使用する」に設定する場合

ポイント

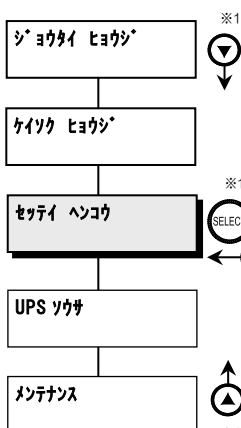
※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。

▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。

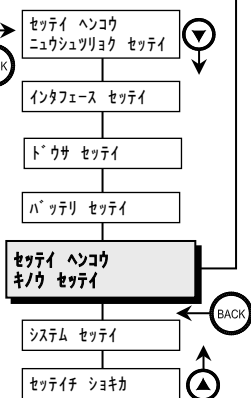
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

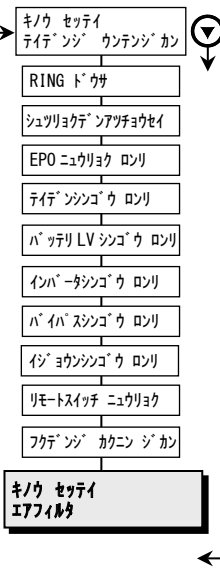
ホームメニュー



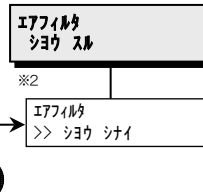
設定グループ



設定項目



設定値



確認

[SELECT] = ケッテイ
[BACK] = キャンセル

確定

エアフィルタ
>> ショウ スル

設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細	
ショウ スル	使用する	エアフィルタを使用する場合。	エアフィルタを使用する場合は定期的にエアフィルタの清掃をしてください。UPSの取扱説明書「エアフィルタの点検」をご覧ください。
初期設定 ショウ シナイ	使用しない	エアフィルタを使用しない場合	

設定値により、UPS内部冷却用のファンモータの制御が異なります。

実際のエアフィルタの使用状況と、異なる設定値に設定されているとUPSが正常に動作しないことがあります。

設定値が「ショウ スル」に設定されている場合、約2.5か月に1回LCD画面に「エアフィルタ テンゲン ジキ」が表示されます。

エアフィルタの清掃を実施してから、「5.3 エアフィルタ清掃完了の操作をする」を実施してください。

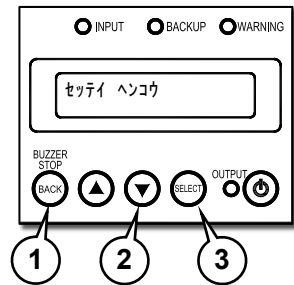
「3.14 軽故障時に転送信号を送出 する／しない を設定する」で設定値が「ショウ スル」に設定されている場合、

LCD画面に「エアフィルタ テンゲン ジキ」が表示されたときは「装置異常」信号が送出されます。

3.32 日付／時刻を設定する

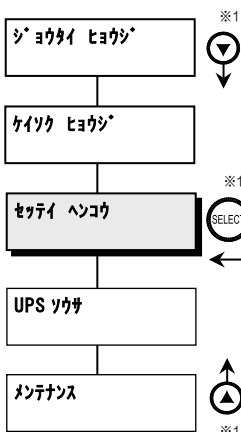
UPSの日付と時刻を設定します。工場出荷時に設定されていますので、通常は変更しないでください。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ヒツケ ジョク** ****/**/****
****:**:**** が表示されている状態で **SELECT** を押し、**▼** または **▲** で「年」の値を設定して、**SELECT** を押します。
同様に、月、日、時、分の順に設定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。

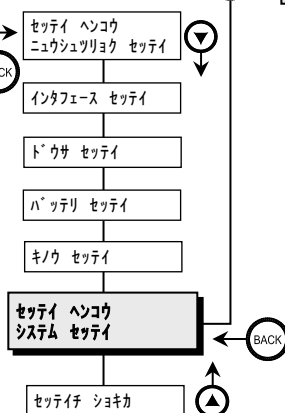


日付／時刻を設定する

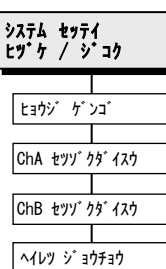
ホームメニュー



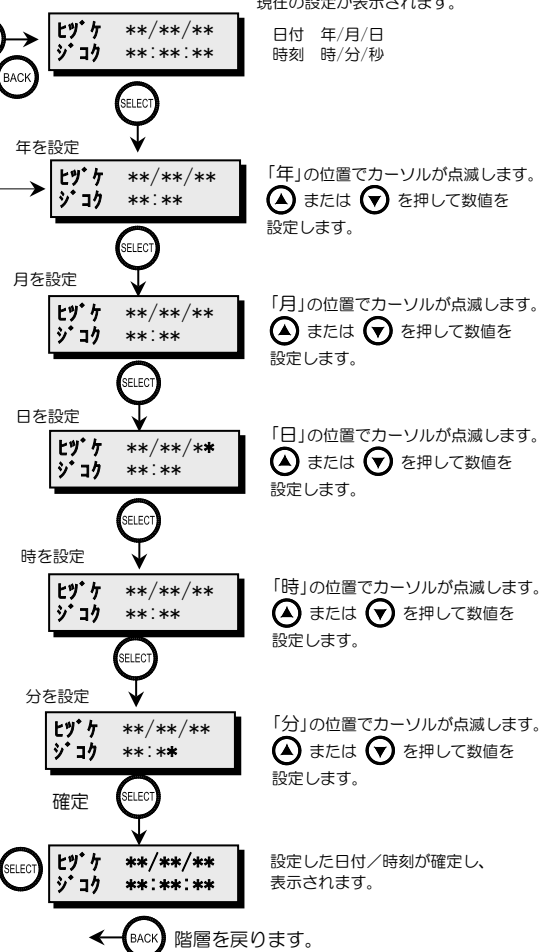
設定グループ



設定項目



設定値



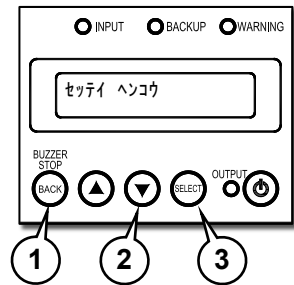
ご注意

「秒」は、設定が確定した時点で「00」が表示されます。任意の値に設定することはできません。

3.33 表示言語を設定する

LCDパネルに表示される言語を設定します。

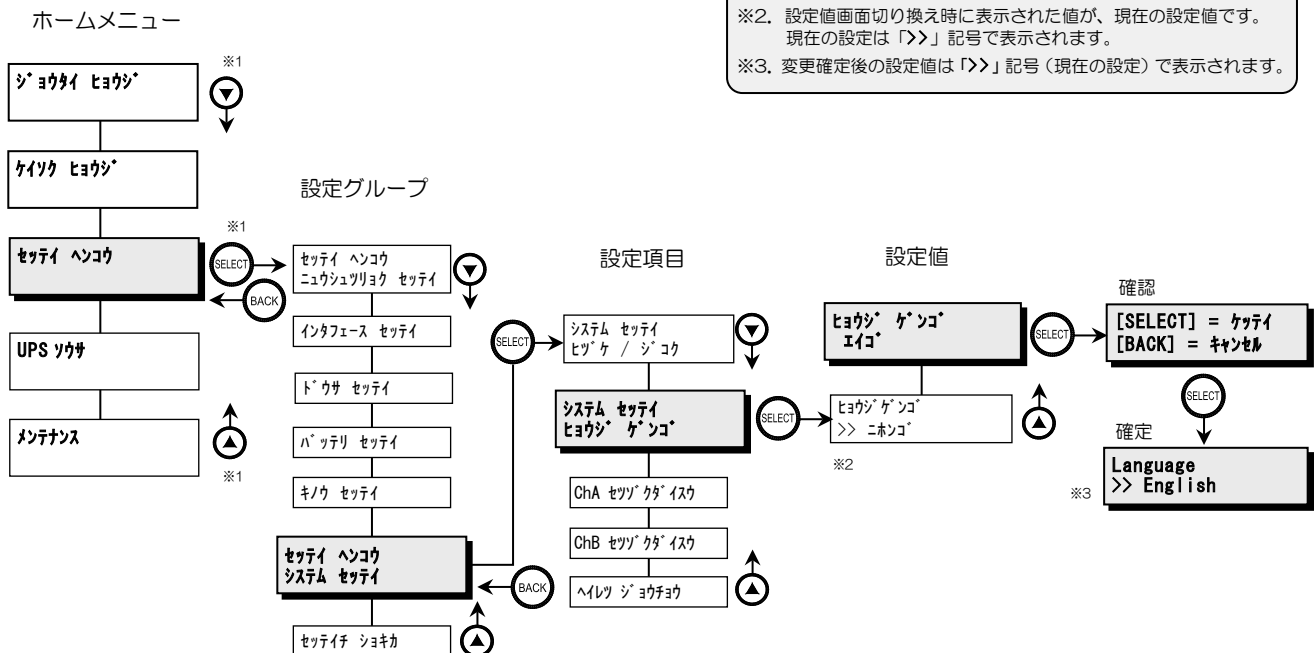
- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：表示言語を「英語」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



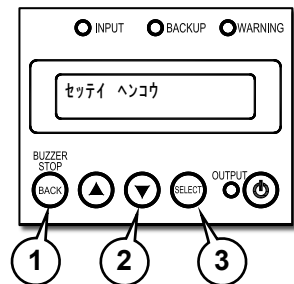
設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	エイゴ	英語
	ニホンゴ	日本語（カタカナ）
		LCD パネルに表示される言語が英語になります。
		LCD パネルに表示される言語が日本語（カタカナ）になります。

3.34 並列接続するUPSユニットの台数を設定する

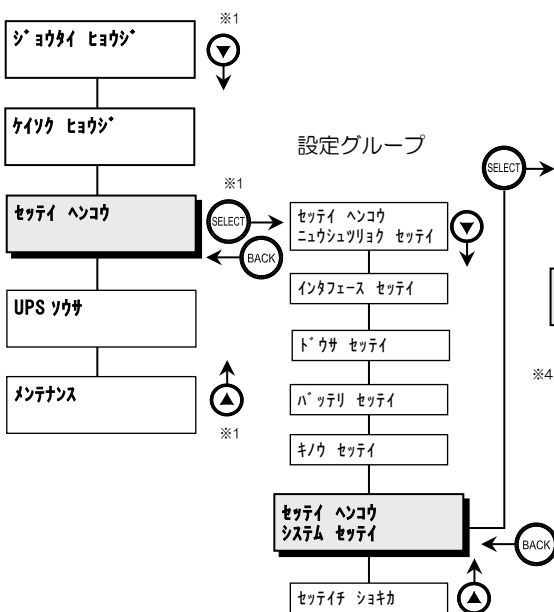
UPSシステムを構成する並列接続されるUPSユニットの台数を設定します。
工場出荷時に設定されていますので、通常は設定変更しないでください。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：UPSユニット台数を「3」に設定する場合

ホームメニュー



設定項目

設定値

- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

確認

[SELECT] = ケツテイ
[BACK] = キャンセル

確定

ChA セツケ
>> 3

※3

※4 ご注意

ChB セツケ の設定値は「1」のままとし、変更しないでください。誤って変更してしまった場合は、設定項目で **ChB セツケ** を選択し、同様の手順で設定を変更してください。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
1	UPSユニットを1台で使用する場合
2	2台のUPSユニットを接続する場合
3	3台のUPSユニットを接続する場合
4	4台のUPSユニットを接続する場合
5	5台のUPSユニットを接続する場合
6	6台のUPSユニットを接続する場合
7	7台のUPSユニットを接続する場合
8	8台のUPSユニットを接続する場合

初期設定は、品名により異なります。
工場出荷時に設定されています。

ユニットの接続台数を変更した場合などに設定を変更します。

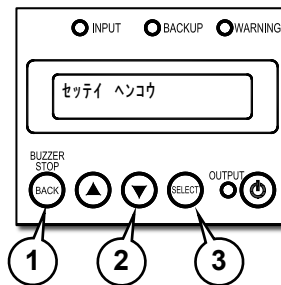
実際に接続するUPSユニットの台数を設定してください。

運転中に何らかの要因でUPSユニットが停止し、運転しているUPSユニットの台数と、設定した台数が相違する場合はLCDパネルのUPS状態表示に「ユニット数 不一致」が表示されます。

3.35 運転システムを設定する

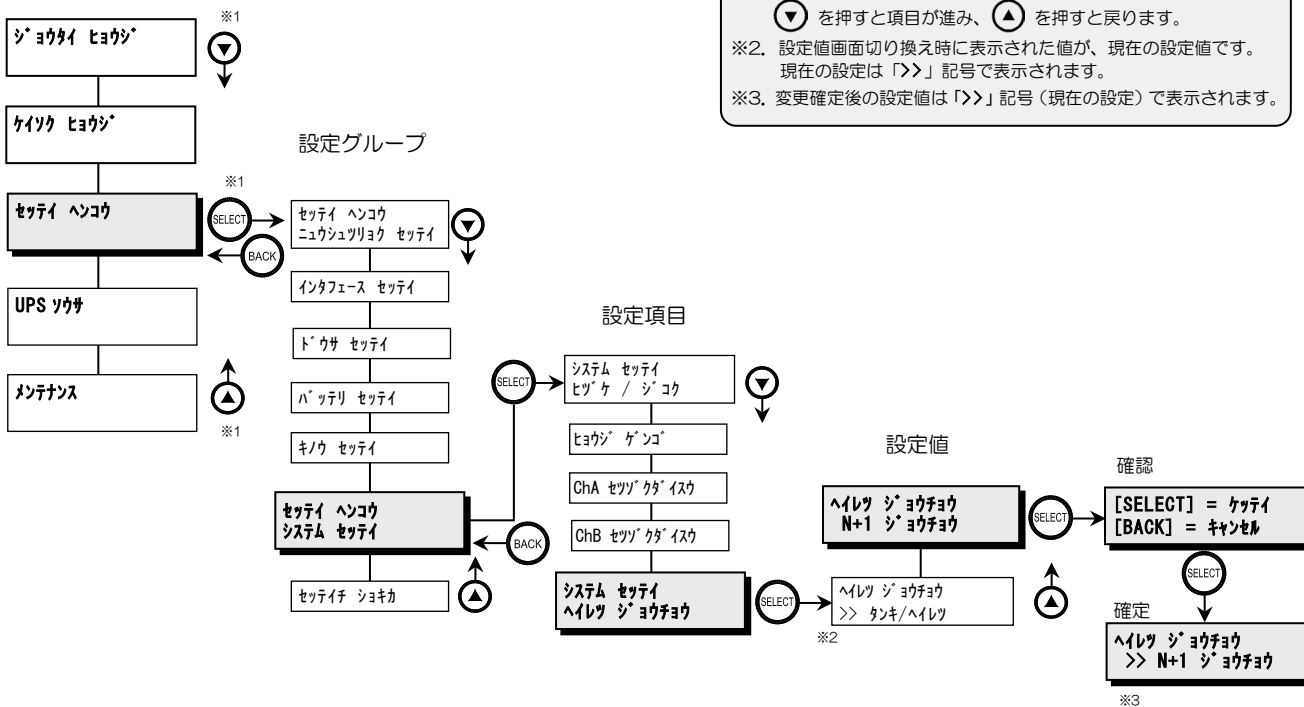
UPSの運転システムを設定します。並列冗長運転 または、単機および並列運転から選択します。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：運転システムを「N+1 冗長」に設定する場合

ホームメニュー



設定項目、設定値の詳細説明

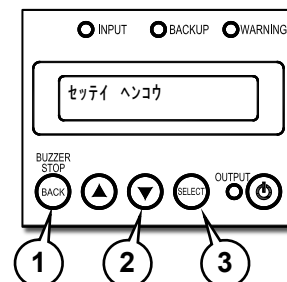
設定値		詳細	
N+1 ショウチョウ	N+1 冗長	並列冗長運転システムに設定する。	・並列冗長運転システム：負荷容量に対して並列接続されたUPSユニット1台分の容量の余裕を持たせて運転する場合。
初期設定 タンキ/ハイレツ	単機/並列	単機運転 および 並列運転システムに設定する。	・単機運転システム：UPSユニット1台の場合。 ・並列運転システム：並列接続されたUPSユニット台数の合計容量を接続可能な負荷容量として運転する場合。

「N+1 ショウチョウ」に設定した場合、UPSに接続している負荷容量に対して、UPS容量にUPSユニット1台分の余裕がなくなったときは、LCD画面に「ショウチョウ NG」が表示されます。UPSに接続している負荷を減らしてください。

3.36 設定値をリセットする

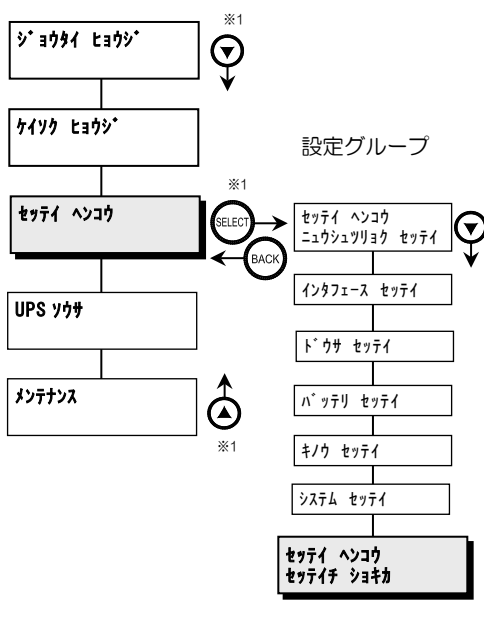
3.1～3.35 までの設定項目の設定値を工場出荷時の初期設定にリセットします。
 初期設定は「3. UPSの設定をする」の設定項目一覧表で確認してください。
 この操作をすると、一括で設定項目の設定値がリセットされます。設定項目ごとにリセットすることはできません。
 いったんリセットした設定値をもとに戻すことはできません。

- ① **BACK** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッテイ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ 同様にそれぞれの階層で下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」へ進みます。
- ⑤ **SELECT** を押し選択し確認画面を表示させ、再度 **SELECT** を押してリセットします。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



設定をリセットする

ホームメニュー



確認

[SELECT] = リセット
[BACK] = キャンセル

セッテイ ショキカ
ショキカ カンリョウ

ポイント

※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。**▼** を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。

ご注意

- リセット操作をしても下表の項目の設定値はリセットされません。

項目番号	LCD表示	内容
3.4	テンアゲン リュウ ヒョウジ	電圧電流表示設定
3.7	ネットワーク セッテイ	LANインタフェース使用時のネットワーク設定
3.32	ヒツケ / ジョウ	月日/時刻設定
3.34	ChA セツゾク タ イス	ChA システム並列接続台数設定
	ChB セツゾク タ イス	ChB システム並列接続台数設定
5.1	バックアップ ジョウ	バックアップ時間設定
5.2	バ ッ テリ シュベツ	バッテリー種別設定

- リセット操作により、UPSを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された場合は、UPSの再起動が必要です。この場合、UPS状態表示に「サイドゥ ショキカ」が表示されますので、「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。

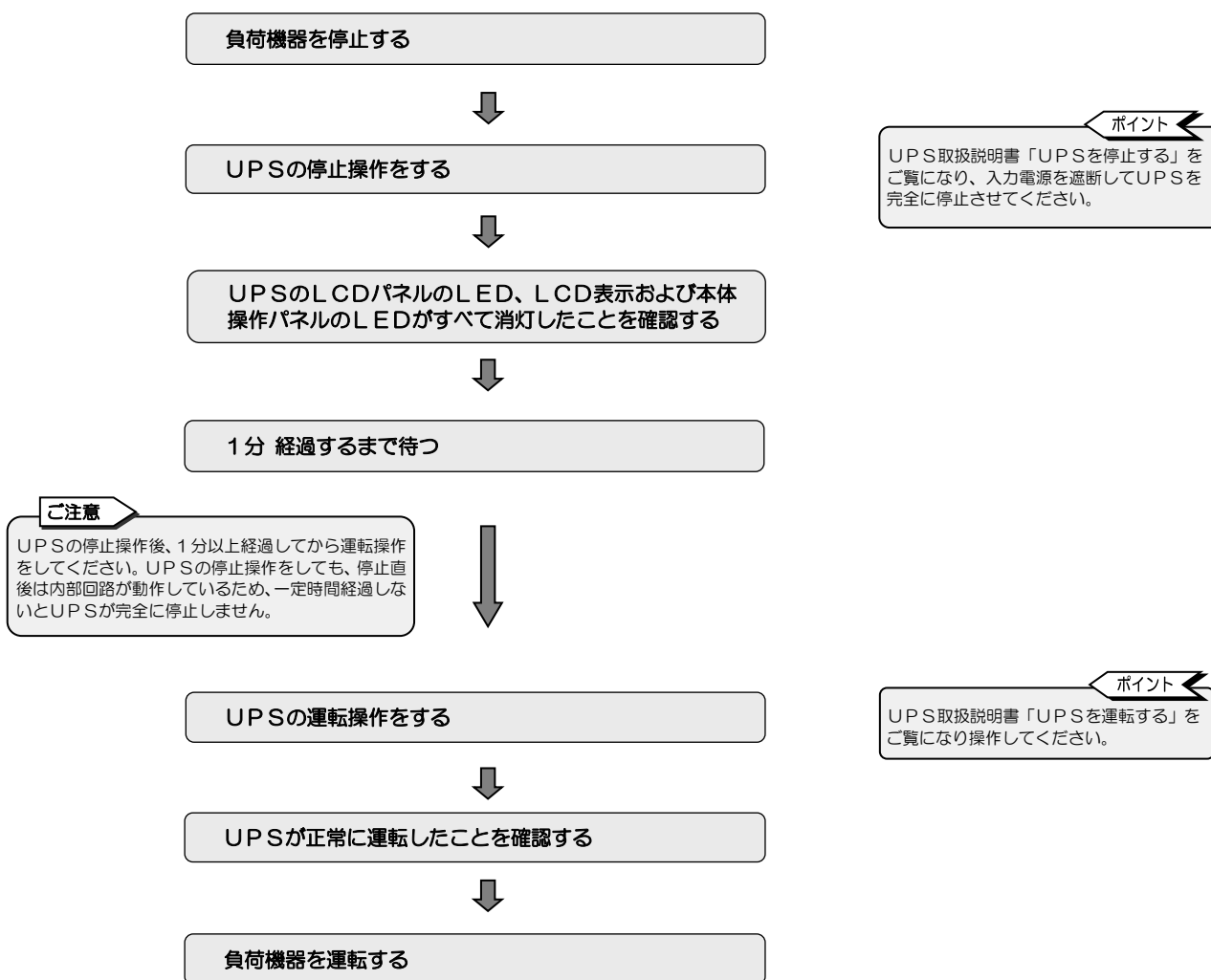
3.37 UPSを再起動^{*}する

^{*} 再起動とは・・・

運転中のUPSをいったん停止し、もう一度運転することです。

LCDパネル操作説明書（本書）、またはUPS取扱説明書に、設定メニューの設定値変更を有効にするときなど「UPSを再起動してください。」と記載されている場合は、運転中のUPSを完全に停止し、指定された時間が経過してから、再度UPSを運転してください。

11～12 ページの設定項目一覧表の設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にUPSを再起動しないと設定値が有効になりません。「★」印のメニューの設定値を変更した場合は、下記の手順をご覧ください。UPSを再起動してください。UPSの停止、起動操作はUPSのモデルにより異なります。詳細はUPSの取扱説明書「4.2 UPSの運転操作」の項目をご覧ください。UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。



4. UPSの操作をする

「バッテリーテスト」、「UPSの起動・停止」、「バイパス切換」「EPO ラッチ状態解除」の4つの操作を、コントロールメニューから実行することができます。操作方法の詳細は、4.1～4.5 の各項目をご覧ください。

操作項目一覧表

ホームメニュー：UPS操作

操作項目		表示項目		表示内容				参照項目	参照ページ
表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容		
ﾊﾞｯﾃﾘ ｾｽﾄ	ﾊﾞｯﾃﾘ ｾｽﾄ	ｼﾞｯｺｳ	ﾃｽﾄ実行	[SELECT] = ｼﾞｯｺｳ	実行する	ｼｭｻｲ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止	4.1	51
				[BACK] = ｷｬﾝｾﾙ	取り消し	ｼｭｻｲ ｶﾝﾘｻﾞ	正常終了		
		ﾁｬｳｼ (ﾊﾞｯﾃﾘ ｾｽﾄ中)	ﾃｽﾄ中止	[SELECT] = ﾁｬｳｼ	中止する	ｼｭｻｲ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止		
				[BACK] = ｹｲｻﾞｸ	テスト継続	ｼｭｻｲ ｶﾝﾘｻﾞ	正常終了		
		ｼｮｳﾀｲ	ﾃｽﾄ状態	ﾊﾞｯﾃﾘ ｾｽﾄ ｼｮｳﾀｲ	ﾃｽﾄ状態	ﾃｽﾄ ｶｲｼ ｶﾉｳ	テスト開始可能	4.2	53
						ﾃｽﾄ ｶｲｼ ｳｶ	テスト開始不可		
						ﾃｽﾄﾁｬｳ m s	テスト中 分 秒		
				ｾﾞﾝｶｲ ｾｽﾄｼﾞ ｳｼﾋﾞ	前回テスト実施日	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分		
				ｾﾞﾝｶｲ ｾｽﾄ ｹｯｶ	前回の テスト結果	ﾊﾞｯﾃﾘ ｾｽﾄ:ｾｲｼﾞ ｻﾞ	正常		
						ﾊﾞｯﾃﾘ ｾｽﾄ:ｲｼﾞ ｻﾞ	異常		
						ﾊﾞｯﾃﾘ ｾｽﾄ:ﾘﾚｷﾅｼ	前回履歴なし		
						ﾊﾞｯﾃﾘ ｾｽﾄ:ﾁｬｳｼ	中止		
INV ｷﾄﾞｳ	UPS の起動	[SELECT] = INV ｷﾄﾞｳ	起動	ｼｭｻｲ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止	ｼｭｻｲ ｶﾝﾘｻﾞ	正常終了	4.3	54
		[BACK] = ｷｬﾝｾﾙ	取り消し						
INV ﾀｲｼ	UPS の停止	[SELECT] = INV ﾀｲｼ	停止	ｼｭｻｲ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止	ｼｭｻｲ ｶﾝﾘｻﾞ	正常終了	4.4	55
		[BACK] = ｷｬﾝｾﾙ	取り消し						
ﾊﾞｲﾊﾟｽ ｵﾝ/ｵﾌ ｷﾘｶｴ	バイパス運転 切り換え	[SELECT] = ﾊｲﾊﾞｽ	切り換える	ｼｭｻｲ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止	ｼｭｻｲ ｶﾝﾘｻﾞ	正常終了	4.5	56
		[BACK] = ｷｬﾝｾﾙ	取り消し						
EPO ｶｲｼﾞｻﾞ	EPO ラッチ解除	[SELECT] = ｶｲｼﾞｻﾞ	解除	ｼｭｻｲ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止	ｼｭｻｲ ｶﾝﾘｻﾞ	正常終了	4.5	56
		[BACK] = ｷｬﾝｾﾙ	取り消し						

4.1 バッテリテストをする

バッテリーの状態をテストします。出荷時、自動バッテリーテストは実施しないように設定されています。

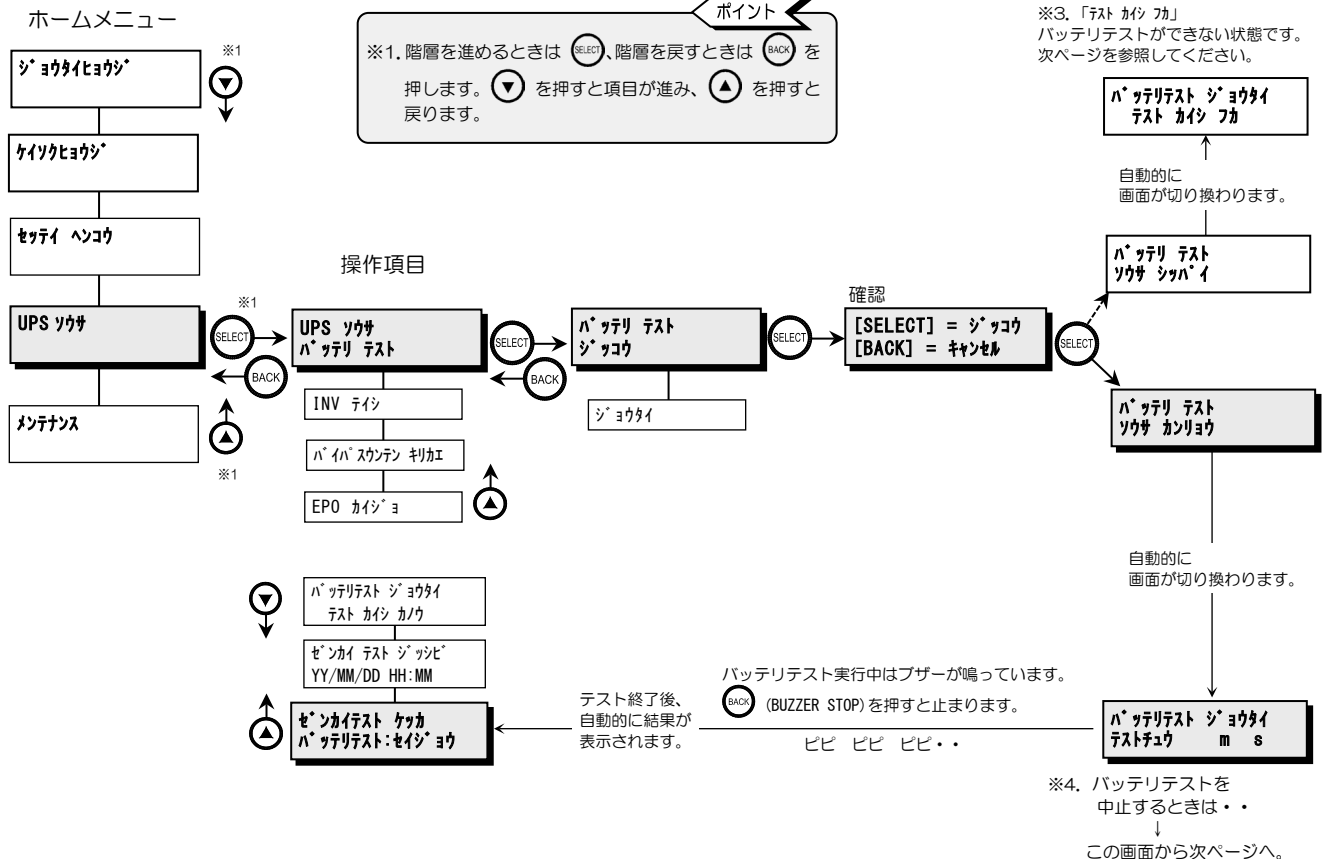
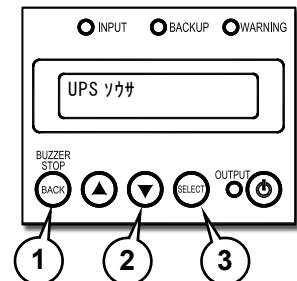
手動でバッテリーテストをする場合は下記の手順で実施してください。

バッテリーテストは負荷を停止させることなく実施できます。ただし、バッテリーテスト実施前にUPSがバッテリー運転をしていると、バッテリーテスト結果が異常になることがあります。バッテリーテスト前にUPSがバッテリー運転をしていない状態で実施してください。

ポイント

- バッテリーテストを実施する時間(分)を設定することができます。「3.18 バッテリーテストの実行時間を設定する」をご覧ください。(初期設定：2 分間)
- 自動で定期的にバッテリーテストを実施させる期間(日数)を設定することができます。「3.19 バッテリーテストのスケジュールを設定する」をご覧ください。

- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**UPS ソウサ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、操作する項目を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して実行します。
- ⑤ **BACK** を押して戻ります。



バッテリーテストの表示項目

表示	項目	内容	表示	内容
ハ ッテリ テスト シ ヨウタイ	テスト状態	テスト カイシ カウ	テスト開始可能	
		テスト カイシ フカ	テスト開始不可	
		テストチュウ	テスト中	
ゼンカイ テスト ジ ヅビ	前回のバッテリーテスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分	
			「**/**/ **:**」が表示された場合は、前回のバッテリーテスト結果がない状態です。	
ゼンカイ テスト ケツカ	バッテリーテスト結果	ハ ッテリ テスト: セイ シ ヨウ	バッテリーは正常です。	
		ハ ッテリ テスト: イジ ヨウ	バッテリーが異常の可能性あります。	
		ハ ッテリ テスト: リレキナシ	バッテリーテストの前回履歴がありません。	
		ハ ッテリ テスト: チュウシ	テストが中止されました。	

バッテリーテストについてのご注意

判定結果は目安です。正常と判定された場合でもUPS取扱説明書の「6.2 バッテリーの点検」をご覧ください。バッテリーが劣化している場合は購入先または当社までご連絡ください。バックアップ時間は経年劣化により短くなります。バッテリーテストの設定時間によっては、劣化状況を正確に確認できない場合があります。バッテリーテストは実放電をすることでバッテリーの劣化状況を確認します。バッテリーテスト後は充電が完了するまでバックアップ時間は短くなります。

バッテリーテストができない状態

➤ 下記の①～⑨の状態のときは、バッテリーテストはできません。UPS取扱説明書「8. こんなときには・・・」をご覧ください。対処してください。

- ① インバータ停止中
- ② バイパス給電中
- ③ バッテリー運転中
- ④ バッテリーテスト実行中（自動、手動、UPS管理ソフトによるバッテリーテスト実行中は、バッテリーテストの操作はできません。）
- ⑤ UPS故障
- ⑥ バッテリー温度異常発生
- ⑦ バッテリー残保持時間が「3.17 バッテリー電圧低下警告発生」のタイミングを設定する」で設定した値未満のとき
- ⑧ 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値が「50Hz」または「60Hz」に設定されている場合
- ⑨ 非同期運転中

バッテリーテストの中止について

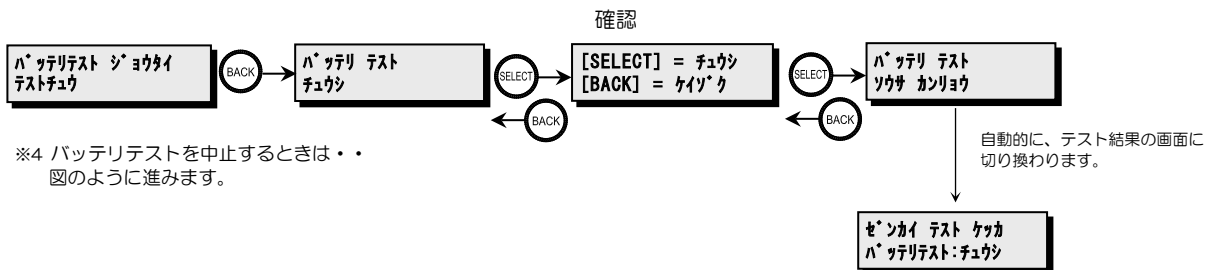
➤ バッテリーテスト中にテストを中止する場合は・・・

LCD画面に「チュウ」が表示されている状態で **SELECT** を押します。 ⇒ UPSは通常運転に戻ります。

➤ バッテリーテスト中に①～⑤のことが発生、または⑥～⑨の操作をした場合はバッテリーテストは中止されます。

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| ① 入力（電圧、周波数）の異常 | ⑥ Forced Bypass スイッチを切り換えた。 |
| ② UPS故障 | ⑦ MAIN MCCB を「OFF」にした。 |
| ③ 出力過電流 | ⑧ UPSのOFF操作をした。 |
| ④ バッテリー温度異常発生 | ⑨ UPS管理ソフトでバッテリーテスト中止を実行。 |
| ⑤ バッテリー電圧低下発生 | |

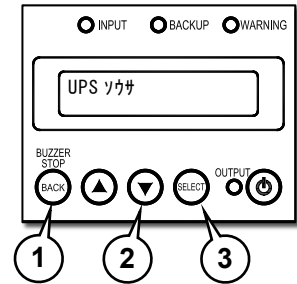
※3. 「ソサ シパ イ」が表示され、バッテリーテストが実行されなかったときは、UPSが上記のバッテリーテストができない状態になっている可能性があります。 **BACK** で戻り、UPSの状態を確認し、再度操作をしてください。



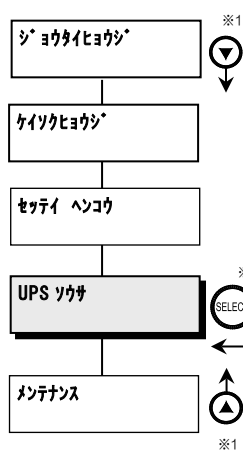
4.2 バッテリテストの結果を見る

自動的に実施されたバッテリテスト、または手動で実施したバッテリテストの結果を見ます。

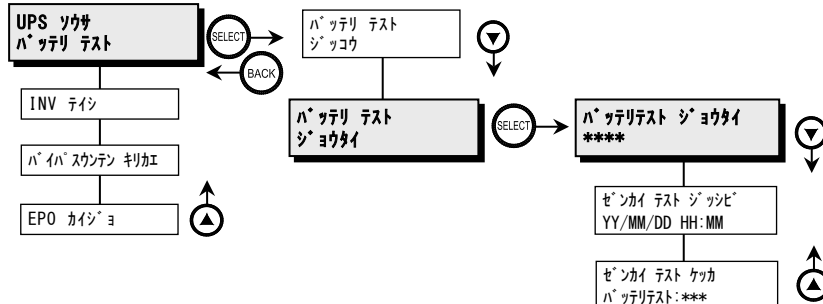
- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**UPS ソウサ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、操作する項目を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して実行します。
- ⑤ **BACK** を押して戻ります。



ホームメニュー



操作項目



ポイント

※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。**▼** を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。

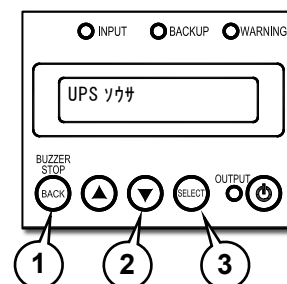
バッテリテストの表示項目

項目		内容	
表示	内容	表示	内容
バッテリテスト ショウタイ	テスト状態	テスト カシ カノウ	テスト開始可能
		テスト カシ フカ	テスト開始不可
		テストチュウ	テスト中
ゼンカイ テスト ジッシビ	前回のバッテリテスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分 「**/**/** **:**」が表示された場合は、前回のバッテリテスト結果がない状態です。
ゼンカイ テスト ケツカ	バッテリテスト結果	バッテリテスト:セイジョウ	バッテリーは正常です。
		バッテリテスト:イジジョウ	バッテリーが異常の可能性あります。
		バッテリテスト:リレキナシ	バッテリーテストの前回履歴がありません。
		バッテリテスト:チュウシ	テストが中止されました。

4.3 UPSを起動する または 停止する

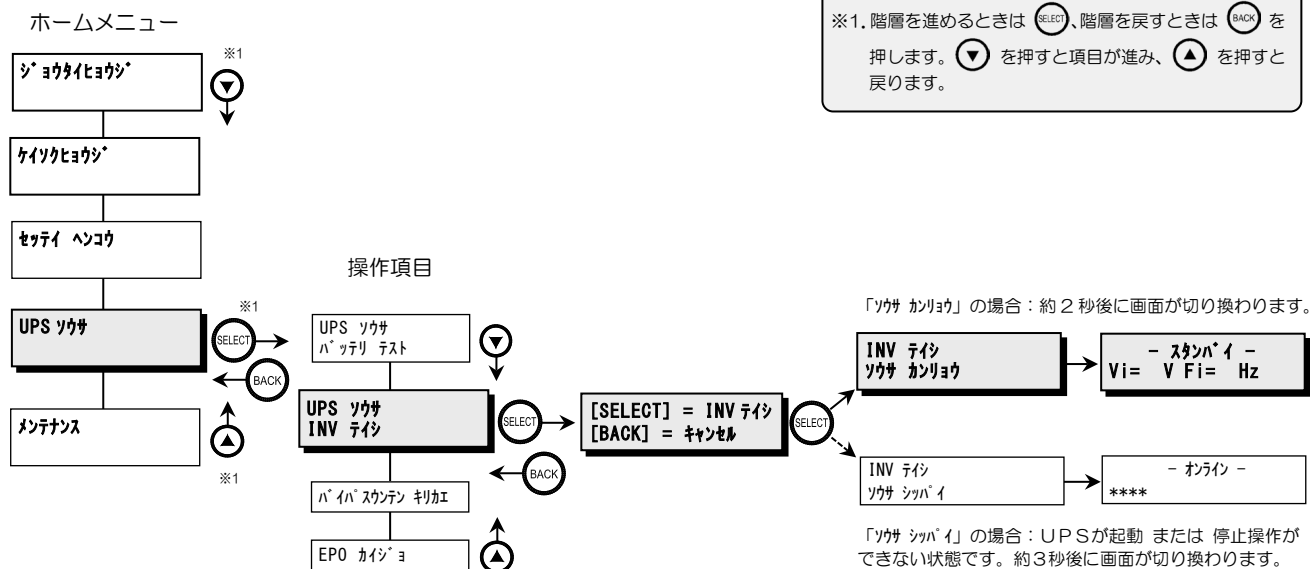
LCDパネルのコントロールメニューから、UPSの起動、停止の操作をすることができます。
UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。

- ① **BACK** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**UPS ソウサ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、操作する項目を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して実行します。
- ⑤ **BACK** を押して戻ります。



ポイント

※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。**▼** を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。



UPS運転中は、**INV ティン** が表示されます。
UPS停止中は、**INV キトウ** が表示されます。

起動・停止操作についてのご注意

下記の状態のときは、操作はできません。

- 起動操作ができない状態
 - ① インバータ起動中
 - ② 入力電圧、入力周波数が定格範囲外の場合
 - ③ UPS故障中
 - ④ Remote OFF 信号連続入力中
 - ⑤ インバータ/バイパス切換スイッチが「BYP.」側の場合
 - ⑥ 通常運転中
- 停止操作ができない状態
 - ① バイパス運転中
 - ② インバータ停止中

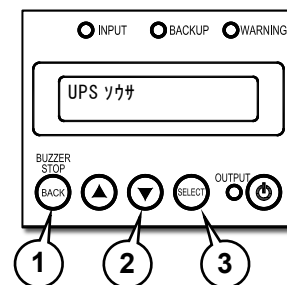
ON/OFFボタンによる起動・停止操作

LCDパネルの **ON/OFF** ボタンでも、UPSの起動・停止操作ができます。
詳細は、UPS取扱説明書「4.2 UPSの運転操作」をご覧ください。

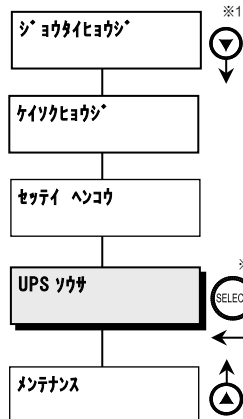
4.4 バイパス運転に切り換える

UPSの保守時、万一の故障時などに、下記の操作でバイパス運転に切り換えることができます。

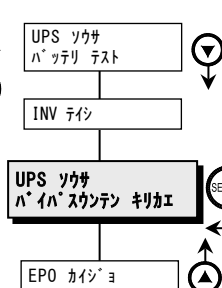
- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**UPS ソウサ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、操作する項目を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して実行します。
- ⑤ **BACK** を押して戻ります。



ホームメニュー

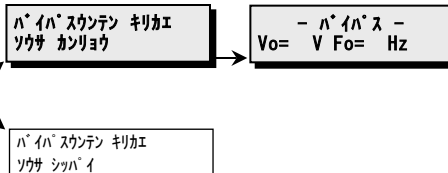


操作項目



[SELECT] = バイパス
[BACK] = キャンセル

「ソウサ カンリョウ」の場合：約 1 秒後に画面が切り換わります。



「ソウサ シツパイ」の場合：切り換え操作ができない状態です。約 3 秒後に画面が切り換わります。

バイパス運転切り換えについてのご注意

- UPSが故障し、出力が停止している場合は、上記の操作でバイパス運転へ切り換えることはできません。
- 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値が「ジドゥンタク2」に設定されている場合、UPSが同期運転中は無瞬断でバイパス運転へ切り換わります。非同期運転中は切り換えることはできません。設定値が「50Hz」または「60Hz」に設定されている場合は、バイパス運転へ切り換わりません。
- UPSの正面パネル内部にある **Forced Bypass** の操作により、バイパス運転に切り換えることもできます。UPSが同期運転中は無瞬断でバイパス運転へ切り換わります。非同期運転中は瞬断切り換えとなります。
- バイパス運転中に **MAIN MCCB** を「OFF」にすると、LCD画面に「メインレカ OFF」が表示され、【WARNING】(赤)が点灯し、出力供給が停止しますのでご注意ください。

バイパス運転からインバータ運転への切り換え方法

下記のAまたはBの操作でインバータ運転へ切り換えます。

- A. LCDパネルの **ON** ボタンまたは 本体操作パネルの **ON** を押してON操作をします。
- B. 「4.3 UPSを起動する または 停止する」の操作項目で「UPSソウサ INV キトウ」を選択します。操作手順は「4.3 UPSを起動する または 停止する」をご覧ください。

ただし、上記のAまたはB操作をしても、「3.3 出力周波数を設定する」で設定値が「ジドゥンタク2」に設定されている場合は、UPSが同期運転をしていないとインバータ運転に切り換わりません。

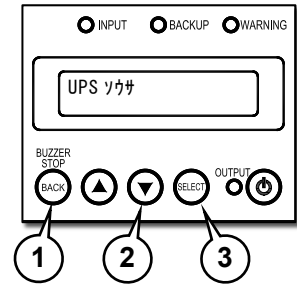
4.5 EPO ラッチ^{*}状態を解除する

LCD 画面に ******
ティシュチュウ (EPO ラッチ)** が表示されUPSが停止中の場合は、下記の操作で解除します。

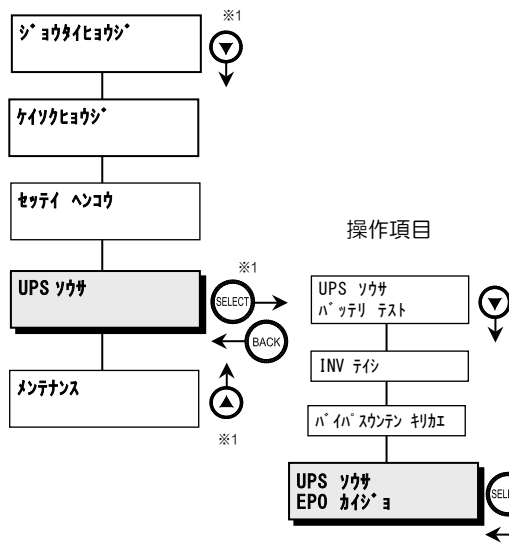
※ EPO ラッチ状態とは・・・

UPSのEPO (Emergency Power Off : 緊急出力停止) 端子に接続しているUPS緊急停止用スイッチによりUPSを緊急停止した後、UPS停止が継続している状態です。詳細は取扱説明書「5.6 UPS緊急停止用のスイッチを接続する」をご覧ください。

- ① **BACK** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **DOWN** を押してホームメニューを切り換え、**UPS ソウサ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **DOWN** または **UP** で表示を切り換え、操作する項目を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して実行します。
- ⑤ **BACK** を押して戻ります。



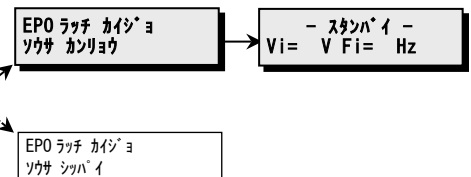
ホームメニュー



ポイント

※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。**DOWN** を押すと項目が進み、**UP** を押すと戻ります。

「ソウサ カンリョウ」の場合：約 1 秒後に画面が切り換わります。



「ソウサ シッパイ」の場合：切り換え操作ができない状態です。約 3 秒後に画面が切り換わります。

ご注意

- UPSが緊急出力停止中は、緊急出力停止スイッチを解除しても、UPSの緊急停止状態は解除されません。上記の操作でUPSの緊急停止状態を解除してください。
- EPO信号を受信している間は、UPSを起動することはできません。

5. メンテナンスメニュー（技術員[※]用）

メンテナンスメニューは、UPSのメンテナンスをするときに使用する技術員用のメニューです。
お客様は、「5.1」～「5.3」以外の操作をしないでください。

※ 技術員について

電気設備施工に関する専門知識を有する技術員、または装置製造メーカーおよび装置製造メーカーから委託された本製品の知識を有する技術員を指します。当該技術員以外は施工・保守作業を実施しないでください。

ホームメニュー：メンテナンス／保守（技術員専用）

操作グループ	表示項目		項目					
	表示	内容	表示	内容	表示	内容		
UPS システム UPS システム	フィルタ セイフ カリヨ ^{※2}	エアフィルタ 清掃完了	ソサ カリヨ	エアフィルタ清掃完了を入力、エアフィルタ点検時期警告表示の解除。				
	タイプ ジョウキ	内部情報	バッテリー ジョウキ	バッテリー情報	UPS カウン セキサンジ カ ジ カ	UPS 運転積算時間		
					バッテリー ジュミョ キ	バッテリー寿命		
					テイデン ハツセイ カイ カイ	停電発生回数		
					バッテリーカウン セキサン ジ ヨ	バッテリー運転積算時間		
					ゼンカイ テスト ジ ャンビ [*] YY/MM/DD HH:MM	前回のテスト実施日		
					ゼンカイ テスト ケカ ^{※1} ***	前回のテスト結果		
			バッテリージョウキ リセット		バッテリー情報リセット			
			バックアップ 時間設定	設定 値	5 分	5 分	ユーザ設定	
					10 分	10 分		
					15 分	15 分		
					25 分	25 分		
					30 分	30 分		
					35 分	35 分		
					45 分	45 分		
	60 分	60 分						
	120 分	120 分						
	180 分	180 分						
	360 分	360 分						
	バッテリー シュベ [*]	バッテリー種別	設定 値	5 年 (ナリ バッテリ)	5 年 (鉛バッテリー)	ユーザ設定		
				10 年 (ナリ バッテリ)	10 年 (鉛バッテリー)			
				13 年 (ナリ バッテリ)	13 年 (鉛バッテリー)			
				リチウムイオン バッテリ	リチウムイオンバッテリー			
	ユニット ジョウキ	装置情報	UPS モデル名		UPS モデル名			
			バックアップ ジカ		定格バックアップ時間			
			ヨウリョウ		定格容量			
シリアル バンゴウ			シリアル番号					
LCD プログラム			P3 LCDプログラムバージョン					
EXIF プログラム			P7 EXIFプログラムバージョン					
ユニット 1 ↓ ユニット 8	ゴショ リキ	故障履歴	リキ (1～30)	故障履歴表示 最大 30 件まで保存				
	ソサ リキ	操作履歴	リキ (1～60)	操作履歴表示 最大 60 件まで保存				
UPS ユニット 1 ↓ UPS ユニット 8	タイプ ジョウキ	内部情報	バッテリー ジョウキ	バッテリー情報	UPS カウン セキサンジ カ ジ カ	UPS 運転積算時間		
バッテリー ジュミョ キ					バッテリー寿命			
テイデン ハツセイ カイ カイ					停電発生回数			
バッテリーカウン セキサン ビ ヨ					バッテリー運転積算時間			
ゼンカイ テスト ジ ャンビ [*] YY/MM/DD HH:MM					前回のテスト実施日			
ゼンカイ テスト ケカ ^{※1} ***					前回のテスト結果			
バッテリージョウキ リセット			バッテリー情報リセット					
ユニット ジョウキ	システム情報	ROM バージョン		プログラムバージョン				
		シリアル 番号		シリアル番号				
		メイン CPU プログラム		P1メインCPUプログラムバージョン				
		サブ CPU プログラム		P1 サブ CPU プログラムバージョン				
ユニットジョウキヒョウジ	ユニット状態表示		「1. ジョウキヒョウジ」と同じ。					
ユニット計測ヒョウジ	ユニット計測表示	Vbatt = V		バッテリー電圧	Vinv = V	インバータ電圧		
		Vchg = V		充電器電圧	Iinv = A	インバータ電流		
		Ichg = A		充電器電流	Vbus = V	バス (BUS) 電圧		
		ショウイオント= °C		周囲温度				

※1、「メンテナンス」メニューの「ゼンカイ テスト」の項目は、「UPS ソサ」メニューの「ゼンカイ テスト」と同じです。

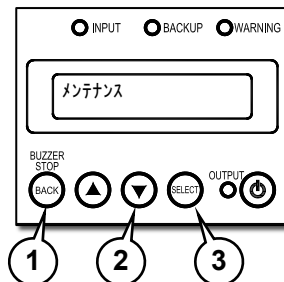
※2、「3.31 エアフィルタを使用 する／しない」を設定するで設定値が「ショ ス」に設定されている場合に表示されます。

5.1 バックアップ時間を設定する

UPSのバックアップ時間を設定します。

初期設定時の誤設定を修正する場合、またはバッテリーの組み合わせを変更した場合以外は、設定を変更しないでください。

- ① **BACK** を押してLCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**メンテナンス** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「操作グループ」→「操作項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。

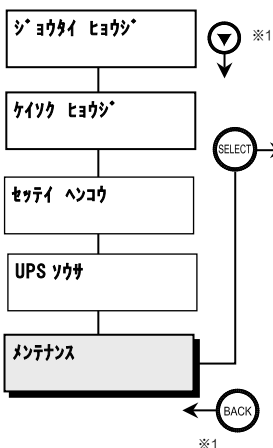


例：バックアップ時間を「15 分」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー



操作グループ

操作項目

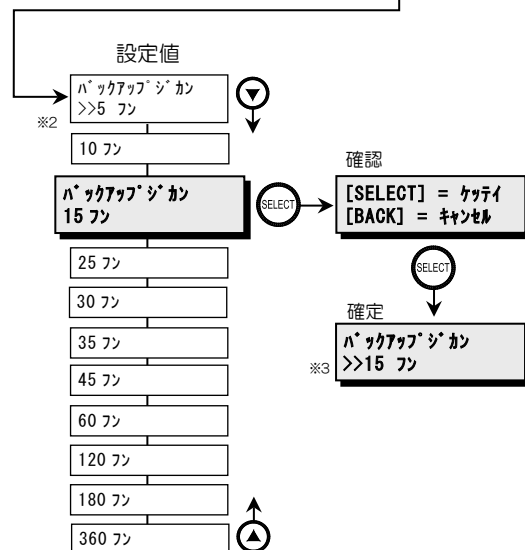
操作項目

※1

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	5 分	5 分
	10 分	10 分
	15 分	15 分
	25 分	25 分
	30 分	30 分
	35 分	35 分
	45 分	45 分
	60 分	60 分
	120 分	120 分
	180 分	180 分
	360 分	360 分

30 分バックアップ用のバッテリーが接続されているときは、設定値「30 分」を選択してください。「60 分」を選択しても実際のバックアップ時間は 60 分にはなりません。



ご注意

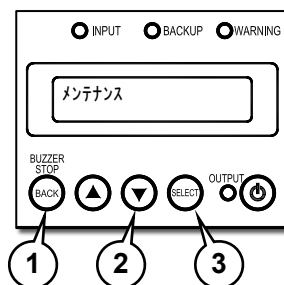
バックアップ時間の設定値を変更すると、自動的にバッテリー情報（バッテリー寿命情報）がリセットされます。運用中、不用意に設定値を変更しないでください。

5.2 バッテリー種別を設定する

バッテリーの種類を設定します。

初期設定時の誤設定を修正する場合、またはバッテリーの種類を変更した場合以外は、設定を変更しないでください。

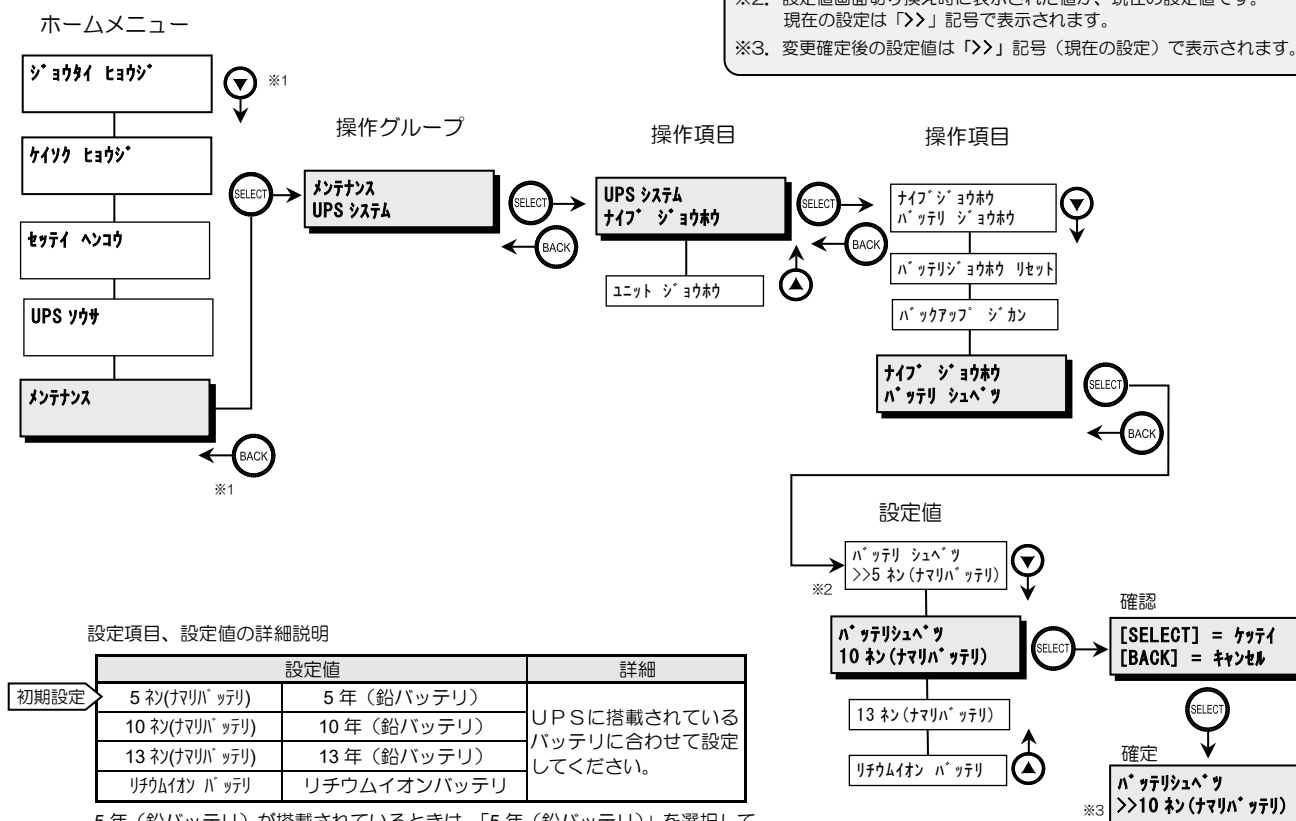
- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**メンテナンス** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「操作グループ」→「操作項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：バッテリー種別を「10 年鉛」に設定する場合

ポイント

- ※1. 階層を進めるときは「**SEARCH**」、階層を戻すときは「**BACK**」を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定画面面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
 現在の設定は「**>>>**」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「**>>>**」記号（現在の設定）で表示されます。



ご注意

- バッテリー種別の設定値を変更すると、自動的にバッテリー情報（バッテリー寿命情報）がリセットされます。運用中、不用意に設定値を変更しないでください。
- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「**リセット済**」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。

5.3 エアフィルタ清掃完了の操作をする（エアフィルタ使用時のみ）

エアフィルタを使用している場合は、2か月に1回エアフィルタの清掃をした後、エアフィルタ清掃完了の操作をしてください。一定期間、この操作をしていないと下記のエアフィルタ点検時期の警告*が表示されます。警告表示は、清掃完了の操作をすると解除されます。必ずエアフィルタを清掃してから実施してください。

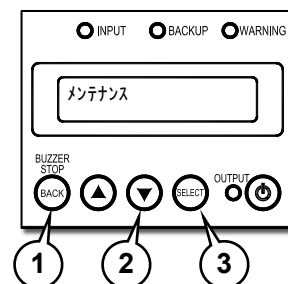
*エアフィルタ点検時期の警告とは・・・

UPSが下記の状態になり、エアフィルタの点検時期をお知らせします。

- ブザー音：ピ ピ ピ ピ…（継続）
- LED：【WARNING(赤)】点灯、【ALARM(赤)】点滅
- LCD画面：

- **** -
 エアフィルタ 点検 時期

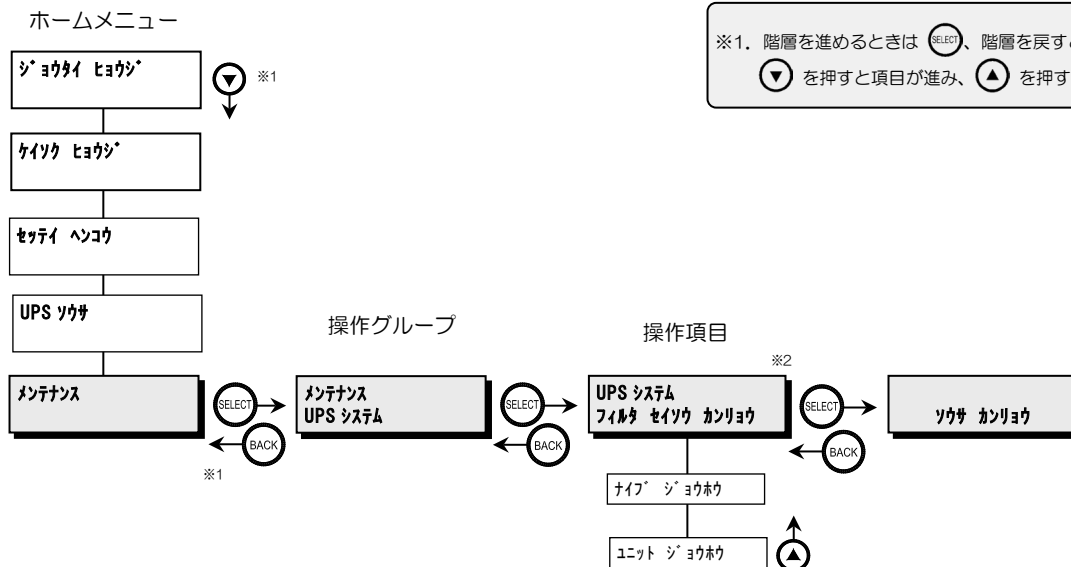
- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **DOWN** を押してホームメニューを切り換え、**メンテナンス** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ 表示された画面で **SELECT** を押して「操作項目」を確定します。
- ⑤ 表示された画面で **SELECT** を押します。



例：エアフィルタ清掃完了の操作をする

ポイント

※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
DOWN を押すと項目が進み、**UP** を押すと戻ります。



※2. **UPS システム フィルタ セイソウ カンリョウ** 画面は、「3.31 エアフィルタを使用 する／しない を設定する」で設定値が「**ショウスル**」に設定されていないと表示されません。

6. 状態表示説明

ホームメニュー「ジョウタイョウジ」でLCD画面に表示されるUPS状態の詳細は下表のとおりです。
お客様が対応できない場合、UPSの故障時は、購入先または当社までご連絡ください。

1/2

UPS運転モード		状態表示		
表示	内容	表示	内容	詳細 および 対応
スタンバイ オンライン バイパス バッテリー バッテリーテスト システム故障	待機中	LF= % CHG= %	負荷率 %, 充電率 % (オンライン表示)	負荷率 %, 充電率 %
	オンライン運転中	LF= % Tm= m	負荷率 %, 推定放電時間 分 (バッテリー運転表示)	負荷率 %, 放電時間 分
	バイパス運転中	PDU ファン イジヨウ	集電ユニットファン異常 (重故障)	集電ユニット内部のファンモータに異常が発生しました。 購入先または当社へご連絡ください。
	バッテリー運転中	PDU プレーカ OFF	集電ユニット出力ブレーカ断 (重故障)	集電ユニットの OUTPUT MCCB を手動で「OFF」にした場合は、「ON」にしてください。
	バッテリーテスト中			UPSに接続されている負荷機器が多く、UPSの定格容量を大幅に超え、集電ユニットの OUTPUT MCCB がトリップしています。接続している負荷機器を減らしてください。
	システム故障中			集電ユニット内部のファンモータが故障し、集電ユニット内部の温度が異常になっています。 購入先または当社へご連絡ください。
		Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数 (待機中表示)	入力電圧、入力周波数
		Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数 (バイパス運転表示)	出力電圧、出力周波数
		イジヨウシンゴウテスト	装置異常の擬似転送信号送出中	試験用の「装置異常」転送信号が送出されています。 「3.15」をご覧ください。
		インバータ 過電圧	インバータ過電圧 (重故障)	インバータ出力電圧の異常が検出されました。 UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		インバータ 電圧検出回路異常	インバータ電圧検出回路異常 (重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		インバータ 電圧低下	インバータ電圧低下 (重故障)	インバータ出力電圧の異常が検出されました。 UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		エアフィルタ 点検時期	エアフィルタ点検時期 ※3	エアフィルタの清掃をしてから、「5.3 エアフィルタ清掃完了の操作をする」の操作をしてください。
		過負荷	過負荷	UPSに接続されている負荷機器が多く、UPSの定格容量を超えています。接続している負荷機器を減らしてください。
		温度条件による過負荷 (軽故障)	温度条件による過負荷 (軽故障)	UPSを使用している周囲温度での負荷上限を超えています。周囲温度を下げてください。または接続している負荷機器を減らしてください。
		バイパススイッチ ON	バイパススイッチ ON	強制バイパススイッチ Forced Bypass が「Bypass」になっています。
		スケジュール起動遅延中	スケジュール起動遅延中 ※1	UPS管理ソフトのスケジュール運転の設定によりON遅延時間実行中です。設定時間経過後、UPSは起動します。
		コントローラ 異常	コントローラ異常 (重故障)	UPSが入力電圧を正しく計測できていません。 すべてのUPSユニットの MAIN MCCB を「OFF」にし、UPSを停止させてください。停止操作後、1分以上経過してからUPS取扱説明書「UPSを運転する」をご覧ください。UPSを起動してください。
		コンバータ 異常	コンバータ異常 (重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		再起動要	再起動要	UPSを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された後、再起動されていません。「3.37」をご覧ください。UPSを再起動してください。
		入力周波数異常	入力周波数異常	入力電源が許容周波数範囲を超えています。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリーからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、UPSの周波数設定を確認してください。
		冗長運転不可 (軽故障)	冗長運転不可 (軽故障)	「3.35」で運転システムを「N+1 システム」に設定している場合、UPSに接続されている負荷容量が多く、並列冗長運転ができない状態です。接続している負荷機器を減らしてください。
		設定異常	設定異常	複数台のUPSユニットを接続している場合、UPSユニットの設定が異なります。設定を合わせてください。
		制御電源 (12V) 異常 (重故障)	制御電源 (12V) 異常 (重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		総ユニット数エラー (重故障)	総ユニット数エラー (重故障)	「3.34」で設定したUPSユニット台数と、実際に運転しているUPSユニットの台数が異なります。UPSユニットの状態を確認してください。
		充電器異常 (重故障)	充電器異常 (重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		動作温度範囲外による充電器 停止 (軽故障)	動作温度範囲外による充電器 停止 (軽故障)	UPSの周囲温度が充電器の動作範囲を超えています。周囲温度を適切な温度にしてください。
		バッテリー種別変更による充電器 停止	バッテリー種別変更による充電器 停止	バッテリー種別が変更されたため、充電器が停止しています。 「3.37」をご覧ください。UPSを再起動してください。
		コンバータ直流電圧異常 (重故障)	コンバータ直流電圧異常 (重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。

2/2

UPS運転モード		状態表示		
表示	内容	表示	内容	詳細 および 対応
スタンバイ オンライン バイパス バッテリー バッテリー システム	待機中	アイシチュウ (EPO オフ)	EPO による停止中	EPO信号が入力されているため、出力が停止しています。
	オンライン運転中	アイシチュウ (EPO ラッチ)	EPO ラッチ による停止中	EPO信号入力がかちされ、出力が停止しています。「4.5」をご覧くださいラッチを解除してください。
	バイパス運転中	アイシチュウ (Vin イジ ョウ)	バイパス出力断 (入力電圧異常)	バイパス運転中に入力電圧異常が検出されたため、給電が停止しました。
	バッテリー運転中	アイシチュウ (リモートオフ)	Remote OFF による停止中	リモートOFF信号が入力されているため、インバータの起動操作が中止されました。
	バッテリーテスト中	アイシマデ = h m	スケジュール停止遅延中 ※1	UPS管理ソフトのスケジュール運転の設定により OFF 遅延時間実行中です。設定時間経過後、UPSは停止します。
	システム故障中	アイシマデ m s	バッテリーテスト残り時間 ※1	バッテリーテストの残り時間が表示されています。
		アイブ ツウシ イジ ョウ	UPS内部の通信異常 (軽故障)	UPS内部の通信に異常が発生しています。購入先または当社へご連絡ください。
		アイブ オンド イジ ョウ	フィン温度異常 (重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ニュウリョク イジ ョウ	入力異常	入力電源の瞬断が検出されました。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリーからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、UPSの周波数設定を確認してください。
		ニュウリョク カデ ンアツ	入力過電圧	入力電源が許容電圧範囲を超えています。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリーからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、UPSの周波数設定を確認してください。
		ニュウリョク デンアツ テイカ	入力電圧低下	入力電源が許容電圧範囲を超えています。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリーからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、UPSの周波数設定を確認してください。
		バ ッテリ イジ ョウ	バッテリー回路異常 (重故障)	バッテリー回路が故障し、UPSの出力が停止しています。UPSの再起動はできません。購入先または当社へご連絡ください。
		バ ッテリ ジ ャクデ ン マチ	充電率起動待ち中	復電時のUPS起動条件が充電率に設定されている場合の充電中の状態です。設定された充電率になるとUPSは起動します。
		バ ッテリ ジ ャミ ョウ	バッテリー寿命	バッテリーの寿命です。バッテリーを交換してください。
		バ ッテリ ジ ャミ ョウ ヨコク	バッテリー寿命予告	バッテリーの寿命が残り半年です。バッテリー交換の準備をしてください。
		バ ッテリ ホウデ ンシュウシ	バッテリー放電終止	バッテリー放電終止です。
		バ ッテリ LV ショコ クアデスト	バッテリー LV の疑似転送信号送出中	試験用の「バッテリー電圧低下」転送信号が送出されています。「3.16」をご覧ください。
		バ ッテリキドウ カロ イジ ョウ	バッテリー起動スイッチの短絡故障 (軽故障) ※2	バッテリー起動スイッチを押したままの場合は、解除してください。UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		バ ッテリテスト (リモート)	遠隔操作によるバッテリーテスト実行中	UPS管理ソフトからの遠隔操作により、バッテリーテスト実行中です。
		バ ッテリデ ンアツ イジ ョウ	バッテリー電圧異常	バッテリーバックが接続されていません。バッテリーバックを確実に搭載してください。接続に異常がない場合は、バッテリーが劣化しています。購入先または当社へご連絡ください。
		バ ッテリデ ンアツ テイカ	バッテリー電圧低下	バッテリー電圧が低下しています。
		ヒドウキ ウンテン	非同期運転	入力電源と非同期で給電しています。バイパス運転への切り換えは瞬断切換えとなります。
		フクデ ン カンチチュウ	復電時確認時限中	復電時、UPSが復電したと判断するまでの確認時間の待機中です。
		ホウゴデ ンゲン イジ ョウ	補助電源異常 (軽故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		メインブレーカ OFF	メインブレーカの OFF またはトリップ	MAIN MCCB を手動で「OFF」にした場合は、「ON」にしてください。 UPSに接続されている負荷機器が多く、UPSの定格容量を大幅に超え、 MAIN MCCB がトリップしています。接続している負荷機器を減らしてください。
		ユニットツウシ イジ ョウ	ユニット間通信異常	ユニット間の通信異常の可能性があります。ユニット間を接続しているケーブルを確認してください。

※1. 時間により表示が異なります。

※2. 品名により、表示されない機種があります。

※3. 「3.31 エアフィルタを使用 する/しない を設定する」で設定値が「ショク スム」に設定されている場合に表示されます。また、「3.14 軽故障時に転送信号を 送出 する/しない を設定する」で設定値が「ソクシツ スム」に設定されている場合は、「装置異常」信号が送出されます。

7. 計測情報表示について

バッテリー充電率表示について

- (1) 充電率はUPSの運転時間に応じて増加しますので、UPS取扱説明書「使用前の準備をする」の項目をご覧ください。充電率が100%と表示されるまでの時間は、接続されているバッテリーの構成により異なります。
- (2) バッテリーが正しく接続されていない状態でUPSを運転すると、充電率「ChgRate = %」が正常に表示されません。

バッテリー残保持時間について

- (1) 表示されるバッテリー残保持時間「RunTm = h m」は目安です。実際の保持時間と異なる場合もあります。
- (2) 計画停電などが予定されている場合は、予定時間の20時間以上前にバッテリーテストを実施し、実際にバックアップできることを確認してください。バッテリーテストについては「4.1 バッテリーテストをする」をご覧ください。

負荷率表示について

- (1) 負荷率が5%未満の場合、負荷率、出力電流、出力電力は「0」と表示されます。
UPS管理ソフト、またはLANインタフェースカードを使用している場合、UPS管理ソフト、LANインタフェースカードに表示される値も、負荷率、出力電流、出力電力は「0」となります。